

2014 Year's Report

平成26年度 事業報告書

ドーン財団
(一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団)

目 次

平成 26 年度 財団ハイライト	5
------------------	---

平成 26 年度 事業ピックアップ	
-------------------	--

「ドーンと未来へ」——感謝と決意を込め、財団設立 20 周年記念事業を開催」	
--	--

	6
--	---

§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要	8
----------------------------	---

§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営	12
----------------------------	----

1 理事会の開催	
----------	--

2 評議員会の開催	
-----------	--

3 プロジェクト 2014	
---------------	--

4 他機関との連携	
-----------	--

5 職員研修の実施	
-----------	--

§ 3 広報・PR	16
-----------	----

1 広報事業	
--------	--

2 財団設立 20 周年記念事業	
------------------	--

3 賛助会制度運営	
-----------	--

4 視察の受入れ	
----------	--

§ 4 公益目的事業概要	
--------------	--

1 相談員育成事業	25
-----------	----

1 相談担当者のためのグループ・スーパービジョン	【賛助会費充当事業】
--------------------------	------------

2 相談事業	27
--------	----

1 DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談	【賛助会費充当事業】
---------------------------	------------

2 DV被害者のためのサポート・グループ	【賛助会費充当事業】
----------------------	------------

§ 5 一般事業概要	
------------	--

1 大阪府男女共同参画推進事業	33
-----------------	----

1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
-------------------------	------------------

2 女性の抱える問題に関する相談事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
--------------------	------------------

3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
-------------------------	------------------

4 女性就労支援事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
------------	------------------

2 女性の能力開発・ネットワーク事業	54
1 はなみずき会	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】
2 はなみずき塾 メンタルヘルス編・自己表現ワークショップ編	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】
3 シングルマザーのためのはなみずきセミナー	【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業】
4 はなみずきツアー	【自主事業】
5 母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練	【大阪府（商工労働部）受託事業】
6 ドーン財団発ダイバーシティ経営塾	【自主事業】
7 内閣府「地域女性活躍加速化交付金に係る事業」	【内閣府交付金事業】
3 文化表現事業	65
1 第18回 女性芸術劇場「姉妹たちよ」（ドーンセンター開館20周年記念事業）	【はなみずき基金充当事業】
4 国際交流事業	66
1 第2回 はなみずきスタディツアー「バンクーバーのNGOに学ぶ」	【自主事業】
5 女性の健康支援事業	68
1 大阪府不妊専門相談センター事業	【大阪府（健康医療部）受託事業】
6 次世代育成事業	73
1 夏期インターンシップ・プログラム	【自主事業】
2 研修・実習・職場体験等の受入れ	【自主事業】
3 近畿大学・キャリアサポートセミナー	【近畿大学受託事業】
7 販売事業	77
1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	【自主事業】
2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	【自主事業】
3 オリジナルDVD&ビデオ、ハンドブック等の販売	【自主事業】
4 財団20周年記念グッズの販売	【自主事業】
8 講師派遣・アウトリーチ	81
1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	【自主事業】
2 三重県伊賀市クローバーカレッジⅣ	【三重県伊賀市受託事業】
3 泉大津市男女共同参画セミナー	【泉大津市受託事業】
9 NPO・市民活動支援事業	86
1 共催事業・後援事業	【自主事業】

10 女性に対する暴力対策事業	87
1 内閣府「女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」	【内閣府受託事業】
2 内閣府「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」	【内閣府受託事業】
3 内閣府「若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業」	【内閣府受託事業】
11 東日本大震災被災者支援事業	91
1 内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」	【内閣府受託事業】
2 東北女性の手仕事物産展・物産品の販売	【自主事業】
12 ドーンセンター指定管理事業	95
1 ドーンセンターの概要	
2 ドーン運営共同体の概要	
3 指定管理業務	【大阪府（府民文化部）受託事業】
4 一時保育事業	【自主事業】
13 東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	106
1 東大阪市立男女共同参画センターの概要	
2 施設管理業務	【東大阪市受託事業】
3 東大阪市主催事業	【東大阪市受託事業】
4 イコーラム自主事業	【自主事業】
5 情報	【東大阪市受託事業】
6 登録団体支援	【東大阪市受託事業】
7 イコーラム相談事業	【東大阪市受託事業】
§ 6 平成 26 年度 事業実施一覧	136
§ 7 平成 26 年度 決算	138
1 貸借対照表	
2 正味財産増減計算書	
3 財務諸表に対する注記	
4 附属明細書	
5 収支計算書	
参考資料	
1 設立趣意書	149
2 定款	150
3 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ	158

平成 26 年度 財団ハイライト

2014 年

- 4 月
 - ・大阪府府民文化部受託事業「大阪府男女共同参画推進事業」（2 期・2 年目）開始 [P. 33]
 - ・大阪府府民文化部受託事業「ドーンセンター指定管理事業」（2 期・4 年目）開始 [P. 95]
 - ・東大阪市受託事業「イコラーム指定管理事業」（2 期・1 年目）開始 [P. 106]
 - ・大阪府健康医療部受託事業「大阪府不妊専門相談センター事業」（5 年目）開始 [P. 68]
 - ・内閣府受託事業「平成 26 年度 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」開始 [P. 91]
 - ・「DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談」（4 月～3 月・計 12 回）**実施★** [P. 27]
 - ・「DV被害者のためのサポート・グループ」（4 月～3 月・計 12 回）**実施★** [P. 28]
- 5 月
 - ・「はなみずき会」（5 月～2 月・計 4 回）**実施★** [P. 54]
 - ・イコラーム「男女共同参画基礎講座」**実施★** [P. 121]
 - ・近畿大学受託事業 総合社会学部「キャリアサポートセミナー」（5 月～12 月・計 6 回）**実施** [P. 76]
- 6 月
 - ・「はなみずき塾 メンタルヘルス編・自己表現ワークショップ編」（6 月～3 月・計 10 回）**実施★** [P. 56]
 - ・「シングルマザーのためのはなみずきセミナー」（6 月～2 月・計 5 回）**実施★** [P. 57]
 - ・大阪府商工労働部受託事業「母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練」開始 [P. 59]
 - ・泉大津市受託事業「泉大津市男女共同参画セミナー『にんじんカレッジ初級編』」（6 月～7 月・計 5 回）**実施** [P. 85]
- 7 月
 - ・大阪府府民文化部受託事業「大阪府内市町村における相談員及び相談事業担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会」**実施** [P. 44]
- 8 月
 - ・「夏期インターンシップ・プログラム」（8 月～9 月・計 2 回）**実施★** [P. 73]
 - ・内閣府交付金事業「地域女性活躍加速化交付金に係る事業」開始 [P. 61]
 - ・内閣府受託事業「女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」開始 [P. 87]
 - ・三重県伊賀市受託事業「クローバーカレッジⅣ『女性リーダー養成講座』」（8 月～2 月・計 8 回）**実施** [P. 84]
- 9 月
 - ・はなみずきスタディツアー「バンクーバーの NGO に学ぶ」**実施★** [P. 66]
- 10 月
 - ・財団設立 20 周年記念イベント「ドーンと未来へ」**実施★** [P. 17]
- 11 月
 - ・ドーンセンター開館 20 周年記念イベント「ドーンフェスティバル 2014」**実施★** [P. 18]
 - ・第 3 回 東北女性の手仕事物産展「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」**実施★** [P. 93]
 - ・「相談担当者のためのグループ・スーパービジョン」（11 月～2 月・計 6 回）**実施★** [P. 25]
 - ・「はなみずきツアー 出石永楽館大歌舞伎」**実施★** [P. 58]
 - ・内閣府受託事業「若年層を対象にした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業」開始 [P. 89]
- 12 月
 - ・大阪府府民文化部受託事業「大阪府内 7 ブロック情報交換・事例検討会から見てきた課題を施策・事業に活かすために」研修プログラム**実施** [P. 50]

2015 年

- 1 月
 - ・内閣府受託事業「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」開始 [P. 88]
- 2 月
 - ・「ドーン財団発ダイバーシティ経営塾」（2 月・計 2 回）**実施★** [P. 60]
 - ・大阪府府民文化部受託事業 女性就労支援事業「女性（わたし）のチャレンジ十人十色」**実施** [P. 53]

★印は財団自主事業

平成 26 年度 事業ピックアップ

「ドーンと未来へ」——感謝と決意を込め、財団設立 20 周年記念事業を開催

平成 26 年度は、財団設立、ドーンセンター開館 20 周年の節目の年でした。これを記念して財団は、愛称を「ドーン財団」と決め、ご支援いただいた方々への感謝の思いと財団存続への決意を込めて、さまざまな事業を開催しました。

記念事業の統一スローガンは「ドーンと未来へ」。財団の活動拠点であるドーンセンターとともに、これからもドーンと進んで行こう、という財団スタッフの思いを表しています。事業のあらましを報告します。

激動の歩みを綴る記念誌を刊行

9 月 1 日、財団設立 20 周年記念誌『ドーンと未来へ——大阪府男女共同参画推進財団 20 年の歩み』（写真）と、そのダイジェスト版を刊行しました。記念誌は、A 4 判、本文 64 ページで、1,000 部。平成 6 年 4 月、大阪府によって財団が設立されるまでの前史を含めた財団の歩みを「草創期」「充実期」「激動期」「転換期」の 4 章に分ける構成にしました。本文では、パイロット事業の開発や東日本大震災被災地支援の取り組み、財団廃止のピンチを脱して大阪府の補助金がゼロになった財団自立化以降の生き残りをかけたチャレンジ、女性団体などによる財団支援活動の盛り上がりを綴っています。

見やすく、わかりやすく、史料としても役立つよう写真や表、年表を多用。併せて、大阪府内をはじめ全国各地、海外の女性団体や NPO のリーダー、学者、新聞記者、講座参加者、大震災被災者など 49 人から寄せられた財団の評価、期待のコメントを、各章に織り込みました。

配布先は、大阪府内を中心に全国の男女共同参画センター、自治体、図書館などの公共施設、報道機関、当財団賛助会員、事業協力者などです。



男女共同参画の現状と課題 —基調講演とパネルディスカッションで考える

国や自治体が「女性の活躍」促進を掲げている足元で女性の貧困、根絶にほど遠い女性への暴力、と

いった実態があります。そんな時代に男女共同参画事業はどうあるべきか、を考えるイベントを 10 月 25 日、ドーンセンターのパフォーマンス・スペースで開催し、延べ約 90 人の皆さんが参加されました。

基調講演「新しい社会の創造と男女共同参画事業」 講師 桜井陽子・全国女性会館協議会理事長 (世田谷区立男女共同参画センター館長)

桜井理事長（写真）はまず、「男女の人権が尊重され、経済活動の場など男女の差があるところに双方が参画できるようにして、その結果としてともに利益を享受し、責任を担う活力ある社会を実現するのが男女共同参画の筋」と強調。そのうえで、ドーンセンターのような男女共同参画センターについて「DV など女性問題には多くの場合、背景にジェンダー格差、社会的な構造があるとの認識のもとに、縦割りではなく、総合的、継続的な支援事業を展開してきた」と評価しました。



一方で、桜井理事長は、男女共同参画センターの設置に関する根拠法がない不安定さや、予算も人材も不足している現状を指摘しました。東日本大震災の体験をもとに、今後のあり方について「男女共同参画センターは、大災害時に、女性など弱い立場の人たちへの支援拠点になり得る。センターがあるって大事」と訴え、「困難な状況にある人たちを社会的つながりのなかに内包するという視点で男女共同参画をとらえ、女性も男性も、出番と居場所がある地域社会を形成していくことが重要」と締めくくりました。

パネルディスカッション

「男女共同参画社会を実現するために

～公益団体が果たすべき役割～」

財団 20 年の実績への評価、男女共同参画の現状と課題、財団のような公益団体が果たすべき役割をテーマに、分野の異なるパネリスト 3 人に議論と提言をお願いしました。(写真)



桜井陽子・全国女性会館協議会理事長は、財団の取り組みによってドーンセンターが西日本の拠点施設の役割を果たしてきた点を評価。今後の財団について「行政が男女共同参画のために拠出する資金の受け皿になり、地域の男女共同参画を担う場を死守してほしい」と注文しました。

NPO、ボランティア活動の立場から早瀬昇・日本NPOセンター代表理事(財団評議員)は、交通遺児問題と介護の現状を例にあげて日本の男女共同参画の後れを指摘し、「男女共同参画のような人権問題の分野では、民間のスタッフを抱える体制づくりが大切」と提言しました。

行政トップ(兵庫県尼崎市長)の経験がある白井文・グンゼ株式会社取締役(財団業務執行理事)は、行政と企業、NPOとの人事交流の必要性と、財団として中間支援組織の次元を超える活動の重要性を指摘しました。

「ドーンフェスティバル 2014」に

延べ 3,800 人来場

フェスティバルは、ドーンセンターの指定管理者「ドーン運営共同体」が主催し、11 月を中心に開催しました。共同体は財団を代表に、一般財団法人大阪府青少年活動財団、NPO 法人大阪現代舞台芸術協会、三菱電機ビルテクノサービス株式会社関西支社の 4 者で構成。10 年ぶりの全館あがての多彩な催しで、メインの催しだけで延べ約 3,800 人の皆さんが来場され、登録団体の皆さん

をはじめ、参加者同士の交流促進に貢献しました。催しの情報はパンフレットやホームページで発信したほか、新聞、テレビ、ラジオでたびたび報道され、ドーンセンターの知名度アップにもつながりました。

【フェスティバル事業】

- ・ 絵画展「口と足で表現する世界の芸術家たち」

(11 月 7～9 日)

- ・ 登録団体、NPO など 30 団体のイベント 34 件

(11 月 15～16 日)

- ・ 舞台俳優等による絵本の読み聞かせ

(11 月 15～16 日)

- ・ 第 18 回女性芸術劇場公演「姉妹たちよ」

(11 月 15～16 日)

- ・ 模擬店「どーんと新世界」

(11 月 15～16 日)

- ・ 『姉妹たちよ・女の暦』カレンダー展

(9 月 12 日～11 月 22 日)

- ・ 企画展示「浪花女を読み直す」

(10 月 4 日～11 月 29 日)

- ・ DVD 上映会「Women Pioneers 女性先駆者たち」

(11 月 15～16 日)

- ・ 男女共同参画事業をふりかえるポスター展

(10 月 21 日～11 月 23 日)

- ・ 第 3 回東北女性の手仕事物産展(写真)

(11 月 15～16 日)



- ・ チャレンジラリー「再発見!大阪城公園」「新発見!ドーンセンター」

(11 月 15～16 日)

- ・ 参加団体交流会

(11 月 16 日)

§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要

1 愛称

ドーン財団

2 基本理念、目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加、参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的、経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的とする。

〈運営方針 ー 3つのCー〉

Continue 継続のC

20世紀に起きた女性の社会参加、参画への理念と熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性エンパワメントの意欲などを継承する。

Collaborate 協働のC

NPOや企業、学校など様々な団体、機関と協働して課題に取り組む。

Change 変革のC

男女共同参画社会づくりを阻む社会慣行や制度を変革する事業を展開する。

3 設立年月日 平成6（1994）年4月1日

4 基本財産 1億円（大阪府全額出資）

5 所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

6 主要事業

- （1）男女共同参画社会の実現に資する情報収集、提供及び調査研究事業
- （2）男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業
- （3）女性の抱える問題に関する相談事業
- （4）女性の能力開発、ネットワーク事業
- （5）女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- （6）女性による文化表現活動支援事業
- （7）女性の健康支援事業
- （8）国際交流事業
- （9）次世代育成事業
- （10）指定管理事業

7 役員

評 議 員	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース代表
	上田理恵子	株式会社マザーネット代表取締役社長
	熊 和子	元毎日放送ラジオ局長
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	早瀬 昇	NPO活動法人日本NPOセンター代表理事、社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
理 事 長	松尾 園子	弁護士
	時岡禎一郎	学校法人大阪女学院監事
	白井 文	グンゼ株式会社取締役
	伊田久美子	大阪府立大学人間社会科学研究科教授、 地域連携研究機構女性学研究センター長
	金光 哲司	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団事務局長
業務執行理事	川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
	段林 和江	弁護士
	仁科あゆ美	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター
	畑 律江	毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員
	田上 時子	NPO法人女性と子どものエンパワメント関西理事長
監 事	林 紀美代	公認会計士

※50 音順、肩書は 2014.4 現在

8 アドバイザー

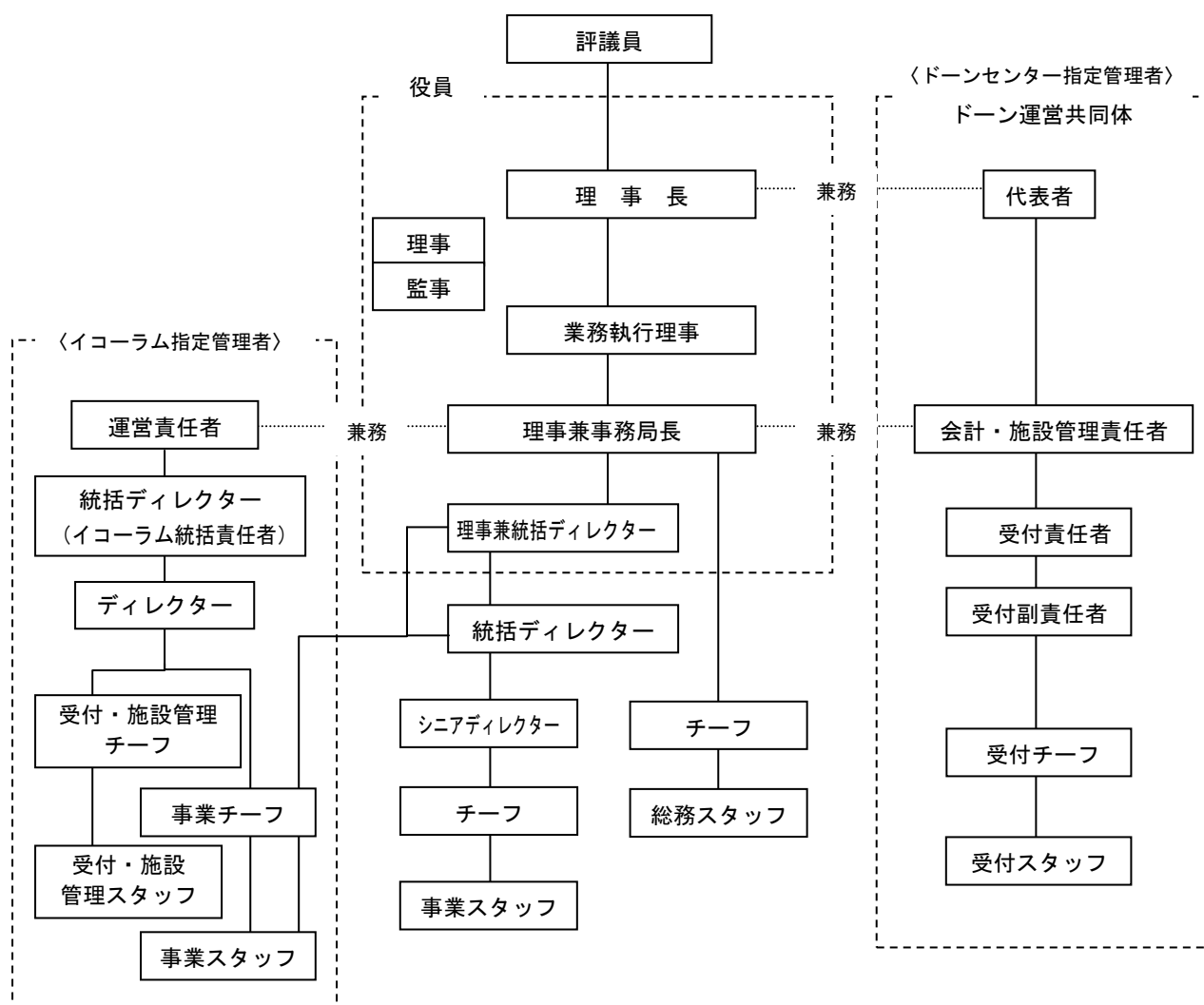
事業企画を行うにあたり、助言や必要に応じたコーディネートを担うアドバイザーを委嘱した。

(委嘱期間：2014 年 4 月～2015 年 3 月)

石野 伸子	産経新聞大阪本社編集委員
川喜田好恵	日本フェミニストカウンセラー協会代表理事
黒瀬友佳子	帝人株式会社CSR・信頼性保証部CSRグループ長
ローラ・デールズ	西オーストラリア州立大学准教授
弘本由香里	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所 特任研究員
宮本由起代	NPO法人心のサポート・ステーション代表理事

※50 音順、肩書は 2014.4 現在

9 組織体制



10 職員数 常勤役員兼正職員×2名、正職員×2名、
契約職員×23名（22名）、非常勤職員×12名（17名）、相談員×13名

※2014.4 現在 () 内 2015.3.31 現在

(1) 財団事務局

事務局長	金光 哲司（運営担当理事）
統括ディレクター	仁科あゆ美（企画、事業担当理事）
統括ディレクター	木下みゆき
シニアディレクター	萬田久美子
チーフ	近藤 裕子、中村 美果、矢島 孝子、中野 有希
スタッフ	平野 敬子（～2014. 9. 30）、石道 尚子、大森 愛子、米田 有杞 久野 美鶴、小田川史子、石田 早苗、本田真以子 長崎 邦子（2014. 8. 1～）、川西 千寿（2014. 8. 19～） 中島みちる（2014. 11. 1～）

(2) 東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）担当

統括ディレクター	小林 洋子
ディレクター	栗田まりこ
チーフ	中臣 桂子、扇田 敬裕、平井 厚子
スタッフ	西山 恵美、清水 尚美、吉川由岐子、木下 優

(3) ドーン運営共同体担当

統括責任者	植田 宏美
受付責任者	棚瀬 美幸
受付副責任者	後藤小寿枝
受付チーフ	幸野 智彦
受付スタッフ	藤原 彩果、石川 敬子、竹林 香織、馬場 恵 前田 瑠佳、山本 恒子

§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営

1 理事会の開催

(1) 第10回理事会

- 開催日 平成26年5月30日(火) 10:10～11:50
- 議 題 ①平成25年度収支補正予算について
②平成25年度事業報告及び収支決算について
③平成26年度事業計画及び収支補正予算について
④評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①平成25年度自己評価について
②「中期経営プラン」の平成25年度達成状況について
③正職員採用状況について

(2) 第11回理事会

- 開催日 平成26年6月18日(水) 13:30～14:00
- 議 題 ①代表理事(理事長)の選定について
②業務執行理事の選定について
- 報 告 ①平成26年度第7回評議員会の報告について
②平成25年度ドーン運営共同体の決算について
③正職員の採用状況について

(3) 第12回理事会

- 開催日 平成26年9月25日(火) 15:00～16:15
- 議 題 ①平成26年度収支補正予算について
②就業規則の変更について
③財団の愛称について
- 報 告 ①平成26年度財団事業の報告について
②財団20周年事業及びドーンフェスティバルについて

(4) 第13回理事会

- 開催日 平成27年2月18日(木) 10:00～11:50
- 議 題 ①平成27年度財団組織体制について
②各種規程(規則)の改正について
③平成26年度補正予算について
④第8回評議員会の招集及び議題について
- 報 告 ①平成26年度財団事業の報告について
②平成26年度収支決算見込みについて
③財団20周年事業の報告について

(5) 第14回理事会

- 開催日 平成27年3月13日(金) 13:15～15:00

- 議 題 ①平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 ②各種規程の変更について
 ③平成 26 年度第 8 回評議員会の議事事項変更について
- 報 告 ①平成 26 年度財団事業の報告について
 ②平成 26 年度ドーン運営共同体収支決算見込みについて
 ③平成 26 年度財団収支決算見込みについて
 ④平成 27 年度財団アドバイザーについて

2 評議員会の開催

（1）第 7 回評議員会

- 開催日 平成 26 年 6 月 18 日（水）10：30～11：50
- 議 題 ①平成 25 年度収支補正予算の承認について
 ②平成 25 年度事業報告及び決算報告の承認について
 ③平成 25 年度公益目的支出計画報告書の提出について
 ④平成 26 年度からの理事及び監事の選任について
 ⑤平成 26 年度事業計画及び収支補正予算の承認について
- 報 告 ①平成 25 年度自己評価について
 ②「中期経営プラン」の平成 25 年度達成状況について
 ③平成 25 年度ドーン運営共同体の決算報告について
 ④正職員採用状況について

（2）第 8 回評議員会

- 開催日 平成 27 年 3 月 25 日（水）10：00～11：45
- 議 題 ①定款の変更について
 ②平成 27 年度事業計画及び収支予算の承認について
- 報 告 ①平成 27 年財団組織体制について
 ②各種規程の改正について
 ③財団 20 周年事業の報告について
 ④平成 26 年度ドーン運営共同体収支決算見込みについて
 ⑤平成 26 年度財団収支決算見込みについて
 ⑥平成 27 年度財団アドバイザーについて

3 プロジェクト 2014

（1）財団設立 20 周年記念事業の実施

P. 6～7、P. 17～19 参照

（2）「はなみずき女性支援センター」開設の準備

すべての女性が自分の人生を主体的に選択し、自立できることを応援するために「はなみずき女性支援センター」を平成 27 年度より開設予定である。「はなみずき女性支援センター」では、暴力

被害等によって困難な状況にある女性をサポートし、社会復帰を支援していくために相談カウンセリング、サポート・グループ、法律相談他の事業を予定している。平成26年度は事業実施にあたり、ファンドレイジングを目的とした、財団のPRや企業訪問などを実施。寄附金確保のための準備を進めた。

(3) 平成27年度「東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」受託者への応募

入札、改札 平成27年3月18日(水)

結 果 事業受託者として決定

契約期間 平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木)

4 他機関との連携

関係機関相互の情報交換、ネットワーク形成を図ることで、事業及び法人運営の充実を図った。

(1) NPO法人全国女性会館協議会 団体会員

(2) 大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員

(3) 一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 会員

(4) 公益社団法人日本図書館協会 会員

(5) 専門図書館関西地区協議会 会員

(6) 大阪府外郭団体代表者懇話会 会員

(7) 大阪府男女共同参画推進ネットワーク 会員

5 職員研修の実施

(1) 理論研修

	月日	研修名
1	4月18日(金)	第1回 財団アドバイザーによる職員研修 「次世代育成に向けた財団への期待」 ・ローラ・デールズ(西オーストラリア州立大学准教授)
2	5月23日(木) 6月12日(木) 19日(木)	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム(基礎編)
3	6月18日(水)	第2回 財団アドバイザーによる職員研修 「いま、日本企業の『ダイバーシティ推進室』とその周辺で起こっていること」 ・黒瀬友佳子(帝人株式会社CSR・信頼性保証部CSRグループ長)
4	6月28日(土)	男女共同参画週間記念のつどい(イコーラム)
5	9月12日(金)	第3回 財団アドバイザーによる職員研修 「『浪花女を読み直す』展によせて」 ・石野伸子(産経新聞大阪本社編集委員)
6	9月29日(水) 10月1日(水)	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム(実践編)

7	10月11日（土） 15日（水） ～18日（土） 21日（火） ～22日（水）	人権研修（DVD研修）
8	12月11日（木）	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

（２）実務研修

	月日	研修名
1	9月 1日（月） ～ 7日（日）	【海外研修】はなみずきスタディツアー バンクーバーのNGOに学ぶ
2	11月 9日（日）	【国内研修】第4回はなみずきツアー 出石永楽館大歌舞伎

§ 3 広報・PR

1 広報事業

当財団の活動内容や事業成果等を広く発信するため、ホームページ等を運営するとともに、ニュースレターを発行した。

(1) ホームページ (<http://www.ogef.jp/>) の管理、運営

①目 的 当財団の活動内容等を広く情報公開することを目的にホームページを運営する。

②アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	6,457	4,492	5,119	5,074	3,897	4,116	5,821	6,299	5,658	4,795	3,892	3,676	59,296
平成25年度	5,555	6,005	5,462	4,955	4,651	7,097	5,727	3,910	3,945	4,188	4,111	5,837	61,443
平成24年度	4,025	4,063	5,111	4,007	3,712	4,625	4,531	4,023	3,637	4,695	4,065	4,814	51,308
平成23年度	3,617	4,291	3,880	3,238	3,854	3,320	3,896	3,506	2,830	4,303	3,636	5,072	45,443
平成22年度	2,980	2,471	6,041	7,053	4,795	5,319	3,720	3,644	3,768	4,027	3,492	3,432	50,742

(2) 財団ブログ (<http://ameblo.jp/ogef/>) を利用した情報発信

①目 的 当財団で実施した講座内容等の報告や、セミナー、視察などの報告をわかりやすい内容で情報発信する。

②アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	3,815	4,099	4,721	3,995	4,000	4,243	4,522	5,312	6,574	3,591	2,616	3,090	50,578
平成25年度	2,243	2,967	3,608	3,861	2,930	3,090	3,390	2,895	3,430	3,567	3,296	3,948	39,225
平成24年度	—	—	—	2,944	2,758	3,825	3,390	3,896	2,696	2,591	3,083	3,652	28,835

※平成24年7月よりアクセス数の集計を開始

(3) SNS「Twitter」(https://twitter.com/O_G_E_F) を利用した情報発信

①目 的 SNSを利用することにより、ホームページ、ブログで発信している情報にアクセスしやすくする。

月	ツイート数	フォロワー数
平成27年3月現在	359	122

(4) ニュースレター『DAWN通信』の発行

①目 的 賛助会員やご寄附いただいた方などの支援者に向けて活動報告等を行うことを目的に、ニュースレターを発行する。

②発行頻度 年2回

③発行部数 第19号 3,000部

第20号 4,000部

④内容等

No.	発行日	内容
第 19 号	平成26年 6月 1日	特集「今年度の事業展開：このような事業を展開」 トピックス：「ドーンと未来へ ～20 周年記念事業へのお誘い」 〈執筆〉時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長）
第 20 号	平成26年 12月20日	特集「20 周年記念イベント」 トピックス：財団の愛称を決定 「こんにちは！ドーン財団です」 〈執筆〉時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長）

2 財団設立 20 周年記念事業

【事業概要】

- （１）目 的 平成 26 年度、財団は設立 20 周年を迎えた。それにともない財団 20 周年記念誌『ドーンと未来へ』を発刊し、10 月 25 日には財団 20 周年記念イベントを開催した。
- また、指定管理者であるドーン運営共同体が 11 月 15 日、16 日に開催したドーンセンター開館 20 周年記念イベント「ドーンフェスティバル 2014」では、各種イベントを催した。

【事業内容・実績】

（１）財団設立 20 周年記念誌の刊行

- ①目 的 府民、支援者の皆さんに感謝の意を表して男女共同参画社会実現への思いを共有するとともに、激動の歩みから教訓をくみとり、財団運営の道標とする。
- ②発行日 平成 26 年 9 月 1 日
- ③発行数 1,000 部

（２）財団設立 20 周年記念イベント「ドーンと未来へ」（Ⅰ部、Ⅱ部）

- ①日 時 平成 26 年 10 月 25 日（土）13:30～17:30
- ②場 所 ドーンセンターパフォーマンス・スペース（1F）
- ③参加費 第Ⅰ部無料
第Ⅱ部 1,500 円（軽食、お土産「東北女性の手仕事品」付）



④内容・参加実績 延べ約 90 名

	日時	テーマ／講師
1	10月25日（土） 13:00～17:30	第Ⅰ部 開会 「財団 20 周年記念誌『ドーンと未来へ』刊行にあたって」 ・時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長） 基調講演「新しい社会の創造と男女共同参画事業」 ・桜井陽子（全国女性会館協議会理事長、世田谷区立男女共同参画センター館長） パネルディスカッション「男女共同参画社会を実現するために～公益団体が果たすべき役割～」 ・桜井陽子（全国女性会館協議会理事長、世田谷区立男女共同参画センター館長） ・早瀬昇（日本NPOセンター代表理事、（一財）大阪府男女共同参画推進財団評議員） ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市市長、グンゼ株式会社取締役） ・時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長） 第Ⅱ部 財団サポーターのつどい～財団の思いを語りあいましょう～

（３）ドーンフェスティバル 2014

・ポスター展「ドーンと未来へ ～男女共同参画推進講座の 20 年～」

- ①目 的 これまで当財団が実施してきた男女共同参画推進のための啓発学習事業 155 講座（450 コマ）は、社会動向を見ながら、そこに浮かび上がるさまざまな問題に男女共同参画の視点を向け、社会化してテーマとして捉え、先駆的に企画、実施してきたものであり、講座名、キャッチコピー等はその時代を反映し、取り組みの変遷も伺える。20 年を機に、今までに実施してきた男女共同参画推進のための事業（主に啓発学習事業や文化表現事業等）から選りすぐり、チラシをポスターにしたものを展示する。ポスター展として、広く府民に公開することで、今後取り組むべき課題、テーマを整理し、それぞれがこれからの男女共同参画の実現に向けた活動に活かすことを目的とする。
- ②期 間 平成 26 年 10 月 21 日（火）～11 月 23 日（日）
- ③場 所 ドーンセンターロビー（1F）
- ④参加費 無料
- ⑤内 容 男女共同参画推進のための啓発学習事業、文化表現事業（女性芸術劇場、ドーン・シネマクラブ等）のチラシをポスターにしたもの 44 枚を展示した。
- 展示内容）「ポスト北京の課題～北京会議を終えて今後何をすべきか～」（平成 7 年度）
 ／「時間の超整理法～女性のためのタイムマネジメント～」（平成 8 年度）
 ／「女性への暴力〈実態編〉〈支援編〉〈防止編〉」（平成 10 年度）／「ここが変だよ、男と女！～女子学生からみた、異文化の視点でみたジェンダー問題」（平成 13 年度）／「男の人生『勝ち組』でも『負け組』でもない生き方とは？」（平成 13 年度）／「今、息子から親を語る」（平成 14 年度）／「働く女性が日本を変える」（平成 15 年度）／「『負け犬論』を超えて」（平成 16 年度）／「1.29 と女性」（平成 17 年度）／「私の働き続け方、働きつなぎ方」（平成 18 年度）／「ノルウェーに学ぶ」（平成 18 年度）／「時代に消費されずに生

きる～『遭難フリーター』上映とトーク」(平成 19 年度)「男の介護が社会を変える」(平成 21 年度)／「心が折れない男の生き方」(平成 23 年度)／「ネットの闇から女性・子どもを守る！」(平成 25 年度) ほか

・『姉妹たちよ・女の暦』カレンダー展

- ①期 間 平成 26 年 9 月 12 日 (金) ～11 月 22 日 (土)
- ②場 所 ドーンセンター情報ライブラリー (2 F)
- ③内容等 P. 38 参照

・企画展示「浪花女を読み直す」

- ①期 間 平成 26 年 10 月 4 日 (土) ～11 月 29 日 (土)
- ②場 所 ドーンセンター情報ライブラリー (2 F)
- ③内容等 P. 38 参照

・DVD上映会『Women Pioneers—女性先駆者たち』

- ①日 時 平成 26 年 11 月 15 日 (土)、16 (日)
- ②場 所 ドーンセンター情報ライブラリー (2 F)
- ③内容等 P. 39 参照

・第 18 回 女性芸術劇場公演「姉妹たちよ」

- ①期 間 平成 26 年 11 月 15 日 (土)、16 (日)
- ②場 所 ドーンセンターホール (7 F)
- ③内容等 P. 65 参照

・第 3 回 東北女性の手仕事物産展「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

- ①期 間 平成 26 年 11 月 15 日 (土)、16 (日)
- ②場 所 ドーンセンターロビー (1 F)
- ③内容等 P. 93 参照

(4) 財団 20 周年記念グッズの販売

- ①期 間 平成 26 年 10 月 25 日 (土)、平成 26 年 11 月 15 日 (土)、16 (日)
- ②場 所 ドーンセンターパフォーマンス・スペース (1 F) 他
- ③内容等 P. 80 参照

3 賛助会制度運営

(1) 賛助会事務局の運営

- ①賛助会 P R
- ②入会受付、賛助会カードの発行
- ③ニュースレターの発送（年2回）
- ④賛助会員優待事業の案内（はなみずき会等）

(2) 平成26年度入会状況

	会員種別	入会件数	口数
1	個人会員	99名	157
2	団体会員（非営利）	18団体	19
3	団体会員（企業）	7企業	15

(3) 賛助会員一覧（平成27年3月31日現在）

①個人会員

伊藤 誠／青木 照子／阿部 茜／尼川 洋子／荒木 美子／池田 幸雄
石元 清英／伊田 久美子／乾 千嘉子／内屋 幸治／大畑 眞由美／岡田 昌子
奥村 幸枝／尾後 裕子／川口 章／川崎 佳代子／北山 博一／木山 美佳／倉田 清
黒瀬 友佳子／黒田 昌子／越堂 静子／伍賀 偕子／小林 和子／小牧 美江
小松 満貴子／小山 雅司／三枝 泉／志水 紀代子／清水 由喜／正路 怜子
鈴木 誠子／砂湖 和子／外川 恵／高田 昌代／竹中 恵美子／竹山 栄治／田代 眞朱子
田中 潤子／田中 良正／谷合 佳代子／谷岡 文香／徳武 聡子／中川 俱子
夏原 晃子／名取 千里／西辻 達也／野村 佳代／橋本 博雅／服部 道代／早瀬 昇
藤井 三樹生／藤田 良和／二木 洋子／淵田 智／星野 聖明／本多 利子
米谷 優子／升間 晶子／松岡 一彦／溝上 久美子／溝手 伸子／溝手 真理
森 栄子／森 俊江／森屋 裕子／山中 紀代子／山本 隆夫／山本 陽子
吉岡 重彰／若柳 一寿／ 匿名希望28名

②非営利団体

NPO法人ハーティ
NPO法人リトミック研究センター 大阪第一支局
劇団シルバームーン
大阪難聴児親の会（あゆみ会）
高齢社会をよくする女性の会・大阪
I 女性会議大阪
オパールネットワーク大阪
カウンセリングニューやあやあ
NPO法人生きがい大阪
女性のエンパワメントをサポートする会
NPO法人グループみこし
NPO法人大阪心のサポートセンター

NPO法人心のサポート・ステーション
 エンパワメントいばらき
 柳寿会
 他3団体

③企業会員

大阪商工信用金庫
 株式会社学校事務機センター
 株式会社グリーン・アート
 株式会社ゼロワン
 株式会社タツミ
 司法書士事務所ともえみ
 日本イーライリリー株式会社

※50音順、敬称省略

4 視察の受入れ

視察の受入れを行い、当財団事業についての説明を行った。

〈受入れ実績〉

	月日	内容	受入数
1	7月 2日（水）	大阪樟蔭女子大学キャリアセンター	教員 1 名 職員 1 名
2	7月25日（金）	公益財団法人日本女子学習財団	職員 1 名
3	7月29日（火）	韓国全南（チョンナム）女性プラザ	職員 5 名 通訳 2 名
4	7月29日（火）	新任教員社会体験研修	教員 16 名
5	8月 2日（土）	宝塚大学看護学部臨地実習 「ドーンセンターにおける女性支援の実際」	学生 15 名 教員 3 名
6	12月12日（金）	大阪教育大学生涯教育計画論専攻学生2回生	学生 21 名 教員 1 名

§ 4 公益目的事業概要

1 賛助会費充当事業

相談担当者のためのグループ・スーパービジョン

【事業概要】

(1) 目的 スーパービジョン (super vision) とは、対人援助にたずさわる者（特に相談援助職）が常に専門家としての資質の向上をめざすための教育方法である。実際の相談の現場では、さまざまな課題に直面し、「どう対応したらいいのか」「どのように理解したらいいのか」「自分の対応はこれでいいのか・・・」と迷いや悩みが生じる。そのため、臨床に基づいた研修の機会は、よりよい相談を行うためにも、また、援助者が燃え尽きることなく、仕事を継続するためにも不可欠である。

このスーパービジョン講座では、女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 事例から学ぶ女性相談〈11月コース〉

～相談者の訴えを明確に把握し、適切な対応をするために～

- ①期 間 平成 26 年 11 月 5 日（水）～11 月 26 日（水）
- ②場 所 ドーンセンター中会議室（4F）
- ③スーパーバイザー 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会
代表理事、（一財）大阪府男女共同参画推進財団
カウンセラー）
- ④対 象 ・女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、
支援活動をしている方
・行政窓口等で、事務職だが相談を受けなくてはならない方
・福祉行政の相談等で、カウンセリングの手法を取り入れたい方 等
- ⑤参加費 5,000 円
- ⑥内容・参加実績 定員：15 名程度、申込者数：16 名、決定者数：14 名



	月日	内容	参加者数
1	11月 5日（水） 10:00～12:00	女性相談の実際～構成事例を使って～	14 名
2	11月18日（火） 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する①	13 名
3	11月26日（水） 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する②	11 名
			(延) 38 名

(2) 事例から学ぶ女性相談〈1月コース〉

～相談者の訴えを明確に把握し、適切な対応をするために～

- ①期 間 平成 27 年 1 月 15 日 (木) ～ 2 月 5 日 (木)
- ②場 所 ドーンセンター中会議室 (4 F)
- ③スーパーバイザー 宮本由起代 (NPO法人心のサポート・ステーション代表理事、(一財)大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー)
- ④対 象
- ・女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方
 - ・行政窓口等で、事務職だが相談を受けなくてはならない方
 - ・福祉行政の相談等で、カウンセリングの手法を取り入れたい方 等
- ⑤参加費 5,000 円
- ⑥内容・参加実績 定員：15 名程度、申込者数：19 名、決定者数：15 名



	月日	内容	参加者数
1	1月15日 (木) 10:00～12:00	女性相談の実際～構成事例を使って～	15 名
2	1月30日 (木) 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する①	15 名
3	2月 5日 (木) 10:00～12:00	グループ・スーパービジョンを体験する②	14 名
			(延) 44 名

1 賛助会費充当事業

DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談

【事業概要】

- (1) 目的 女性問題に詳しい女性弁護士による女性の視点に基づいた法律問題に関する面接相談を行うことにより、DV被害、性暴力被害に苦しむ女性の生き方を支援する。

【事業内容・実績】

- ①期 間 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

毎月第 3 木曜日 14:00～16:00

※各日 1 人 30 分 全 4 枠

- ②場 所 ドーンセンターサポート・カウンセリングルーム（3F）

- ③内容・参加者数

	実施日	予約人数 (キャンセル待含む)	相談者数	キャンセル数
1	4月17日（木）	8名	4名	0名
2	5月15日（木）	7名	4名	0名
3	6月19日（木）	5名	3名	1名
4	7月17日（木）	5名	2名	3名
5	8月21日（木）	7名	3名	4名
6	9月18日（木）	5名	2名	3名
7	10月16日（木）	5名	4名	0名
8	11月20日（木）	8名	4名	0名
9	12月18日（木）	5名	4名	0名
10	1月15日（木）	2名	2名	0名
11	2月19日（木）	4名	3名	1名
12	3月19日（木）	5名	2名	2名
		(延) 66名	(延) 37名	(延) 14名

2 賛助会費充当事業

DV被害者のためのサポート・グループ

【事業概要】

- (1) 目的 ドメスティック・バイオレンスを経験した女性が集まり、グループでファシリテーターと共に自分の経験や悩みを語り合うことを通じて相互に支え合い、現在の状況を整理し、自尊感情を取り戻し、問題解決能力を身につけていくための支援を行う。

【事業内容・実績】

(1) わたしの「再出発」～夫の暴力を逃れて～〈前期〉

- ①期 間 平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月
月 1 回土曜日 全 6 回 10：00～12：00
- ②場 所 ドーンセンター調理室（4F）
- ③ファシリテーター 竹之下雅代（ウィメンズカウンセリング京都、
（一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）
- ④内容・参加者数



	月日	テーマ	参加者数
1	4月19日（土） 10:00～12:00	いまだに自由に生きられていない現状	6名
2	5月10日（土） 10:00～12:00	暴力被害からの回復はあるのか	6名
3	6月14日（土） 10:00～12:00	症状に悩むが、夫から離れている現実を感じて	4名
4	7月19日（土） 10:00～12:00	発言できるようになった私	4名
5	8月 9日（土） 10:00～12:00	夫といた時の私	7名
6	9月13日（土） 10:00～12:00	断ち切りたい暴力の連鎖	10名
			(延) 37名

(2) わたしの「再出発」～夫の暴力を逃れて～〈後期〉

- ①期 間 平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月
月 1 回土曜日 全 6 回 10：00～12：00
- ②場 所 ドーンセンター調理室（4F）
- ③ファシリテーター 杉本志津佳（フェミニストカウンセリング堺、
（一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）



④内容・参加者数

	月日	テーマ	参加者数
1	10月11日（土） 10:00～12:00	精神的暴力について	9名
2	11月22日（土） 10:00～12:00	DVと虐待	7名
3	12月20日（土） 10:00～12:00	“幸せ家族”イメージ	4名
4	1月17日（土） 10:00～12:00	回復とはどういうことか	2名
5	2月14日（土） 10:00～12:00	加害者の共通性	5名
6	3月14日（土） 10:00～12:00	DVの精神的影響	6名
			(延) 33名

§ 5 一般事業概要

1 大阪府（府民文化部）受託事業

女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性に関する情報を収集、整理、加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報を提供する。
- (2) 期 間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- (3) 場 所 ドーンセンター 情報ライブラリー（2F）

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター情報ライブラリーの運営

女性関係の図書、雑誌、行政資料、視聴覚資料等の閲覧、視聴、貸出サービスを行うほか、利用者からの情報相談に応じる。情報ライブラリーの運営にあたっては、「大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー管理運営要領」に基づき行う。

①開室日時 火、水、木、土曜日 9：30～17：30 金曜日 9：30～20：00

②利用状況

〈入室者数、視聴覚資料館内視聴、貸出、返却、予約、新規登録〉

	入室者数	視聴覚	貸出	返却	予約	新規登録(※)
4 月	1,525	67	604	513	16	23
5 月	1,627	109	773	702	8	24
6 月	1,993	72	654	635	9	27
7 月	2,272	66	665	704	15	33
8 月	1,930	73	664	747	4	24
9 月	1,510	53	659	640	3	44
10 月	1,781	48	784	857	26	30
11 月	1,676	80	541	543	4	19
12 月	1,506	45	514	479	5	35
1 月	1,673	46	647	590	2	19
2 月	1,713	54	713	727	15	45
3 月	1,665	45	465	653	8	11
平成 26 年度	20,871	758	7,683	7,790	115	334
平成 25 年度	23,746	823	7,377	7,576	134	404
平成 24 年度	23,836	865	8,056	7,944	182	384

※ライブラリーカード新規登録者数（カード登録者数合計 22,933 人）

〈資料別貸出冊数〉

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
図書・雑誌（冊）	5,022	4,860	4,958
行政資料（冊）	435	373	353
視聴覚資料（点）	2,226	2,144	2,745
合計	7,683	7,377	8,056

〈情報相談〉

ライブラリースタッフが、図書、資料、データベース等を活用して、検索指導や来館、電話、メールによる情報相談に応じる。

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
利用案内	2,365	3,261	3,668
検索指導	32	118	260
資料の所蔵・所在調査	437	636	1,119
特定テーマの資料案内	203	215	307
人材・学習情報の提供	126	79	97
グループ・施設情報の提供	100	57	74
ライブラリー活動・運営情報の提供	122	113	98
その他	4	7	15
合計	3,389	4,486	5,638

〈府内公共図書館協力貸出サービス〉

非来館者に対するサービス拡充のため、大阪府立図書館の協力により、府内公共図書館への協力貸出サービスを行う。

府内公共図書館への貸出（冊）	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
	5	13	4

〈大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）との相互貸借サービス〉

非来館者に対するサービス拡充のため、府市連携により、所蔵資料の相互貸借サービスを行う。

クレオ大阪との相互貸借（冊）	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
	5	20	20

〈テーマ別資料セット貸出〉

資料の利用促進のため、女性関連施設や行政を対象に、男女共同参画に関するテーマごとに 20～30 冊程度をピックアップし、セット貸出を行う。

平成 26 年度 貸出先	件数	冊数
東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）	7	283
鳥取県西部総合事務所 保健福祉局	1	6
大阪大学ハラスメント相談室	1	27
合計	9	316

③図書・資料の蔵書数

		平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
図書（冊）		43,801	43,343	43,073
行政資料（冊）		13,582	13,420	13,213
視聴覚資料（点）		2,329	2,308	2,284
	DVD	631	1,667	1,679
	ビデオ	1,665	608	571
	カセットブック・CD	32	33	34
雑誌（冊）		55,761	54,441	53,207
	タイトル数	1,745	1,721	1,704

（２）人材情報データベースの管理運営

審議会や各種委員会委員候補となる様々な分野の女性人材や女性問題等の専門家に関するデータベースを管理運営し、依頼によって照会に応じる。

〈登録者数〉 1,066 件

〈既存データの更新〉 年 1 回

〈人材情報を提供した情報相談件数〉 合計 120 件

（３）ドーンセンターホームページの管理運営

ドーンセンターホームページ(<http://www.dawncenter.or.jp/>)の管理運営に係る統括者として、センターで実施される事業案内、トピックス等をホームページで情報提供する。

トップページへの アクセス数	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
	814,032	436,075	316,643

〈メニュー別アクセス数〉

メニュー	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
事業案内	23,967	30,607	33,386
施設案内	319,063	238,975	244,203
講座・イベント	31,092	59,109	95,629
情報ライブラリー	76,187	94,225	589,091
女性情報ステーション	13,621	27,866	62,225
出版物	761,407	676,203	53,447
事業統計	65,318	76,907	20,550
リンク集	3,052	5,857	6,819
Introduction in English	49,374	66,899	66,051
携帯電話による施設利用状況アクセス	1,006	2,354	3,308
合計	1,344,087	1,279,002	1,174,709

(4) 情報配信サービス

①メールマガジン『e-DAWN』の発行

ドーンセンターの最新ニュースを伝えるメールマガジンを月2回発行。

登録者数（人）	平成26年度	平成25年度	平成24年度
	1,114	1,152	1,179

②情報メールサービスの配信

インターネット上で発信された情報から、男女共同参画に関わる活動や学習に活かせるものをピックアップし、月1回メールで配信。

登録者数（人）	平成26年度	平成25年度	平成24年度
	245	232	221

(5) 視察、体験学習、フィールドワーク等の受入れ

情報ライブラリーの所蔵資料を活用し、学びの機会を提供した。

	月日	内容	参加者数
1	4月 2日（水）	ライブラリーツアー（一般利用者）	1名
2	4月 3日（木）	ライブラリーツアー（日本政策金融公庫）	2名
3	4月15日（火）	ライブラリーツアー（新スタッフ）	1名
4	4月30日（水）	ライブラリーツアー（大阪府府民文化部男女参画・府民協働課職員）	2名
5	5月13日（火） ～15日（木）	職場体験実習受入（株式会社コスモス）	1名
6	5月23日（金）	ライブラリーツアー（一般利用者）	1名
7	5月24日（土）	ライブラリーツアー（一般利用者）	1名
8	6月 6日（金）	ライブラリーツアー（母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練6月コース受講生）	10名
9	7月24日（木）	ライブラリーツアー（吹田市男女共同参画センター・グループの会）	15名
10	7月25日（金）	視察（日本女性学習財団）	1名
11	7月29日（火）	ライブラリーツアー（新任教員社会体験研修参加者）	16名
12	7月29日（火）	ライブラリーツアー（韓国全南女性プラザ）	7名
13	8月19日（火）	ライブラリーツアー（学校教職員のための研修プログラム「生徒がネットトラブルに巻き込まれないために」参加者）	10名
14	8月20日（水）	ライブラリーツアー（インターンシップ参加者）	5名
15	8月22日（金）	ライブラリーツアー（女性関連施設・施策担当者）	1名
16	9月 5日（金）	ライブラリーツアー（企業向け講座「今、企業に求められるハラスメント防止策」参加者）	10名
17	10月28日（火）	ライブラリーツアー（報道関係）	1名
18	11月21日（金）	ライブラリーツアー（図書館）	1名
19	11月27日（木）	ライブラリーツアー（大阪府立今宮高校）	11名
20	12月 3日（水）	ライブラリーツアー（母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練12月コース受講生）	17名

21	12月 2日（火） ～13日（土）	司書課程実習受入（同志社大学）	3名
22	12月 12日（金）	ライブラリーツアー（大阪教育大学）	24名
23	12月 13日（土）	ライブラリーツアー（母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練 12月コース受講生）	14名
24	1月 15日（木）	ライブラリーツアー（「働く女性対象 女性活躍加速化アンケート 結果～こう読み、こう踏み出す！～」講座参加者）	2名
25	1月 27日（火）	ライブラリーツアー（「経営者・管理職対象 企業力をアップさせる 女性活躍加速化アンケート結果～こう読み、こう踏み出す！～」講座参加者）	2名
26	2月 4日（水）	ライブラリーツアー（母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練 2 月コース受講生）	10名
27	2月 7日（土）	ライブラリーツアー（「キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー 対象 女性活躍加速化アンケート結果～こう読み、こう 踏み出す！～」講座参加者）	4名
28	2月 20日（金）	ライブラリーツアー（図書館）	3名
29	2月 25日（水）	視察（総務省関係者）	15名
30	3月 12日（木）	ライブラリーツアー（一般利用者）	1名
			（延）192名

（6）情報ライブラリー所蔵資料の展示

ドーンセンターで開催する大阪府及び当財団主催の関連事業に合わせて選書し、展示した。

〈テーマ展示一覧〉

月	テーマ	展示 資料数	配布リスト数
4月	2013年度貸出ランキング	100	500
5月	男女共同参画施策に関わる職員のための参考資料	70	300
6月	男女共同参画週間「家事場のパパデカラ」 シングルマザーの仕事と支援	20	---
		20	200
7月	気付いてなくそう職場のハラスメント	30	300
8月	よりよい関係をつくるために～交際相手からの暴力防止～	50	300
9月	妊娠・出産・不妊のいま	50	200
10月	働く女性のココロとカラダ	50	300
11月	女性に対する暴力をなくす運動 2014	50	300
12月	女性の自立とエンパワメントを応援するフェミニストカウンセリング	20	300
1月	私らしい生き方・働き方	30	300
2月	リベンジポルノ・ストーカー対策特集	30	---
3月	女性の健康週間 「〇〇女子」本フェア	20	---
		15	---

〈企画展示〉

	期間	内容
1	8月19日（火） ～9月27日（土）	《写真展 東日本大震災被災地における図書館支援活動》 公益財団法人日本図書館協会による、東日本大震災の被災地における図書館支援活動を記録した写真約60点を展示した。写真展開催中には、上映会『安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点を避難所運営に～』を実施し、ブックリスト「災害からの復興と女性たち」をテーマに図書約20冊を紹介した。
2	9月12日（金） ～11月22日（土）	《ドーンフェスティバル2014 『姉妹たちよ・女の暦』カレンダー展》 情報ライブラリー所蔵のカレンダー『姉妹たちよ・女の暦』（編集：女の暦編集室、発行・発売：ジョジョ企画）と、このカレンダーを原案にして開催された第18回女性芸術劇場「姉妹たちよ」（11月15日、16日開催）に登場する女性の著作など関連資料約130冊を展示した。
3	10月4日（土） ～11月29日（土）	《ドーンフェスティバル2014 浪花女を読み直す》 産経新聞大阪本社編集委員 石野伸子さんの連載記事「浪花女を読み直す」の記事とその中で取り上げられた作品、作家に関連する図書約90冊を展示した。

（7）女性就労支援コーナーの設置

情報ライブラリーにおいて、結婚や出産などで仕事を中断した後に再就職を希望している女性の方を対象に、就職や再就職活動を円滑にスタートさせることを応援するためのコーナーを設置する。

〈提供しているサービス〉

- ・しごとに役立つ図書等を集めた資料コーナー 展示資料数（204点）
- ・就職、再就職情報を入手できる機関の紹介
- ・しごとに関する相談ができる行政窓口や民間機関の紹介
- ・就労に役立つウェブサイトの紹介（検索用専用パソコンの設置）
- ・就労のための研修、職業訓練等の紹介
- ・ジョブ・カードの発行（予約制）
- ・キャリア・カウンセリング（予約制）

（8）女性のためのキャリア支援「キャリア・カウンセリングを受けてみませんか？」

①目 的 「女性就労支援コーナー」の一環として、キャリア・コンサルタント資格を持った女性カウンセラーが、相談者に1対1の個別の「キャリア・カウンセリング」を実施し、求職中や休職中の女性が、自分の価値観や適性、就業条件の優先順位、労働市場などへの理解を深め、早期に就職することを支援する。また、就業中で今後のキャリア形成に悩みを持つ女性等が、自分自身を振り返り、新たな目標を持ってより意欲を高めて仕事ができるようになることを支援する。

②日 時 平成26年4月～平成27年3月 各月2回（第3、4金曜日）
14：00～14：50／15：00～15：50

③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー 書庫内会議スペース（2F）

④対 象 大阪府在住、在勤の女性（予約制）

⑤参加費 無料

⑥実 績 定員：48名、相談者数：39名

(9) 情報ライブラリー上映会

①目 的 情報ライブラリー所蔵の視聴覚資料の中から、女性監督のドキュメンタリー作品や、ジェンダー問題を取り上げた作品、あるいは女性グループの活動を追ったドキュメンタリー作品などを上映することで、当ライブラリーが所蔵する充実した資料をアピールし、来室者数の増加並びに利用率向上に繋がることを目指す。

②期 間 平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月

③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー グループブース（2F）

④参加費 無料

⑤内容・参加実績 各回定員：20 名

	月日	上映作品	申込者	参加者
1	5月31日（土）	『母の道 娘の選択』〈2009 年/アメリカ/85 分/ 監督：我謝京子〉	31 名	22 名
2	8月30日（土） 9月 6日（土）	『安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点を避難 所運営に～』〈2013 年/日本/30 分/制作：あおり被災地の 地域コミュニティ再生支援事業実行委員会〉	---	3 名
3	11月15日（土） 16日（日）	ドーンフェスティバル 2014『Women Pioneers—女性 先駆者たち』〈2011 年/日本/26～32 分/DVD編集・ 制作：（一財）大阪府男女共同参画推進財団〉	---	---
4	3月21日（土）	『潮風の村から～ある女性医師の軌跡～』〈2013 年/ 日本/84 分/監督：山上千恵子〉	10 名	7 名
			(延) 41 名	(延) 32 名

2 大阪府（府民文化部）受託事業

女性の抱える問題に関する相談事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性の直面しているさまざまな問題について、相談カウンセリングを通じ、女性の自立と主体的な生き方に向け、必要な援助と解決のためのサポートを行う。
- (2) 期 間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
- (3) 場 所 ドーンセンターサポート・カウンセリングルーム（3F）

【事業内容・実績】

(1) 女性のための面接相談

- ①日 時 火～金曜日 17：00～21：00
土、日曜日 10：00～18：00
- ②相談員 専門の女性カウンセラー
- ③相談件数
〈主訴・年代別相談件数〉

		平成 26 年度										平成 25 年度	
主訴／年代		～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		1	43	90	126	52	16	5	0	333	24.6	315	23.7
こころ		0	28	29	69	26	3	1	0	156	11.5	147	11.1
からだ		0	0	4	4	0	0	0	0	8	0.6	8	0.6
仕事上の問題		0	4	15	13	9	0	0	0	41	3.0	35	2.6
パートナー関係		0	5	50	39	25	15	6	0	140	10.3	126	9.5
親子・家庭の悩み		3	10	42	49	52	21	7	0	184	13.6	202	15.2
人間関係の悩み		0	8	32	37	11	1	0	0	89	6.6	91	6.9
性・暴力被害		3	26	162	111	72	19	0	1	394	29.1	398	30.0
暮らし		0	0	1	5	1	2	0	0	9	0.7	3	0.2
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	3	0.2
平成 26 年度	計	7	124	425	453	248	77	19	1	1,354	100.0	1,328	100.0
	(%)	0.5	9.2	31.4	33.5	18.3	5.7	1.4	0.1	100.0			

〈月別相談件数〉

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	119	104	121	123	117	113	112	117	111	106	105	106	1,354
平成 25 年度	105	110	128	113	116	110	118	108	107	104	108	101	1,328
平成 24 年度	117	114	115	104	118	111	116	109	104	99	109	115	1,331

(2) 女性の悩み電話相談

- ①日 時 火～金曜日 17：00～20：00
土、日曜日 10：00～16：00
- ②相談員 女性相談員

③相談件数

〈主訴・年代別相談件数〉

		平成 26 年度										平成 25 年度	
主訴／年代		～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		0	2	38	32	188	16	1	7	284	11.7	233	9.9
こころ		2	6	177	402	169	34	0	50	840	34.7	1,064	45.3
からだ		0	3	15	13	51	47	0	6	135	5.6	126	5.4
仕事上の問題		0	0	17	24	1	0	0	2	44	1.8	24	1.0
パートナー関係		1	3	11	14	27	8	1	4	69	2.9	58	2.5
親子・家庭の悩み		0	0	19	54	88	22	8	9	200	8.3	160	6.8
人間関係の悩み		1	3	39	56	41	12	2	25	179	7.4	159	6.8
性・暴力被害		0	8	21	49	26	4	0	14	122	5.0	122	5.2
暮らし		1	0	31	35	71	8	1	16	163	6.7	173	7.4
その他		0	0	1	32	3	0	0	349	385	15.9	230	9.8
平成 26 年度	計	5	25	369	711	665	151	13	482	2,421	100.0	2,350	100.0
	(%)	0.2	1.0	15.2	29.4	27.5	6.2	0.5	19.9	100.0			

〈月別相談件数〉

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	214	220	207	187	214	155	191	192	217	199	198	227	2,421
平成 25 年度	201	188	213	197	217	167	196	196	180	172	211	212	2,350
平成 24 年度	204	201	193	190	167	156	160	144	158	155	164	199	2,091

〈留守電件数〉

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	409	407	308	430	353	435	470	496	392	436	405	435	4,976
平成 25 年度	390	595	605	475	433	453	480	438	366	419	379	407	5,440
平成 24 年度	370	514	421	394	462	615	536	473	320	383	375	502	5,365

（３）相談事務局の運営

①目 的 相談に関する問い合わせや面接相談の予約受付業務及び相談来訪者対応を行うとともに、より適切な相談機関につなぐためのインテークや情報提供業務を行う。

②日 時 火～金曜日 13：30～18：00 18：45～21：00
土、日曜日 9：30～13：00 13：45～18：00

③対応件数

〈問い合わせ・予約受付等件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談予約等	102	143	155	165	134	150	162	150	123	159	161	170	1,774
事務電話	103	107	107	44	30	15	3	10	9	18	4	18	468
来訪者対応	122	110	126	127	120	124	128	115	124	110	109	107	1,422
平成26年度	327	360	388	336	284	289	293	275	256	287	274	295	3,664
平成25年度	319	311	317	291	327	292	293	279	249	252	276	306	3,512

※事務電話の件数が7月より減少しているのは、相談事業事務関係の電話も事業電話で受けるようにしたため。

〈留守電件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	110	104	59	85	93	108	111	81	66	90	86	118	1,111
平成25年度	86	106	76	113	71	119	111	101	87	108	73	85	1,136
平成24年度	94	102	115	119	84	135	107	113	67	114	77	88	1,215

（４）相談員会議の開催

①目的 相談事業に関わる相談員及び事務局スタッフが定期的に集まり、相談事業運営会議及びケース検討会を実施することで、相談事業の質と専門性の維持、向上を図る。

②日時 原則第1火曜日 14:00～16:00 ※休館日にあたる場合は翌週に振替

③出席者 電話・面接相談員、相談事務局、統括ディレクター、事務局長

※その他、議題に応じて関係者が出席

④内容・出席者数

	月日	議題	出席者数
1	4月16日（火）	平成26年度大阪府受託事業について／相談事業の運営について	13名
2	5月13日（火）	サポートカウンセリングルーム・リーフレット改訂について	10名
3	6月3日（火）	平成26年度大阪府受託事業「府内7ブロック相談担当者会議」について	9名
4	7月1日（火）	内閣府「性犯罪被害者支援に関する調査研究」報告	13名
5	9月2日（火）	福島県の現状～F C学会全国大会の報告～	11名
6	10月7日（火）	財団20周年記念事業について	11名
7	11月11日（火）	電話相談員の病気休養について	9名
8	12月2日（火）	財団事務局と相談員の個人面談について	10名
9	2月2日（火）	財団職員（女性のための相談事業担当）募集について	10名
10	3月3日（火）	来年度の体制について	13名

（５）相談員研修の実施

①目的 電話、面接相談を担当する相談員を対象に、スーパービジョンの機会をつくることで、相談事業の質と専門性の維持、向上を図る。また、新たに相談員を雇用した場合は一定期間の研修を行う。

②日時 随時

③対象 電話・面接相談員、相談事務局スタッフ

④内容・出席者数

〈スタッフ研修〉

	月日	内容	参加者数
1	4月18日（金）	第1回 財団アドバイザーによる職員研修 「次世代育成に向けた財団への期待」 ・ローラ・デールズ（西オーストラリア州立大学准教授）	1名
2	6月18日（水）	第2回 財団アドバイザーによる職員研修 「いま、日本企業の『ダイバーシティ推進室』とその周辺で起こっていること」 ・黒瀬友佳子（帝人株式会社CSR・信頼性保証部CSRグループ長）	1名
3	9月12日（金）	第3回 財団アドバイザーによる職員研修 『浪花女を読み直す』展によせて」 ・石野伸子（産経新聞大阪本社編集委員）	1名
4	10月15日（水）	人権研修（DVD研修）	1名

〈相談員研修〉

	月日	内容	参加者数
1	4月1日（火）	平成26年度のケース検討について	13名
2	5月13日（火）	平成25年度の困難ケースについての共有	9名
3	6月3日（火）	母娘問題	8名
4	7月1日（火）	相談の見立てと方針	11名
5	9月2日（火）	フラッシュバック症状	10名
6	10月7日（火）	グリーフケア	9名
7	11月11日（火）	電話相談ハードユーザーの状況	9名
8	12月2日（火）	過去の性暴力	8名
9	2月2日（火）	過去のDV被害	9名
10	3月3日（火）	不安神経症	10名

（６）大阪府内市町村における相談員及び相談事業担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会の開催

①目 的 大阪府内市町村の女性のための相談窓口や男女共同参画センターの女性相談を充実させていくために、府内各ブロックの相談員及び相談事業担当者と情報交換や事例検討を行う。各ブロックの相談員及び相談事業関係者が抱える課題を解決し力量を上げていくことで、大阪府全体の女性相談の技術向上、府民サービスを高めることをめざす。

また、当事業の実施による事例から浮かび上がる相談に係る課題は、今後ドーンセンターで行う研修事業等の企画やテーマ等に反映させ、一層の解決を図っていく。

②期 間 平成 26 年 7 月～10 月

③場 所 大阪府内各ブロックの男女共同参画センター等

【三島地域】摂津市立男女共同参画センターウィズせつつ

【豊能地域】箕面市男女協働参画ルーム

【泉北地域】堺市役所

【泉南地域】岸和田市立公民館

【南河内地域】富田林市役所

【大阪市・中河内地域】八尾市男女共同参画センターすみれ

【北河内地域】枚方市メセナひらかた会館

④出席者 各ブロックの自治体、男女共同参画センターの相談員及び相談事業担当者

⑤スーパーバイザー （一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー

大阪府女性相談センターケースワーカー

⑥参加費 無料⑦内容・出席者数

	地 域	対象市町村	開催日/場所	スーパーバイザー	参加人数
①	三 島	吹田市、高槻市、 茨木市、摂津市、 島本町	7 月 2 日（水） 14:00～16:30 摂津市立男女共 同参画センター ウィズせつつ 交流室	・宮本由起代 （（一財）大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー） ・増井香名子 （大阪府女性相談センターケースワーカー）	21 名
②	豊 能	豊中市、池田市、 箕面市、豊能町、 能勢町	7 月 18 日（金） 14:00～16:30 箕面市役所 男女協働参画 ルーム	・川喜田好恵 （（一財）大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー） ・増井香名子 （大阪府女性相談センターケースワーカー）	16 名
③	泉 北	堺市、泉大津市、 和泉市、高石市、 忠岡町	10 月 8 日（水） 堺市役所	・川喜田好恵 （（一財）大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー） ・増井香名子 （大阪府女性相談センターケースワーカー）	20 名

④	泉 南	岸和田市、貝塚市、 泉佐野市、熊取町、 田尻町、岬町、 阪南市	9月11日(木) 13:30～16:30 岸和田市立 公民館 3階講座室4	・宮本由起代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー) ・増井香奈子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	17名
⑤	南 河 内	富田林市、 河内長野市、 松原市、羽曳野市、 藤井寺市、 大阪狭山市、 太子町、河南町、 千早赤阪村	9月30日(火) 13:30～16:30 富田林市役所 4階401会議室	・竹之下雅代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー) ・若柳みよ子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	20名
⑥	大 阪 市 ・ 中 河 内	大阪市、八尾市、 柏原市、東大阪 市	7月15日(火) 14:00～16:30 八尾市男女共同 参画センター すみれ	・竹之下雅代 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー) ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	19名
⑦	北 河 内	守口市、枚方市、 寝屋川市、大東 市、 門真市、四条畷 市、 交野市	7月28日(月) 14:00～16:30 枚方市 メセナひらかた 会館 4階特別会議室	・杉本志津佳 (一財)大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー) ・増井香名子 (大阪府女性相談センターケースワーカー)	19名
					(延) 132名

(7) 広報

①リーフレットの関係機関への配布等

4月 府内男女共同参画センター及び担当課 約1,000部

②ホームページ、メールマガジンなどを活用したWEB発信

③関係機関が発行する相談先一覧への掲載

月	媒体
4月	堺市 ひとり親家庭サポートブック
5月	八尾市 外国語版DVリーフレット
	堺市 自殺対策事業におけるリーフレット
	枚方市 市民向けパンフレット、関係職員向けマニュアル
6月	吹田市 生活便利帳くらしの友
	大阪府 人権機関ネットワーク
	茨木市 ひとり親家庭の施策案内
	和泉市 女性相談窓口パンフレット
	大阪府警察本部 被害者のてびき
7月	東大阪市 悩みの相談先一覧
9月	大阪府こころの健康総合センター自殺対策ホームページ
	和泉市人権カレンダー
2月	大阪女子短大付属高等学校 保健便り
3月	枚方市保健センター すくすく子育て手帳

④研修、講座受講生への案内

月	研修・講座名
4月	DV被害者サポート・グループ 約10部
5月	不妊サポート・グループ 約15部
6月	男女共同施策に関わる職員のための研修プログラム 約60部
7月	大阪府内市町村における相談員及び相談関係担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会 約80部
	泉大津市にんじんカレッジ 約20部
	新任教員社会体験研修 約20部
8月	宝塚大学看護学部臨地実習 約20部
	不妊セミナー 約30部
	大阪府被害者支援会議 約60部
9月	不妊サポート・グループ 約10部
	大阪府内市町村における相談員及び相談関係担当者のためのブロック別情報交換・事例検討会 約60部
10月	DV被害者サポート・グループ 約10部
12月	大阪府相談担当者啓発講座 約50部
1月	大阪府被害者支援会議 約60部
	不妊サポート・グループ 約10部

(8) カウンセラー派遣

- ①目 的 配偶者からの暴力による被害者を保護している民間シェルターに対し、被害者の心理的援助を行う女性カウンセラーを派遣し、被害者の自立に資する。

②派遣・相談件数

〈月別件数〉

平成 26 年度													
派遣先／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
シェルター (I)	2	3	2	3	2	3	2	2	3	3	2	3	30
シェルター (S)	2	1	2	0	3	1	2	2	1	2	0	2	18
シェルター (R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター (Y)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター (A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	3	5	4	4	4	4	5	2	5	48

シェルター名については保護の必要上、頭文字等で表す。

(9) その他

- ①啓発講座事業において相談員が講師を務め、女性相談の知識と技術を提供した。

	月	研修・講座名
1	6 月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム
2	7～10 月	大阪府内 7 ブロック情報交換・事例検討会
3	12 月	女性のための相談に関わる担当者のための研修プログラム

②通所証明書の発行及び個人情報開示件数

月	内容	件数
6 月	個人情報開示	2 件
9 月	個人情報開示	2 件
	通所証明	1 件
10 月	個人情報開示	1 件

③関係機関との連絡会議への出席

	月	内容
1	8 月	大阪府被害者支援実務担当者会議
2	1 月	大阪府被害者支援代表者会議・実務担当者会議
3	2 月	法テラス関係者会議

3 大阪府（府民文化部）受託事業

男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画社会基本法、大阪府男女共同参画推進条例並びに改定おおさか男女共同参画プランの趣旨を踏まえ、大阪府域における男女共同参画施策の課題を分析し、実践的かつ効果的な講座やワークショップ、学習会等を実施する。
- (2) 期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編）

- ①目的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、社会動向を見ながら、さまざまな課題を男女共同参画の視点でとらえ、男女共同参画社会を推進していくための総合的な力量を形成することをめざす。
- ②期間 平成26年5月29日（木）、6月12日（木）、6月19日（木）
全5回
- ③場所 ドーンセンター大会議室1（4F）、視聴覚スタジオ（5F）
- ④対象 配属年数が1年未満の男女共同参画施策担当の行政職員、
関係機関及び関連施設の職員

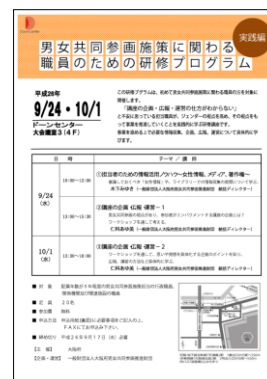
⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：63名

	日時	テーマ／講師	参加者数
	5月29日（木） 10:00～10:30	オリエンテーション	---
1	5月29日（木） 10:30～12:30	世界の流れ・日本の動き、現代社会のさまざまな課題を知る ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）	34名
2	5月29日（木） 13:30～15:30	男女共同参画に係る基礎的な法律について学ぶ ・段林和江（弁護士、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）	34名
3	6月12日（木） 13:30～15:30	女性をエンパワメントする相談のあり方を理解する ・川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事、 （一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	34名
4	6月12日（木） 15:30～16:30	ドーンセンター情報ライブラリーツアー ・木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター）	34名
5	6月19日（木） 13:30～15:30	災害と男女共同参画について考える ・丹羽麻子（NPO法人ウィメンズスペースふくしま）	32名
			（延）168名

(2) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（実践編）

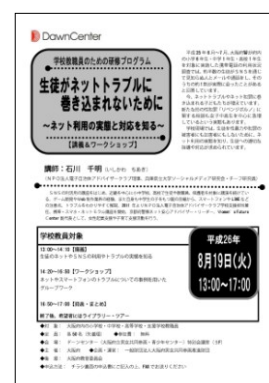
- ①目 的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、男女共同参画の視点をもってプログラムの企画、立案することを実践的に学び、事業を推進していく力量の形成をめざす。
- ②日 時 平成 26 年 9 月 24 日（水）、10 月 1 日（水）全 3 回
- ③場 所 ドーンセンター大会議室 3（4 F）
- ④対 象 配属年数が 1 年程度の男女共同参画施策担当の行政職員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：28 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9 月 24 日（水） 10:00～12:00	担当者のための情報活用ノウハウ～女性情報、メディア、著作権～ ・木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター）	29 名
2	9 月 24 日（水） 13:00～15:30	講座の企画、広報、運営－1 ・仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 理事兼統括ディレクター）	27 名
3	10 月 1 日（水） 13:30～16:00	講座の企画、広報、運営－2 ・仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 理事兼統括ディレクター）	24 名
			(延) 80 名

(3) 学校教職員のための研修プログラム「生徒がネットトラブルに巻き込まれないために～ネット利用の実態と対応を知る～」

- ①目 的
- ・学校教職員が、ネット犯罪の背景や子どものネット利用の実態を知り、生徒を被害者にも加害者にもしないための知識を得る。
 - ・ワークショップを通し、実践的に生徒への対応方法を取得する。
 - ・学校教職員が保護者に対して、正しい知識を伝達することにより、家庭でネットやSNSの利用について改めて話し合うきっかけとし、学校と家庭の両方から生徒を見守る体制を築くきっかけとする。
- ②日 時 平成 26 年 8 月 19 日（火） 13:00～ 17:00
- ③場 所 ドーンセンター特別会議室（5 F）
- ④対 象 大阪府内の中学校、高等学校、支援学校教職員
- ⑤参加費 無料



⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：88名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月19日（火） 13:00～17:00	生徒がネットトラブルに巻き込まれないために～ネット利用の実態と対応を知る～ ・石川千明（NPO法人電子自治体アドバイザークラブ理事）	69名

（４）男性向け啓発講座「Ｓｔｏｐ！介護離職～男には男なりの悩みや問題がある～」

①目 的 男性が担い手となる介護やそれに関連した諸問題をテーマに取り上げることにより、ワーク・ライフ・ケア・バランスの重要性について気づきを得、実践方法を学んでもらう。また、現在介護を行いながら仕事を続けている男性や、あるいはその予備軍である男性たちが、「介護離職」という深刻な事態に陥る前に自身のおかれている現状に気づき、仕事と介護の両立ができるヒントを得る。

②日 時 平成26年11月26日（水）19:00～21:00

③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）

④対 象 テーマに関心のある男性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：21名、受講決定：21名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月26日（水） 19:00～21:00	Ｓｔｏｐ！介護離職～男には男なりの悩みや問題がある～ ・山内輝昭（男性介護者を支援する会代表）	18名

（５）女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

「大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会から見てきた課題を施策・事業に活かすために」

①目 的 大阪府内市町村の男女共同参画関係課及び男女共同参画センター等では、女性相談やDV相談が実施されている。各所においては、それぞれの地域性をふまえ、庁内各課や地域の関係機関等との連携を構築しながら対応しているところであり、これらのさまざまな課題が府内7ブロック情報交換、事例検討会により浮かび上がってきた。

当研修では、多くの担当者が抱えている課題解決のための講義を行い、大阪府内の相談事業関係者及び相談員が抱える課題を解決し力量を上げていくことで、大阪府全体の女性相談の技術向上、府民サービスを高めることをめざす。

②日 時 平成26年12月11日（木）14:00～16:00

③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）

④対 象 大阪府内男女共同参画施策に関わる職員、女性相談に関わる相談員等

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：53名、受講決定：49名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	12月11日（木） 14:00～16:00	「女性相談・DV相談の対応の視点とヒント」 ・増井香名子（大阪府女性相談センターケースワーカー） 「女性のエンパワメントのための相談事業のあり方： 女性／男女共同参画センターでできること」 ・竹之下雅代（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 カウンセラー）	49名

（6）企業向け啓発講座

「今、企業に必要なハラスメント予防策 ～基礎知識から具体的対応まで～」

- ①目的 参加者が男女雇用機会均等法の趣旨のみならず、セクシュアル・ハラスメント防止に向けてその意味、内容について、正確に理解する。セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントへの予防と対応について、参加者が具体的に事例を通して学び、実際に使えるようにする。

②日時 平成26年9月5日（金）13:00～17:00

③場所 ドーンセンター大会議室1（4F）

④対象 企業の経営者、人事担当者、管理職他テーマに関心のある人

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：96名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月5日（金） 13:00～17:00	今、企業に必要なハラスメント予防策～基礎知識から具体的対応まで～ ・三木啓子（アトリエエム株式会社代表取締役、 産業カウンセラー）	54名

（7）地域防災に係る職員のための研修プログラム

「今、地域防災を問い直す～女性の参画で何が変わるか、何を変えるか～」

- ①目的 地域防災分野への女性の参画促進と言われてはいるものの、女性の参画で何が変わるのか、何を変えるのか、また女性の参画のために実際に何をすればよいのかわからないという行政職員の抱える課題を明らかにし、その方策を考える。大阪府内の各地域において防災分野に女性が参画し、戦略的に地域防災力を高めていくことをめざす。

②日時 平成27年2月20日（金）10:00～12:00

③場所 ドーンセンター大会議室3（4F）

④対象 男女共同参画関係課職員、防災担当課職員

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：30名、申込者数：32名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月20日（金） 10:00～12:00	今、地域防災を問い直す～女性の参画で何が変わるか、何を变えるか～ ・相川康子（NPO法人NPO政策研究所専務理事）	32名

（8）府民向け啓発講座

「リベンジポルノ・ストーカー 今、わたしたちに迫る危機」

- ①目的 リベンジポルノ、ストーカー被害の現状や特質、インターネットやSNSの危険性について相談事例を通して学び、トラブルに巻き込まれない知識を得ると共に支援制度等を知る。また、「私事性的画像記録の提示等による被害者の防止に関する法律」及び「ストーカー行為等の規制等に関する法律」を理解することで女性に対する暴力を考えるきっかけとする。

②日時 平成27年3月7日（土）14:00～16:00

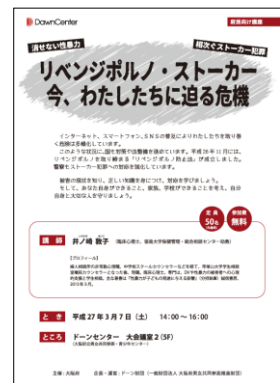
③場所 ドーンセンター大会議室2（5F）

④対象 テーマに関心のある人

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：66名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月7日（土） 14:00～16:00	「リベンジポルノ・ストーカー 今、わたしたちに迫る危機」 ・井ノ崎敦子（臨床心理士、徳島大学健康管理・保健相談センター助教）	51名



4 大阪府（府民文化部）受託事業

女性就労支援事業

【事業概要】

（１）目 的 「女性の活躍推進」が国の成長戦略の中核に位置付けられ 2020 年に女性の就業率（25 歳～44 歳）を 73%とすることを目指し、様々な取り組みが行われている。企業における女性の活躍促進、環境の整備等が進められる中、女性の就業を促進するとともに、働く女性が就業意欲を失うことなく、その能力を発揮できるための支援が必要とされている。

また、家族間や生き方についての価値観の変化、近年のシングルマザーの増加等社会情勢の変化により、女性の働き方が多様化し、それぞれのライフプランに合った働き方を選択することがこれまで以上に求められている。多様な職種で活躍する女性ロールモデルを提示し、今後の働き方や生き方を広い視野で捉え、様々な立場の女性がその個性と能力を発揮できるようセミナーを開催する。

【事業内容・実績】

（１）女性（わたし）のチャレンジ十人十色

①目 的 第 1 部では参加者が「大阪府男女いきいき・元気宣言事業者」で活躍する女性社員をはじめ、様々なロールモデルの報告を聞くことにより、女性がライフプランに合った働き方や就労を繋げる方法をみつけ、働くイメージを広げる。2 部では関心を持ったロールモデルごとにグループに分かれ、交流しながら少人数の質疑応答及び情報交換形式で話を聞き、より具体的にこれからの働き方を考える機会とする。



- ②期 間 平成 27 年 2 月 7 日（土）13:00～17:00
- ③場 所 ドーンセンターパフォーマンス・スペース（1 F）
- ④対 象 就職活動中の女性、就労中の女性、女子大学生等、テーマに関心のある女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50 名、申込者数：40 名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2 月 7 日（土） 13:00～17:00	報告者 ・植元あゆみ（NPO 法人ヘルパーステーションびよびよ会 相談支援事業部統括相談支援専門） ・小池和香子（株式会社ニコニコム） ・原純子（大阪府民共済生活協同組合普及職員） ・漆原由香利（有限会社 office ぱれっと代表取締役、 NPO 法人 NPO ぱれっと理事長） ・高宮令子（株式会社関西ホームサービス代表取締役） コーディネーター ・春田明美（損害保険ジャパン日本興亜株式会社関西総務部総務課 主任）	35 名

1 在日米国商工会議所（ACGJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

はなみずき会

【事業概要】

- (1) 目的 働く女性をめぐる法律や制度は整備され、さまざまな分野で女性の活躍が見られるようになり、仕事と子育ての両立を頑張る女性もいるが、長期的な視点をもって、自分らしいキャリア（仕事と生活の関係）を築いていくことは容易ではなく、意思決定の場には、女性がまだ参画していない実情がある。女性が働き続けるために役立つ知識を得る講義と交流型ワークショップを併せて実施し、働く女性たちが職種や立場、年齢等が異なる中で情報、意見交換することで、ネットワーク構築をめざす。
- (2) 内容 働く女性に役立つ講義と交流型ワークショップで全回2部構成とした。1部は、女性講師が、働き続けていく中でのさまざまな課題（仕事と家庭、子育て、介護等の両立、働く女性と更年期の問題、社会貢献等）をテーマにした講演を開催。2部は、（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事（元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）の白井文がアドバイザーを務め、ロールモデルを交えて、「はなみずきカード」※を活用した交流型ワークショップを実施した。女性たちが働き続けるモチベーションを上げるとともに、参加者間のネットワークをつくった。

※はなみずきカード

2009年から5年間実施した「はなみずきキャリア塾」に登壇した講師が、各セミナーで日頃から大切にしている言葉を紹介くださった。これらは、多くの女性たちが大いに共感し、勇気、元気が出るものであり、自分自身を励まし、それぞれの転機や節目に決断をする際にも役立つものである。これらをカード化し、ワークショップで活用した。

【事業内容・実績】

(1) はなみずき会

- ①期 間 平成26年5月24日（土）～平成27年2月28日（土）
- ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
- ③対 象 女性
- ④参加費 各日2,000円、全6,000円
- ⑤内容・参加実績 定員：各回30名、申込者数：（延）103名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	5月24日（土） 13:30～16:15	第1部講義 オトナ思春期 ・後藤直子（グンゼ株式会社オトナ思春期プロジェクト事務局） 第2部交流型ワークショップ ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市市長、グンゼ株式会社取締役） 自己紹介 はなみずきカードを活用したワークショップ	19名
2	9月27日（土） 13:30～16:15	第1部講義 インド刺繍からみる女性の知恵と工夫 ・上羽陽子（国立民族学博物館文化資源研究センター准教授） 第2部交流型ワークショップ ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市市長、グンゼ株式会社取締役） テーマ／リーダーシップ ゲストスピーカー・高石亜希子（株式会社モトックス大阪営業部 アシスタントチームリーダー）	17名
3	11月22日（土） 13:30～16:15	第1部講義 さわやかなコミュニケーション ・中川淑子（親業訓練インストラクター、思春期保健相談士、 交流分析士） 第2部交流型ワークショップ ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市市長、グンゼ株式会社取締役） テーマ／キャリアチェンジ ゲストスピーカー・近藤亜矢子（フリーライター）	14名
4	2月28日（土） 13:30～16:15	第1部講義 社会貢献 ・岡本祥公子（NPO法人サービスグラント事務局長） 第2部交流型ワークショップ ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市市長、グンゼ株式会社取締役） テーマ／「私を励ます、支えになる」言葉をもつ はなみずきカードの作成	15名
			(延) 65名

2 在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業

はなみずき塾 メンタルヘルス編・自己表現ワークショップ編

【事業概要】

- (1) 目的 自尊感情が低く、職場や地域、家庭でコミュニケーションが取りづらい、自己表現が苦手などの生きづらさを抱える女性が、課題を克服し、心の健康を保ちながら働き続けていくことを支援する。

【事業内容・実績】

(1) はなみずき塾 メンタルヘルス編 2014

- ①期 間 平成 26 年 6 月 11 日（土）～平成 26 年 10 月 4 日（土）
 ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5 F）、
 大会議室 1（4 F）
 ③対 象 女性
 ④参加費 各回 2,000 円、全 5 回 8,000 円
 ⑤講 師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室 Woman」主宰）
 ⑥内容・参加実績 定員：各回 30 名、申込者数：101 名



	日時	テーマ	参加者数
1	6 月 7 日（土）	働く女性を襲うストレスに強くなろう	15 名
2	7 月 5 日（土）	自分らしく働くためにもっと自分を知ろう	18 名
3	8 月 2 日（土）	あなたのその考え方がストレス源かも…！	15 名
4	9 月 6 日（土）	もしかしてあなたも燃え尽き予備軍？	16 名
5	10 月 4 日（土）	自分の中の宝物に気付いていますか？	18 名
			(延) 82 名

(2) はなみずき塾 自己表現ワークショップ編 2014

- ①期 間 平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 27 年 3 月 7 日（土）
 ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5 F）
 ③対 象 女性
 ④参加費 各回 2,000 円、全 5 回 8,000 円
 ⑤講 師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室 Woman」主宰）
 ⑥内容・参加実績 定員：各回 30 名、申込者数：156 名



	日時	テーマ	参加者数
1	11 月 1 日（土）	自分も相手も大切に作る「自己表現力」をつけよう	22 名
2	12 月 6 日（土）	後味さわやかな「頼み上手」「断り上手」をめざそう	27 名
3	1 月 10 日（土）	関係を壊さない「怒り」の伝え方をしよう	25 名
4	2 月 7 日（土）	高感度をUPする「褒め上手」「叱り上手」になろう	22 名
5	3 月 7 日（土）	「聴き上手」になって信頼関係をつくろう	20 名
			(延) 116 名

3 在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業・はなみずき基金充当事業 シングルマザーのためのはなみずきセミナー

【事業概要】

- (1) 目 的 シングルマザーが働き続けていく中で、課題となること、仕事と子育ての両立の方法、子どもとの関係等について学ぶ。ワークショップを多く取り入れながら参加者同士がリラックスして受講できるよう、当事者同士で情報交換、交流できるよう、女性グループ「白鷺会」の協力を得て、各回ファシリテーターを配置する運営とした。

【事業内容・実績】

- ①期 間 平成 26 年 6 月 14 日（土）～平成 27 年 2 月 14 日（土）
 ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5 F）
 ③対 象 女性
 ④参加費 無料
 ⑤内容・参加実績 定員：各回 30 名、申込者数：123 名



	日時	テーマ	参加者数
1	6 月 14 日（土） 14:00～16:00	仕事と子育ての両立を考える	11 名
2	8 月 9 日（土） 14:00～16:00	元夫との関係、新パートナーとの関係、そして子どもとの関係	17 名
3	10 月 11 日（土） 14:00～16:00	キャリアプランとお金の管理	17 名
4	12 月 13 日（土） 14:00～16:00	私自身を大切に、セルフケアの方法を知る	15 名
5	2 月 14 日（土） 14:00～16:00	働き続けるために必要な知恵、知識を学ぶ	18 名
			(延) 78 名

4 自主事業

はなみずきツアー

【事業概要】

- (1) 目的 働く先輩女性と共に旅をし、古典芸能を楽しむことで、女性同士の交流、ネットワークを形成することを目的として開催する。

【事業内容・実績】

(1) 第4回 毎日新聞専門編集委員 畑律江さんと行く出石永楽館大歌舞伎

- ①日程 平成 26 年 11 月 9 日（日）
- ②場所 兵庫県豊岡市出石町
- ③参加費 25,000 円（交通費、大歌舞伎鑑賞料 11,000 円、軽食、昼食付、国内旅行保険込み）
- ④対象 女性、または男女ペア 17 名
- ⑤内容・参加実績 定員：17 名、申込者数：17 名



	日時	内容	参加者数
1	11 月 9 日（日）	古典芸能を楽しむ 『第七回 永楽館大歌舞伎』 製作：松竹 出演者：片岡愛之助、上村吉弥、中村壱太郎 演目：一．桂川連理柵 一幕 二．お目見得 口上 一幕 三．神の鳥 一幕 バス車中での歌舞伎解説 ・畑律江（毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員、 （一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）	17 名

5 大阪府（商工労働部）受託事業

母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練

【事業概要】

- (1) 目 的 企業で幅広く使用されている、Word、Excel などのパソコンソフトの基本を学び、仕事の探し方や履歴書、職務経歴書の書き方、面接の受け方など、就職活動に役立つ情報やスキルを提供する。
- (2) 場 所 ドーンセンターセミナー室2（5F）他
- (3) 対 象 就職を希望する母子家庭の母等
- (4) 定 員 20 名（最小訓練実施人数 11 名）
- (5) 受講料 無料（ただし、テキスト代 3,910 円）
- (6) 主 催 大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課委託訓練グループ
- (7) 協 力 ハローワーク、マザーズハローワーク、OSAKA しごとフィールド 他

【事業内容・実績】

(1) 母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練（パソコン実務習得科〈2ヶ月〉）6月開講

- ①訓練期間 平成 26 年 6 月 3 日（火）～8 月 1 日（金）
- ②参加実績 定員：20 名、申込者数：10 名、修了者数：10 名

(2) 母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練（パソコン実務習得科〈2ヶ月〉）12月開講

- ①訓練期間 平成 26 年 12 月 2 日（火）～平成 27 年 1 月 30 日（金）
- ②参加実績 定員：20 名、申込者数：22 名、修了者数：14 名

(3) 母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練（パソコン実務習得科〈2ヶ月〉）2月開講

- ①訓練期間 平成 27 年 2 月 3 日（火）～3 月 31 日（火）
- ②参加実績 定員：20 名、申込者数：12 名、修了者数：9 名
- ③内容 ＊6 月、12 月、2 月共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト入門	35h	自己紹介、仕事に活かすアサーション	10h
文書作成ソフト応用	20h	家族、子どもとの関係づくり術	4h
表計算ソフト入門	37h	自分の強みさがし	2h
表計算ソフト応用	28h	仕事の探し方	2h
ファイル管理ソフト入門		働くときの法律基礎知識	4h
プレゼンテーションソフト入門	3h	求人状況の現状などについて、様々な働き方	6h
インターネット入門	8h	働く女性を取り巻く状況	4h
パソコン活用実践	4h	先輩の体験談	2h
実践練習	15h	キャリアプランの立て方、発表	9h
	8h	履歴書、職務経歴書の書き方、面接のコツ	8h
		VDT 安全衛生	3h
		からだところのセルフケア	4h
合計			216h

6 自主事業

ドーン財団発ダイバーシティ経営塾

【事業概要】

- (1) 目的 企業の経営者、人事担当者などに向けて、女性も男性もいきいきと活躍できる組織力、個人力を磨くためにスペシャリストが解き明かす総合的な経営セミナーを開催する。

【事業内容・実績】

(1)「職場のハラスメント最新事情 ～なぜ起きる？どう対処する？予防策は？～」

- ①目的 参加者が、男女雇用機会均等法的主旨のみならず、セクシュアル・ハラスメント防止に向けてその意味や内容について、正確に理解する。また、セクシュアル・ハラスメント他様々なハラスメント予防と対応について、参加者が具体的に事例を通して学び、企業としての組織的な取り組みや個人の対応力を磨き、現状を変革できるようにする。

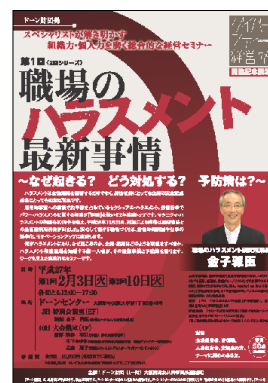
- ②日時 平成 27 年 2 月 3 日（火）13：00～17：00
平成 27 年 2 月 10 日（火）13：00～17：00

- ③場所 ドーンセンター視聴覚室（5 F）

- ④対象 企業経営者、管理職、人事担当者、支援職の方、テーマに関心のある方

- ⑤参加費 全 2 回 10,000 円（各回 6,000 円）

- ⑥内容・参加実績 定員：50 名、申込者数：28 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2 月 3 日（火） 13:00～17:00	職場のハラスメント最新事情 ～なぜ起きる？どう対処する？予防策は？～ ・金子雅臣（職場のハラスメント研究所所長）	26 名
2	2 月 10 日（火） 13:00～17:00	1 部：ハラスメント最新裁判事例 ・段林和江（弁護士、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事） 2 部：大阪の労働相談事例の紹介 ・木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター） 3 部：ハラスメント予防のための職場のワーク ・乙倉恵子（関西カウンセリングセンターキャリア・コンサルタント）	19 名
			（延）45 名

7 内閣府交付金事業

地域女性活躍加速化交付金に係る事業

【事業概要】

(1) 目 的 大阪府内の企業などにおける女性管理職比率の向上を目的として、アンケートを用いてその阻害要因を明らかにし、有効な研修プログラムを試行的に作成する。それらを連携団体始め関係企業などに提供し、次年度以降の取り組みに繋いでいく。

(2) 概 要 本事業の取り組みは、8名の委員により構成される専門委員会と専門委員会の原案作成機関として、専門委員を兼務する5名で構成されるコアメンバー会議で、審議し決定したものを実施する。コアメンバー会議を4回、専門委員会を5回開催した。

具体的にはアンケートを実施、そこで挙げた課題を研修会で検討、報告し、企業で働く女性及び管理職、キャリア・コンサルタント等への研修用冊子、相談事例集、アンケート報告書を作成した。

(3) 日 程	8月29日(金)	第1回コアメンバー会議、第1回専門委員会
	9月中旬	アンケート発送開始
	9月～11月	アンケート回収、整理
	11月13日(木)	ヒアリング関係者会議
	11月13日(木)	第2回、第3回コアメンバー会議
	12月4日(木)	第2回、第3回専門委員会
	12月4日(木)	ヒアリング(相談事例)
	12月10日(水)	ヒアリング(相談事例)
	1月13日(火)	ヒアリング(相談事例)
	1月15日(木)	働く女性対象研修会
	1月27日(火)	経営者、管理職対象研修会
	2月7日(土)	キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー対象研修会
	2月12日(木)	第4回コアメンバー会議
	2月26日(木)	第4回専門委員会
	3月2日(月)	ヒアリング(企業)
	3月5日(木)	第5回専門委員会
	3月6日(金)	ヒアリング(企業)
	3月下旬	研修用冊子、相談事例集、報告書完成、発送

行動計画図

専門委員会、コア・メンバー会議(専門委員会の原案作成機関)

【実施主体】
一般財団法人
大阪府男女共同参画推進財団

A 大阪府
府民文化部(男女参画・府民協働課)
商工労働部

「男女いきいき・元気宣言」
登録事業者
・大阪府内市町村に所在する
女性活躍に意欲的な多種多様
な規模、業種の事業者
計241社
(平成26年4月1日現在)

おおさか男女共同参画
促進プラットフォーム
(15団体)(※1)

連携団体

B (公財)関西カウンセリングセンター

C (一社)産業カウンセラー協会関西支部

D 学識経験者など

専門委員会

【専門委員会】(*はコア・メンバー兼任)(50音順)

委員長 白井 文* (一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 業務執行理事)
委員 乙倉 恵子 (公益財団法人関西カウンセリングセンター キャリア・コンサルタント)
木村 みどり* (大阪府府民文化部男女参画・府民協働課 男女共同参画グループ総括補佐)
菊地 節子 (日本産業カウンセラー協会 関西支部支部長)
栗岡 住子* (大阪市立大学大学院経営学研究科特任教授 医療福祉経営論)
仁科 あゆ美* (一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 理事兼統括ディレクター)
鳥淵 朋子 (アクト研究室代表 地域政策コンサルタント)
山田 奈津* (Office CANAAN 代表 NPO法人創造興産・大阪創造都市研究会理事)

8/29
第1回 専門
委員会

アンケート作成

12/4
第2回 専門
委員会

アンケート結果分析

12/4
第3回 専門
委員会

研修会準備

2/26
第4回 専門
委員会

研修結果の検証
研修プログラム作成

3/5
第5回 専門
委員会

事例集・研修冊子検討
事業効果の検証

調査実施(アンケート・ヒアリング等)9~10月

(1)女性の活躍推進に意欲的な「男女いきいき元気宣言」
事業者とプラットフォーム参加団体の経営者と管理職、
働く女性対象等 約3,000名

(2)企業の現場で相談に従事しているキャリア・コンサル
タント・産業カウンセラー 約1,100名

研修実施 平成27年1~2月

1 働く女性対象研修 (1/15)

2 経営者・管理職対象研修(1/27)

3 企業の現場での支援者対象研修
(キャリア・コンサルタント等)(2/7)

※1 「おおさか男女共同参画促進プラットフォーム」の構成団体 (計15団体)

- ①(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会 ②大阪樟蔭女子大学 ③大阪商工会議所
- ④(国大)大阪大学 ⑤(一財)大阪府男女共同参画推進財団
- ⑥大阪府中小企業家同友会 ⑦(公大)大阪府立大学 ⑧大阪労働局
- ⑨(公財)関西生産性本部 ⑩日本労働組合総連合会大阪府連合会
- ⑪パナソニック株式会社 ⑫株式会社プロアシスト ⑬大阪市 ⑭堺市 ⑮大阪府

【事業内容・実績】

（１）アンケート実施

- ①目 的 女性活躍の阻害要因を探り、効果的対策を明らかにする。
- ②対 象 第１回 働く女性
第２回 経営者、管理職
(大阪府「男女いきいき・元気宣言事業者」から)
第３回 キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー
- ③時 期 平成 26 年 9 月～10 月
- ④回答実績



	働く女性	経営者、管理職	キャリア・コンサルタント、 産業カウンセラー	計
送付数	2, 210	953	1, 060	4, 223
回収数	980	475	186	1, 641
回収率	44. 3%	49. 8%	17. 5%	38. 9%

（２）研修会

- ①目 的 アンケート結果を基に意見交換をし、今後の対策を考察する。
- ②場 所 ドーンセンター大会議室 1、3（4F）、特別会議室（5F）
- ③対 象 第１回 働く女性
第２回 経営者、管理職
第３回 キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー
- ④日 時 平成 27 年 1 月 15 日（木）、1 月 27 日（火）、2 月 7 日（土）
- ⑤内容・参加実績 定員：第 1・2 回 30 名、第 3 回 50 名 申込者数：28 名、29 名、42 名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1 月 15 日（木） 14:00～16:00	＜働く女性対象＞アンケート結果報告と今後への取り組み ・山田奈津（Office CANNAN 代表、 NPO 法人創造興産、大阪創造都市研究会理事） ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）	19 名
2	1 月 27 日（火） 14:00～16:00	＜経営者、管理職対象＞アンケート結果報告と今後への取り組み ・鳥淵朋子（アクト研究室代表、地域政策コンサルタント） ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、 元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）	19 名
3	2 月 7 日（木） 14:00～16:00	＜キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー対象＞ アンケート結果報告とケース検討 ・乙倉恵子（公益財団法人関西カウンセリングセンター キャリア・コンサルタント） ・菊地節子（一般社団法人日本産業カウンセラー協会関西支部 シニア・カウンセラー）	29 名
			（延）67 名

（３）冊子作成・配布

- ①目 的 アンケート結果から明確になった阻害要因への効果的対策として、試行的に研修プログラムや相談事例集を、女性管理職の増加に資する目的で作成する。
- ②内 容
- ・研修プログラム３種類（働く女性対象、経営者、管理職対象、キャリア・コンサルタント、産業カウンセラー対象）
 - ・相談事例集（キャリア・コンサルタント、産業カウンセラーやアンケート回答からの構成事例）
 - ・報告書
- ③送付先 アンケートに回答した事業者や連携団体、大阪府内の行政機関等を中心に提供した。



1 はなみずき基金充当事業

第 18 回女性芸術劇場「姉妹たちよ」

(ドーンセンター開館 20 周年記念事業)

【事業概要】

- (1) 目 的 女性の視点、オルタナティブな視点によって作られた作品の演劇を通して、表現文化の発展をめざす。
- (2) 日 時 11 月 15 日 (土) 19:00～／11 月 16 日 (日) 11:30～、15:00～
- (3) 場 所 ドーンセンターホール (7 F)
- (4) チケット 一般前売り 3,000 円 (一般当日 3,300 円)
- (5) 主 催 ドーン運営共同体、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
(後援) 大阪府、大阪市教育委員会、朝日新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社
大阪本社、毎日新聞社、読売新聞社、読売テレビ、MBS、NHK大阪
放送局

【事業内容・実績】

	日時	作品等	参加者数
第 18 回	11 月 15 日 (土) 19:00～ 11 月 16 日 (日) 11:30～ 15:00～	女性芸術劇場「姉妹たちよ」 女性による女性の視点を持ったオリジナルな舞台芸術作品を、様々な手法で企画、制作する。 カレンダー『姉妹たちよ・女の暦』(編集:女の暦編集室、発行・発売:ジョジョ企画)を原案とし、関西に縁のある女性パイオニアたちをピックアップ、かつての大阪の風景とともに、彼女たちのエネルギー溢れる想いを 6 名の劇作家が描いた作品。 構成、演出:樋口ミユ (Plant M) 作:林慎一郎(極東退屈道場)、鈴木友隆(ともに企画) 他 出演:和泉敬子、藤川賀世子、金子順子 他 特別出演:西上雅章(通天閣観光株式会社 代表取締役) 監修:岩崎正裕(劇団 太陽族) 企画:畑律江(毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員、 (一財)大阪府男女共同参画推進財団理事) 原案、協力:『姉妹たちよ・女の暦』(編集:女の暦編集室、発行、 発売:ジョジョ企画) 制作:前田瑠佳(エイチエムピー・シアターカンパニー、笑の内閣) 協力:NPO法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)、通天閣観光株式会社他 助成:芸術文化振興基金	(延) 689 名

1 自主事業

第2回 はなみずきスタディツアー

『バンクーバーのNGOに学ぶ』

【事業概要】

- (1) 目的 海外の女性に関するさまざまな機関等を訪問し、先進的な政策や関連の各種事業、支援体制、活動等の事例を見て、学ぶことで、日本の実情に合わせた男女共同参画の取り組みについて考える機会をもつ。また海外の女性リーダーや団体、NGO等との交流を促進するとともに、ツアー参加者同士のネットワークを図る。

【事業内容・実績】

(1) 「バンクーバーのNGOに学ぶ」

- ① 目的 難民や移民を多く受け入れ、多民族、多文化社会を形成しているカナダの西海岸に位置するバンクーバーは、世界で最も住みやすい都市に上位ランキングしている。日本のNPO/NGOや公的な仕事、カウンセラーやケースワーカー等の援助職、大学等で女性を支援することに関わる人たちを募ってツアーを実施し、先進的取り組みが行われているバンクーバーのNGOを訪問し、具体的なプログラムやNGOの組織運営、社会的企業の手法等について学ぶ。
- ② 日程 平成26年9月1日(月)～9月7日(日)
- ③ 参加費 1人あたり259,200円＋燃料、サーチャージ別
- ④ 内容・参加実績 参加者数：12名



	日時	場所	行程
1	9月1日(月)	伊丹空港 バンクーバー	伊丹空港出発(19:00 発 NH038) → 羽田空港(20:10 着) 羽田空港(21:55 発 NH116) → バンクーバー(14:55 着) (バンクーバー泊)
2	9月2日(火)	バンクーバー	10:00 カフェ Coffee & Chocolate Cafe “East Van Roasters” 薬物依存から回復する女性、家族を失った女性等困難な問題を抱える女性たちが働き、社会復帰を目指す。NGO PHS Community Services Society が運営。 午後 The Window Community Art Shop 主旨に賛同した250人のアーティストが出展するショップで、売上げの80%はNGOの活動に活かされている。 Atira Women’s Resource Society ワークショップや仕事等に関する情報提供、法律相談等のサービスの情報をを行い、ファーストネーション(先住民族インディアン)の女性を支援している。

			15:00 Downtown Eastside Women' s Center 政府からの補助金や寄附で運営され、ファーストネーション(先住民族インディアン)の女性が安心して集えるセンター。心や生活の支援をしていきながら、自立を促していく。 17:00～19:00 Beauty Day 自由見学 (バンクーバー泊)
3	9月3日(水)	バンクーバー	10:00 Surrey Women' s Center 1993年に女性たちの草の根グループ活動から始まり、多言語による電話相談や心理カウンセリング、同行支援等を行う。 14:00 公立高校内託児所 OPTIONS Community Services 高校生シングルマザーの子育て支援事業。公立高校内に設置されたデイケアセンターで、子連れで通学した女子高生たちに朝食、昼食を提供し、1日1時間は特別事業(親業、生活訓練)を行う。卒業後に自立していくことを支援する。 18:00 交流会: レストラン「OSAMU SUHI」 (バンクーバー泊)
4	9月4日(木)	バンクーバー	10:00 Battered women' s support service 1979年よりDV被害者支援活動を始め、エンパワメントのためのプログラムを開発している。 14:00 “ My sister' s closet” 洋服、アクセサリ等を扱うソーシャルビジネスによるおしゃれなユーズドショップ。NGOの組織運営、活動を持続可能にしていくために、社会人や学生ボランティアのスキルと力を活かしている。 (バンクーバー泊)
5	9月5日(金)	バンクーバー	自由行動: 市内観光等 (バンクーバー泊)
6	9月6日(土)	バンクーバー	空港へ移動 バンクーバー (16:50 発 NH115) →
7	9月7日(日)	関西空港	羽田空港 (19:00 着) 羽田空港 (20:30 発 NH147) → 関西空港 (21:45 着) 解散

※ツアー企画: 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

※旅行手配: トップツアー株式会社

5 女性の健康支援事業

1 大阪府（健康医療部）受託事業

大阪府不妊専門相談センター事業

【事業概要】

(1) 目的 不妊、不育に悩む人々の身体的、精神的負担の軽減と、出産を望む人々への支援を図るとともに、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの観点から女性の心身の健康促進に資する。

(2) 場所 ドーンセンター相談室（3F）、会議室（4F）

【事業内容・実績】

(1) 不妊・不育にまつわる電話相談

① 目的 不妊、不育にまつわるさまざまな相談を専門の相談員が受けるとともに、必要な情報提供を行う。

② 日時 毎週水曜日 10:00～16:00
※第5週、祝日、年末年始を除く
第4土曜日 13:00～16:00
※4月、8月、12月を除く

③ 相談員 助産師（第4土曜日の14:00～16:00は、原則として産婦人科医師も同席）

④ 相談件数（月別主訴件数）

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	(%)
情報提供	7	1	2	5	5	6	5	1	4	2	8	8	54	17.7%
不妊への不安、検査や治療を受けたほうがよいか	1	3	6	7	1	3	3	3	2	4	7	5	45	14.8%
今の治療の内容と妊娠の可能性	2	2	4	5	1	2	0	1	4	4	3	1	29	9.5%
他の治療内容、方法など	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	8	2.6%
二人目不妊	2	3	1	3	1	4	5	5	2	2	3	5	36	11.8%
医療機関に対する不満	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	2	0	8	2.6%
パートナーとの関係	1	0	4	1	1	1	1	1	0	1	1	1	13	4.3%
周囲の人間関係	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.7%
自分自身のこと	1	1	0	1	3	1	0	0	2	0	1	0	10	3.3%
子どものいない人生	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4	1.3%
仕事との両立	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0.7%
不育症	2	1	2	1	0	1	1	1	3	0	0	1	13	4.3%
その他	7	7	4	5	11	8	13	6	6	3	5	6	81	26.6%
計	27	19	24	30	25	29	29	19	26	17	30	30	305	100.0%

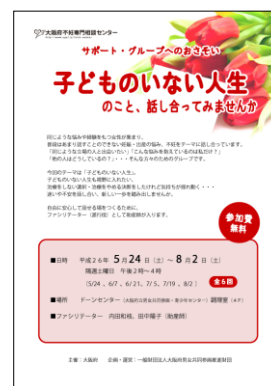


月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	対前年比
平成26年度	27	19	24	30	25	29	29	19	26	17	30	30	305	112.5%
平成25年度	24	18	29	24	18	18	20	23	13	18	39	27	271	103.4%

(2) サポート・グループ1

「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか〈5月コース〉」

- ①目 的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期 間 平成26年5月24日(土)～8月2日(土)
- ③場 所 ドーンセンター調理室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、田中陽子(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員:12名、申込者数:16名、参加者数:11名



	日時	テーマ	参加者数
1	5月24日(土) 14:00～16:00	自己紹介、ルール確認 今後の会の内容、テーマについての話し合い	10名
2	6月7日(土) 14:00～16:00	不妊治療について:どのような悩みがあるか、今治療に対して思うこと	10名
3	6月21日(土) 14:00～16:00	ミニ講義:不妊の悩みの社会的背景 講師:フェミニストカウンセリング堺カウンセラー:加藤伊都子	9名
4	7月5日(土) 14:00～16:00	不妊に関する社会的背景:自分の体験を通して感じていること、仕事と治療の両立について	9名
5	7月19日(土) 14:00～16:00	人間関係について:どんな相手とどんな悩みを抱えているのか	10名
6	8月2日(土) 14:00～16:00	老後について:子どものいない老後の不安等 まとめ:このグループに参加して思うこと	5名
			(延)53名

(3) サポート・グループ2

「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか〈9月コース〉」

- ①目 的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期 間 平成26年9月12日(木)～11月13日(木)
- ③場 所 ドーンセンター調理室(4F)
- ④ファシリテーター 田中佳織、金美江(助産師)



⑤内容・参加者数 定員：12名、申込者数：12名、参加者数：10名

	日時	テーマ	参加者数
1	9月 4日(木) 10:00～12:00	自己紹介、ルール確認 今後の会の内容、テーマについての話し合い	6名
2	9月 18日(木) 10:00～12:00	不妊をとりまく人間関係、気持ち、社会、価値観について (自分図を作成するワークショップを実施して)	6名
3	10月 2日(木) 10:00～12:00	ミニ講義：子どものいない人生を選択して 講師：内田和枝（不妊当事者、助産師）	6名
4	10月 16日(木) 10:00～12:00	高齢出産、卵子提供、里親について（子どもを持つという方向で）	7名
5	10月 30日(木) 10:00～12:00	パートナーとの関係について 治療について	7名
6	11月 13日(木) 10:00～12:00	これからの人生について（老後、お金の使い方、相続、里親：子どもを持たない方向で）	6名
			(延) 38名

(4) サポート・グループ3

「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか〈1月コース〉」

①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。

②期間 平成27年1月17日(土)～3月28日(土)

③場所 ドーンセンター中会議室(4F)

④ファシリテーター 内田和枝、矢野恵子、田中佳織（助産師）

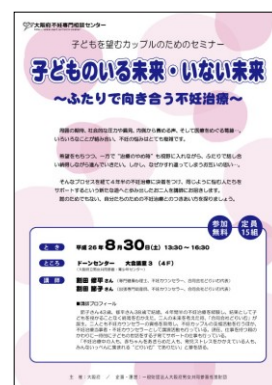
⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：15名、参加者数：13名



	日時	テーマ	参加者数
1	1月17日(土) 10:00～12:00	自己紹介、ルール確認／アイスブレイク 今後の会の内容についてのグループワーク	10名
2	1月31日(土) 10:00～12:00	不妊をめぐるさまざまな人間関係について：人間関係マップづくりのワークショップ	10名
3	2月14日(土) 10:00～12:00	ミニ講座「里親制度について」 ・杉本真理（大阪府家庭支援課）／大阪府里親連合会	10名
4	2月28日(土) 10:00～12:00	治療のやめどきについて：事例を通してのディスカッション	8名
5	3月14日(土) 10:00～12:00	ライフワークについて：グループワーク 一人ひとりのライフプランについての発表	8名
6	3月28日(土) 10:00～12:00	まとめ「子どものいる人生・いない人生」について考える	10名
			(延) 56名

(5) 不妊治療セミナー「子どものいる未来・いない未来」

- ①目 的 不妊治療中のカップルが、現在の自身の状況を見つめ、不妊体験を通じたプラスの側面を見出すきっかけを提供する。
- ②日 時 平成 26 年 8 月 30 日（土）13：30～16：30
- ③場 所 ドーンセンター大会議室 3（4F）
- ④対 象 子どもを望み、不妊治療を受けているカップル
- ⑤内容・参加者数 定員：30 名（15 組）程度
申込者数：44 名（女性 26 名、男性 18 名）
参加者数：29 名（女性 19 名、男性 10 名）



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8 月 30 日（土） 13:30～16:30	子どものいる未来・いない未来 ・ 割田修平（専門健康心理士、不妊カウンセラー） ・ 割田節子（出張専門助産師、不妊カウンセラー）	29 名 女性 19 名 男性 10 名

(6) ホームページ（<http://www.ogef.jp/funin-osaka/>）の管理、運営

- ①目 的 インターネットを活用して、不妊に悩む人々に役立つ情報を発信するとともに、過去のサポート・グループ参加者の感想等も掲載し、不妊専門相談センター事業を広く PR する。
- ②アクセス数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	2,418	2,014	1,997	1,688	1,860	1,912	1,720	1,996	1,903	2,843	2,707	2,584	25,642
平成 25 年度	1,096	973	1,157	1,344	1,600	1,252	1,669	1,322	1,137	1,587	1,623	2,516	17,276
平成 24 年度	829	868	827	548	622	561	674	926	453	719	627	804	8,458
平成 23 年度	634	648	935	773	673	845	641	745	741	759	793	805	8,992

(7) 基礎情報等の提供

- ①目 的 電話相談の実施時間帯が限られており、利用できない方の存在が考えられること、情報提供を求める相談が多いことから、インターネットを通じて必要な情報を気軽に入手できる環境を整備するため、ホームページに不妊や不育に関する基礎的な情報をまとめ掲載した。
- ②内 容

	テーマ	項目
1	不妊の基礎知識	不妊とは？／不妊の頻度／不妊の原因／不妊の検査／不妊の治療／詳しい情報の入手先
2	不育の基礎知識	不育症とは？／不育症の頻度／不育症のリスク因子（原因）／不育症の検査／不育症の治療／詳しい情報の入手先
3	からだの基礎知識	女性のからだ／男性のからだ 【メモ】性分化の過程

4	妊娠をさまたげる病気	排卵障害をおこす疾患／卵管障害をおこす疾患／着床障害をおこす疾患／子宮頸管に関連する疾患／造精機能障害をおこす疾患／精路通過障害をおこす疾患／性機能障害の主な疾患／免疫因子
5	妊娠をさまたげる生活習慣とその予防	加齢と不妊／食生活と不妊／喫煙、アルコール、薬物と不妊／性感染症と不妊／月経異常と不妊／卵子、精子の保存／ストレスへの対処／セックスレスへの対応 【メモ】社会的な予防対策
6	二人目不妊	二人目不妊とは／二人目不妊の悩み／二人目不妊の原因／二人目不妊の治療
7	男性不妊	不妊の原因は男女半々／不妊治療には欠かせない二人の協力／男性の悩み
8	リンク集	不妊関連の相談機関、民間グループ、医療機関等

（８）不妊関連情報フェアの開催

- ①目的 不妊に悩む人々に役立つ情報を提供するため、不妊関連事業の開催にあわせて、各種資料を選定、収集し、関連情報コーナーを設置した。
- ②期間 平成26年4月～平成27年3月
- ③その他 展示資料リストを作成、印刷し、サポート・グループやセミナーの参加者に配布した。またドーンセンター内に配架した。



	テーマ	展示資料数	リスト作成数
1	サポート・グループ関連資料「妊娠・出産・不妊のいま」	51	500

（９）関係者の研修

- ①目的 不妊、不育にまつわる電話相談を担当する相談員が、不妊治療の最新情報や不妊に悩む方々への相談スキルを高める。電話相談やサポート・グループの中で、里親や養子についての質問が出ることから、サポート・グループにおける講座「里親制度について」を相談員の研修とした。
- ②日時 平成27年2月14日（土）10：00～12：00
- ③場所 ドーンセンター視聴覚室（5F）
- ④対象 不妊、不育にまつわる電話相談を担当する相談員
- ⑤内容・参加者数

	日時	テーマ	参加者数
1	2月14日（土） 10:00～12:00	里親制度について ・杉本真理（大阪府家庭支援課） ・弥益真奈、牧野和希（大阪里親連合会）	8名

1 自主事業

夏期インターンシップ・プログラム

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、大学、大学院生をインターンシップ生として受け入れる。

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター

①受入期間 平成 26 年 8 月 20 日（水）～ 9 月 12 日（金）

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	同志社大学 法学部 法律学科 2 年	1 名
2	近畿大学 法学部 政策法学科 3 年	1 名
3	近畿大学 経済学部 経済学科 3 年	1 名
4	神戸学院大学 経営学部 経営学科 3 年	1 名
5	神戸学院大学 人文学部 人文学科 3 年	1 名
合計		5 名

③特別講義

目的Ⅰ：ドーンセンターの現場からみえる現代社会を知る

目的Ⅱ：ドーンセンターでの業務内容を知る

	月日	テーマ／担当
1	8 月 20 日（水）	『男女共同参画』が日本を救う ・時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長）
2	8 月 21 日（木）	「ドーンセンター情報ライブラリー事業説明」 ・木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター） 「ライブラリーツアー」 ・石道尚子（（一財）大阪府男女共同参画推進財団情報担当スタッフ）
3	8 月 22 日（金）	「財団事業についての説明、『姉妹たちよ・女の暦』カレンダー展について」 ・仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事兼統括ディレクター）

④日常業務体験、講座・イベント運営

目的Ⅰ：各種事業の意義を知る

目的Ⅱ：小さな仕事に責任をもってやり遂げる経験をする

	業務名	詳細
1	ドーン財団日常業務	日常業務体験
2	イコラーム関連業務	「希来里ファミリーまつり」運営
3	ドーンセンター情報ライブラリー関連業務	ライブラリー運営補助／資料装備準備／ 『姉妹たちよ・女の暦』カレンダー展企画展示作業
4	インターンシップ成果報告会関連業務	ミーティング／役割分担／当日運営（会場準備、司会進行等）

(2) イコーラム

①受入期間 平成 26 年 8 月 19 日（火）～9 月 18 日（木）

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 ライフプランニング学科 3 年	1 名
	合計	1 名

③講義、ワーク等

目的Ⅰ：男女共同参画についての理解を深め、身近な問題として認識する

目的Ⅱ：職業体験から自己理解を深め、就職活動や進路選択に役立てる

	月日	テーマ／担当
1	8 月 19 日（水）	「オリエンテーション」、「東大阪市の男女共同参画の取り組みとイコーラムの役割」、「女性のキャリア」 ・平井厚子（（一財）大阪府男女共同参画推進財団事業担当スタッフ）
2	8 月 21 日（木）	「イコーラムの事業と仕事」 ・中臣桂子（（一財）大阪府男女共同参画推進財団事業担当スタッフ） 「講座企画」 ・平井厚子（（一財）大阪府男女共同参画推進財団事業担当スタッフ）
3	8 月 23 日（土）	ワーク「ジェンダーを巡る話題から」 ・中臣桂子、平井厚子、西山恵美 （（一財）大阪府男女共同参画推進財団事業担当スタッフ）
4	8 月 29 日（金）	「日本社会の将来像～男女共同参画を通して考える」 ・時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長） 「相談室について」 ・田中浩子（イコーラム相談室スタッフ）

④日常業務体験、講座・イベント運営

	業務名	詳細
1	希来里ファミリーまつり準備、運営	配布資料作成、案内板等の作成、当日運営、アンケート集計他
2	日常業務体験	受付業務、情報資料室の業務、図書通信の作成、広報業務他
3	講座企画（課題）	男女共同参画に関わる講座企画
4	成果発表会	講座企画の発表

2 自主事業

研修・実習・職場体験等の受入れ

【事業概要】

- (1) 目的 若い世代を対象とした研修や職場体験の実習先としてプログラムを提供することで、次世代のキャリア形成に資する。

【事業内容・実績】

(1) 大阪府立学校初任者研修の受入

- ①目的 大阪府教育センターが実施する府立高等学校、支援学校の初任者研修「社会体験研修」を受入れ、女性の置かれている現状に関する多様な情報を提供することで、生徒、保護者、教員に向けて男女共同参画社会実現の必要性を発信できるようになってもらう。
- ②受入期間 平成26年7月29日（火）～7月30日（水）
- ③研修生数 16名 所属校：大阪府立旭高等学校、大阪府立今宮工科高等学校、大阪府立大手前高等学校（全日制、定時制）、大阪府立高津高等学校、大阪府立清水谷高等学校、大阪府立刀根山支援学校、関西医科大学付属滝井病院分教室、大阪府立豊中高等学校、大阪府立夕陽丘高等学校（9校）
- ④研修内容 講義：オリエンテーションと施設案内、男女共同参画と財団について、情報ライブラリーの紹介、女性「相談事業」の概要について、女性の政治参画について
実習：男女共同参画に関する教案作り、発表

(2) 宝塚大学看護学部看護学科臨地実習受入

- ①目的 宝塚大学看護学部4年生総合実習の一環として、女性センターの設立目的、活動の歴史、女性のライフサイクルと健康問題、子育て支援事業についてドーンセンターで学ぶ。
- ②受入日時 平成26年8月2日（土）10:00～12:00
- ③実習生数 15名、教員3名
- ④内容 講義：「ドーンセンターにおける女性支援の実際」
ドーンセンター設立目的、事業内容、利用状況や事業の特色について、不妊女性支援やDV被害者への対応について
実習：館内と情報ライブラリーツアー

(3) 同志社大学図書館司書課程実習生の受入れ

- ①目的 司書資格取得に必要な図書館実習を行う。
- ②受入期間 平成26年12月2日（火）～13日（土）うち7日間
- ③実習生数 3名
- ④実習内容 ドーンセンター情報ライブラリー業務（蔵書点検／ミーティング参加／カウンター業務／資料の分類／資料装備／資料配架）、財団自主事業の補助 等

3 近畿大学受託事業

近畿大学・キャリアサポートセミナー

【事業概要】

- (1) 目的 財団が長年にわたって働く女性や若年女性、あるいは男性を対象に実施してきたプログラムや人的ネットワークを駆使し、本格的な就職活動を目前に控えた近畿大学総合社会学部現役大学生のキャリア形成を支援する連続講座を企画及び実施する。

【事業内容・実績】

(1) 近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」

- ①期 間 平成 26 年 5 月 12 日 (月) ～平成 26 年 12 月 1 日 (月)
②会 場 近畿大学
③対 象 近畿大学総合社会学部の 3 回生
④内容・参加実績 受講者数：延べ 262 名

	日時	テーマ
1	5 月 12 日 (月) 14:50～16:20	「エントリーシート対策パート 1：自己分析の方法」 ・細谷晴美 (有限会社スリーシーシーパートナーコンサルタント)
2	6 月 9 日 (月) 14:50～16:20	「エントリーシート対策パート 2：自己分析の効果的表現方法」 ・細谷晴美 (有限会社スリーシーシーパートナーコンサルタント)
3	7 月 7 日 (月) 14:50～16:20	「ブラック企業で働かない！」 ・榎英直 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西 副代表理事)
4	10 月 20 日 (月) 14:50～16:20	「好感度をアップするマナーとファッション」 ・合田誠子 (キャリア・コンサルタント)
5	11 月 10 日 (月) 14:50～16:20	「エントリーシート対策パート 3：エントリーシート作成実践」 ・細谷晴美 (有限会社スリーシーシーパートナーコンサルタント)
6	12 月 1 日 (月) 14:50～16:20	「エントリーシート対策パート 4：エントリーシート添削ワークショップ」 ・細谷晴美 (有限会社スリーシーシーパートナーコンサルタント)

1 自主事業

「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売

【事業概要】

- (1) 目的 渡辺晴子氏（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）が、当財団に寄贈して下さった下記のオリジナル素材を、全国の女性関連施設、大学、各専門機関などで活用できるよう、DVDやブックレット化した教材を販売する。

【事業内容・実績】

(1) 『Women Pioneers—女性先駆者たち』

〈販売実績〉DVD



	作品名	制作年	価格	販売数
1	はじめに 日本女性の地位 縫田暉子（放送ジャーナリスト）	2011	5,000	1
2	高田ユリと消費者運動 高田ユリ（消費者運動家）	2011	5,000	1
3	市川房枝と婦人参政権のあゆみ 市川房枝（政治家、社会運動家）	2011	5,000	1
4	三淵嘉子 法曹界の扉を開く 三淵嘉子（弁護士、裁判官）	2011	5,000	0
5	加藤シヅエと家族計画 加藤シヅエ（家族計画運動家、政治家）	2011	5,000	1
6	阿武喜美子 科学の世界に挑む 阿武喜美子（科学者、農学博士）	2011	5,000	0
7	浅賀ふさと医療社会事業 浅賀ふさ（医療ソーシャルワーカー）	2011	5,000	5
8	江上フジと子ども、婦人番組 江上フジ（放送ジャーナリスト、婦人問題研究家）	2011	5,000	2
9	山高しげりと母子福祉 山高しげり（女性運動家、政治家）	2011	5,000	0
10	野上弥生子 小説と婦人運動家たち 野上弥生子（小説家）	2011	5,000	0
11	全巻セット	2011	40,000	1セット (10)
合計				22

〈販売実績〉ブックレット

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	ブックレット『Women Pioneers—女性先駆者たち』	2011	1,800	3

2 自主事業

海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売

【事業概要】

- (1) 目的 日本で未公開の海外女性監督ドキュメンタリー作品等を独自に収集、日本語に翻訳加工して販売する。

【事業内容・実績】

(1) 海外女性監督ドキュメンタリー作品

〈販売実績〉DVD

	作品名	制作年	価格	販売数
1	故郷を失った人々 Caught in Between	2004	5,000	0
	故郷を失った人々 Caught in Between 上映権付		10,000	1
2	Fashion Resistance ～暴力を着る～	2006	5,000	0
	Fashion Resistance ～暴力を着る～ 上映権付		10,000	1
3	稟愛（ビンアイ）～三峡ダム建設に挑む農民の闘い～	2007	5,000	1
4	Labor Women～アメリカ社会を変える 働くアジア女性の闘い～	2003	5,000	1
5	お母さん（UMMA）～お母さんを探して～	2005	18,000	0
6	恋人からの暴力～死にいたる愛～	1999	12,000	1
7	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント	1997	15,000	0
8	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～	2001	10,000	0
9	心の旅路～わたしの家族の物語～	2003	15,000	0
10	壺～イスラム社会を生きる女たち～	2005	8,000	0
11	医師クローデットの場合～アフリカの大地で～	2001	18,000	0
12	韓国発 映画をつくる女たち	2001	18,000	0
13	ドラッグの恐怖～むしばまれる若者たち～	2000	15,000	1
合計				6

〈販売実績〉VHS

	作品名	制作年	価格	販売数
1	家族プロジェクト：父の家	2002	18,000	0
2	響き合うところ～歌に生き 仲間と生きる～	2001	15,000	0
3	ウォッチングTV	1994	5,000	0
4	わたしの心はわたしの証～イスラム女性のドキュメント～	1996	18,000	0
5	戦場のレイプ	1996	18,000	0
6	子どもの権利（中高生編）	1998	12,000	0
合計				0

※DVD化した作品については、VHSでの販売を終了。

3 自主事業

オリジナルDVD & ビデオ、ハンドブック等の販売

【事業概要】

- (1) 目的 当財団独自の調査研究、主催講座に基づいて企画、制作したオリジナルDVDやビデオ、実施してきた事業のノウハウを盛り込んだハンドブックを販売する。

【事業内容・実績】

(1) オリジナルDVD & ビデオの販売

〈販売実績〉DVD

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（日本語版）	2005	5,000	0
2	3歳児神話をこえて Part1 岩堂美智子	1999	4,500	0
3	3歳児神話をこえて Part2 村本 邦子	1999	4,500	0
4	3歳児神話をこえて Part3 赤松 彰子	1999	4,500	0
5	3歳児神話をこえて Part4 村田 和子	1999	4,500	0
6	3歳児神話をこえて Part5 汐見 稔幸	1999	4,500	0
7	3歳児神話をこえて 全5巻セット	1999	20,000	0
合計				0

〈販売実績〉VHS

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（英語字幕版）	2005	5,000	0
2	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 1 竹中恵美子	1998	5,000	0
3	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 2 佐々木静子	1998	5,000	0
4	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 3 岡部伊都子	1998	5,000	0
5	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 4 大川恵美子	1998	5,000	0
6	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 5 豊後レイコ	1998	5,000	0
7	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 6 横井和子	1998	5,000	0
8	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 7 桂 信子	1998	5,000	0
9	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 8 飯田しづえ	1998	5,000	0
合計				0

※DVD化した作品については、VHSでの販売を終了。

(2) ドーン・ハンドブックの販売

〈販売実績〉

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	Dawn Hand Book① 女性のための相談事業ハンドブック	1999	600	38
2	Dawn Hand Book② 女性情報とライブラリー活動	1999	600	0
3	Dawn Hand Book③ メディア・リテラシーとジェンダー	2000	600	0
4	Dawn Hand Book④ 女性のグループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック	2001	600	0
5	Dawn Hand Book⑤ 人と情報を結ぶ 情報相談ハンドブック	2001	600	0
6	Dawn Hand Book⑥ 相談現場から見える現代社会と女性センターの役割	2006	800	4

4 自主事業

財団 20 周年記念グッズの販売

【事業内容・実績】

（１）財団 20 周年記念Ｔシャツの販売

- ①日 時 平成 26 年 10 月 25 日（土）、
平成 26 年 11 月 15 日（土）、16 日（日）
- ②場 所 ドーンセンターパフォーマンス・スペース（1 F）他
- ③価 格 一般 2,000 円／賛助会員 1,800 円

〈販売実績〉

	内容	価格	販売数
1	財団 20 周年記念Ｔシャツ	2,000	50



1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託

【事業概要】

- (1) 目的 主催者の要請により当財団職員を講師として派遣するほか、委員等に応じることや大学の講義を受託することを通じて、男女共同参画社会の推進に資する。

【事業内容・実績】

(1) 講師派遣

①内容・実績

	月日	内容・テーマ	主催者
1	4月 1日(火) ～3月31日(火)	社会学部「図書館情報資源概論」「図書館情報資源特論」	同志社大学
2	4月 16日(水)	働く女性のネットワーク よこの会 4月例会 「女性の働き方について、海外の例をご紹介いただきながら考える」	よこの会
3	6月 26日(木)	第3学年人権教育研修会 「デートDVの防止に向けて」	大阪府立 四條畷高等学校
4	7月 3日(木)	職員人権教育研修 「デートDVとピア・サポート～生徒を加害者にも被害者にもしないために～」	大阪府立 東百舌鳥高等学校
5	7月 3日(木)	図書館サービス概論	神戸女子大学
6	7月 8日(火)	職員人権研修「パワハラとセクハラについて」	大阪府立 八尾高等学校
7	7月 24日(木)	デジタルネットワーク社会における国立国会図書館のサービス～レファレンス協同データベースを中心に～	株式会社図書館流通センター、 ライブラリー・アカデミー
8	8月 20日(水)	第2回社会教育施設職員の学びあい講座	大阪教育大学
9	9月 17日(水)	平成26年度 第2回社会教育担当者研修会 「防災から考える地域づくりー公民館の役割ー 連続講座①～“まち”の現状・課題をみつめる～」	滋賀県教育委員会
10	9月 20日(土)	非営利ビジネス論 「女性が活躍するソーシャルビジネスの実践」	大阪樟蔭女子大学 大学院
11	9月 26日(金)	平成26年度 地域防災における男女共同参画の推進事業 女性サポーター養成講座(1期生)「被災時の女性相談の現状」	京都府男女共同 参画センター
12	10月 20日(月)	平成26年度 ポジティブ・アクション展開事業 「メンターネットワーク参加者意見交換会」	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
13	10月 20日(月)	開講科目「性を考える」	滋賀県立大学

14	10月27日(月)	大阪府と市町村が連携した参加・体験型講座 「ワークライフバランスについて」	大阪府府民文化部 人権局
15	10月30日(木)	第2学年人権学習講演会「デートDVについて」	大阪府立 枚方高等学校
16	10月31日(金)	ダブルリボンプロジェクト基金設立記念シンポジウム 「たすけたい、あなたのことを～DV現場、そして希望～」 パネルディスカッションコーディネーター	吹田市
17	11月6日(木)	第3学年総合学習講演会 「特に男女関係における望ましい人間関係のあり方」	大阪府立 みどり清朋高等学校
18	11月6日(木)	平成26年度 社会参加促進支援講座 『参画スタッフ養成セミナーデュオから始まる、人・まち・わたしを活かす発信力～学んだ力を社会に活かそう～』 「想いを講座にしてみよう～日常の小さな気づきが社会を変える～」	吹田市立男女共同 参画センター デュオ
19	11月19日(水)	平成26年度 第3回社会教育担当者研修会 「防災から考える地域づくりー私たちの役割ー 連続講座②～“新しいコミュニティ”づくり～」	滋賀県教育委員会
20	11月27日(木)	人権講演会「デートDVについて」	大阪府立 渋谷高等学校
21	11月28日(金) 2月13日(金)	第2学年男女平等教育及び性教育学習会 第1回「男女平等教育(労働、震災、最新情報など)」 第2回「性教育(男女関係、セクシュアル・ハラスメント DVなど)」	交野市立 第二中学校
22	2月12日(木)	四條畷市職員研修 人権研修「女性の活躍」ウラオモテ～なぜ男女共同参画が必要なのか～	四條畷市
23	3月24日(火)	人権研修(男女共同参画) 「女性の活躍」を阻むカベ～男女共同参画が必要なわけ～	泉大津市、社会福 祉法人泉大津市 社会福祉協議会
24	3月30日(月)	田尻町男女共同参画社会づくり講演会 少子高齢化と「女性の活躍」～地域からの男女共同参画社会 づくり～	田尻町

(2) 委員等応嘱

①内容・実績

	内 容	委嘱先
1	学校法人大阪女学院監事	学校法人大阪女学院
2	おおさか市町村職員研修研究センター運営審議会委員	公益財団法人大阪府市町村振興協会
3	公益財団法人大阪府市町村振興協会評議員	公益財団法人大阪府市町村振興協会

4	大阪弁護士会人権賞選考委員	大阪弁護士会
5	交野市男女共同参画審議会委員	交野市
6	門真市男女共同参画審議会委員	門真市
7	門真市社会教育委員	門真市
8	平成 26 年度「女性情報レファレンス事例集」サポートメンバー	独立行政法人国立女性教育会館
9	レファレンス協同データベース事業の企画協力員	国立国会図書館
10	平成 26 年度大規模災害等“いざ”というときの「男女共同参画センター相互支援システム」検討会	NPO 法人全国女性会館協議会
11	田尻町人権擁護審議会委員	田尻町
12	守口市男女共同参画審議会委員	守口市

※50 音順

(3) 原稿執筆

①内容・実績

	内 容	出版者
1	月刊『「We Learn」8月号、9月号 「学びのスイッチー男女共同参画AtoZ テーマ：情報相談」	日本女性学習財団
2	「びぶろすーBiblos」65号 組織での図書館の活かし方	国立国会図書館総務部支部

(4) 大学の講義受託

①内容・実績

〈大阪女学院大学、短期大学〉

	月 日	テーマ
1	10月 30日（木） 31日（金）	人権教育講座「メディア・リテラシー」「女性に対する暴力」

〈宝塚大学〉

P. 75 参照

〈近畿大学〉

P. 76 参照

2 三重県伊賀市受託事業

三重県伊賀市クローバーカレッジⅣ

【事業概要】

- (1) 目的 第2次伊賀市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会を推進していくために、政策、方針決定過程及び各種役職に登用するなど、あらゆる場面で参画できるリーダー的役割を担う人材育成を目指し、平成23年度から5年間で延べ100名の女性リーダーを養成する。

平成23～25年度「クローバーカレッジⅠ～Ⅲ」修了生が「Ⅳ」の運営等に関わることで、さらなるエンパワメントと伊賀市女性のネットワーク構築をめざす。

【事業内容・実績】

(1) 三重県伊賀市クローバーカレッジⅣ「女性リーダー養成講座」

- ①期 間 平成26年8月1日（金）～平成27年2月6日（金）
 ②場 所 伊賀市男女共同参画センター
 ③対 象 リーダーになってさまざまな分野で活躍したいという意欲のある女性
 ④参加費 無料
 ⑤内容・参加実績 定員：20名、受講者数：22名

	日時	テーマ／講師
1	8月 1日（金） 18:30～21:00	【開講式】オリエンテーション 伊賀市挨拶 伊賀市職員、クローバーカレッジⅠ～Ⅲ修了生 女性の力が地域を変える：21世紀は男女共同参画の時代 ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役）
2	9月 5日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち①：男女共同参画を学ぶ ・木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
3	10月 3日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち②：カウンセリングの現場から社会をみる ・宮本由起代（NPO法人心のサポート・ステーション代表理事、（一財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）
4	11月 7日（金） 19:00～21:00	さわやかな自己表現 ・杉本志津佳（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）
5	11月28日（金） 19:00～21:00	ワークショップ～私たちの伊賀市①～ ・伊賀市の現状報告：伊賀市職員 ・ファシリテーター：木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
6	12月12日（金） 19:00～21:00	ワークショップ～私たちの伊賀市②～ ・ファシリテーター：川中大輔（シチズンシップ共育企画代表、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）
7	1月 10日（金） 19:00～21:00	ワークショップ：～私たちの伊賀市③～ ・ファシリテーター：伊賀市職員 ・補助：木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
8	2月 6日（金） 19:00～21:00	【閉校式】「私たちが考える男女共同参画と伊賀市」について発表とコメント ・コメンテーター：木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター） ・ファシリテーター：伊賀市職員

3 泉大津市受託事業

泉大津市男女共同参画セミナー

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画の概念を理解し、市の重点テーマである「地域コミュニティの再構築と安心安全なまちづくり（セーフコミュニティの取り組み）」と関連させ、現代社会が抱えるさまざまな課題について市民が理解を深め、自ら地域づくりに取り組む意欲を高めていくことをめざす。

【事業内容・実績】

(1) 泉大津市男女共同参画セミナー「にんじんカレッジ 初級編」

- ①期 間 平成 26 年 6 月 27 日（金）～平成 26 年 7 月 30 日（水）
②場 所 いずみおおつ男女共同参画交流サロン（にんじんサロン）泉大津市民会館 1 階
③対 象 泉大津市民
④参加費 無料
⑤内容・参加実績 定員：20 名、受講者数：延べ 104 名

	日時	テーマ／講師
1	6 月 20 日（金） 13:30～15:00	安心安全な地域づくりと男女共同参画社会 ～私たちの手で！女性がになう地域づくり～ ・白井文（（一財）大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市長、 グンゼ株式会社取締役）
2	7 月 1 日（火） 13:30～15:00	ニュースからみえる現代社会～身近な新聞記事から問題を探る～ ・時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事長）
3	7 月 15 日（火） 13:30～15:00	女性相談からみえる現代社会～女性相談に寄せられた女性たちの悩みとは～ ・近藤裕子（（一財）大阪府男女共同参画推進財団相談チーフ）
4	7 月 23 日（水） 13:30～15:00	地域コミュニティと安心安全なまちづくりに向けて ～私たちがつくる「セーフコミュニティ」～ ・川中大輔（シチズンシップ共育企画代表、 （一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）
5	7 月 30 日（水） 13:30～15:00	女性が活躍する地域活動とは ～女性が主体のコミュニティビジネスやNPO活動を知る～ ・仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事兼統括ディレクター）

1 共催事業・後援事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画社会の実現のために企画された事業で、当財団が共催することにより、啓発や事業効果の発展が期待できる事業について共催する。また、男女共同参画社会の実現のため積極的に寄与する事業について、後援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 共催事業

①内容・参加実績

	月日	内 容	主催者	参加者数
1	4月 19日(土) ～3月 21日(土)	「わたしの政経塾V」 於：大会議室他	「わたしの政経塾」企画 委員会	(延) 504名
2	6月 14日(土) ～3月 14日(土)	避難ママのピア・サポートグループ 於：小会議室	～つながりを紡ぐ～ イスキアもりのこぼこ	(延) 52名
3	8月 30日(土)	発達凸凹（でこぼこ）理解促進セミナー 於：特別会議室	NPO法人大阪NPOセ ンター	105名
4	12月 13日(土)	もっと知りたい！女（わたし）のカラダ in 大阪 於：パフォーマンス・スペース	ウィメンズセンター大阪	159名
5	1月 10日(土) 1月 11日(日)	親密な関係の暴力を考える～親密な関 係における暴力サバイバーへの具体的 支援を学ぶ連続研修～ 於：大会議室1	NPO法人いくの学園	(延) 226名
6	2月 7日(土)	セクシュアル・マイノリティの医療、福 祉現場でのサポートを考える講座 於：中会議室	NPO法人こころネット KANSAI	24名
7	1月 24日(土) ～3月 28日(土)	リラクゼーションボディワーク 於：和室他	ドーン運営共同体	(延) 97名
8	1月 26日(月) ～2月 13日(金)	私らしく働くためのパソコン講座 於：エル・おおさか他	一般財団法人大阪労働協 会	(延) 233名
9	3月 6日(金) ～8日(日)	演劇『わがまま』 於：パフォーマンス・スペース	南船北馬	173名
10	3月 14日(土)	映画試写会『何を怖れる』 於：大会議室1	高齢社会をよくする女性 の会・大阪	66名

(2) 後援事業

〈内容・参加実績〉

	月日	内 容	主催者
1	12月12日(金)	公開研究会「女性のエンパワメントで、企業力と地域力 をアップ！」 於：大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所「都市魅 力研究室」	グローバル・コンパクト 研究センター

1 内閣府男女共同参画局受託事業

女性に対する暴力被害者支援のための

官官・官民連携促進ワークショップ事業

【事業概要】

(1) 目的 全国の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は、支援センターの運用が開始された平成 14 年度から年々増加している。こうした状況から、内閣府では、第 3 次男女共同参画基本計画において、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成 27 年までに 100 か所にすることを成果目標としている。当事業はこの目標達成のため、全国の支援センターや今後支援センターの設置を検討している市町村において運営、管理に責任を持つ方、関連事業の企画、運営等を担当する行政担当者の方、また、支援センターの相談員や連携先である民間支援団体の相談員を対象としたワークショップを開催するものである。さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にしていただくため、ヒアリング等により収集した先駆的な取組事例をまとめる。また、支援センター設置を検討している市町村に対し、既に設置している市町村等の担当者又は有識者をアドバイザーとして派遣するなどの集中的かつきめ細やかなバックアップを提供する。

(2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 支援センター長を対象としたワークショップの企画及び運営・実施

①日 時 平成 26 年 8 月 7 日 (木) ～ 8 日 (金) : 大阪開催

(2) 企画行政職員を対象としたワークショップの企画及び運営・実施

①日 時 平成 26 年 8 月 28 日 (木) ～ 29 日 (金) : 東京開催

(3) 相談員を対象としたワークショップの企画及び運営・実施

①日 時 平成 26 年 10 月 9 日 (木) ～ 10 日 (金) : 大阪開催 (中部・近畿・四国ブロック)

②日 時 平成 26 年 10 月 16 日 (木) ～ 17 日 (金) : 福岡開催 (中国・九州・沖縄ブロック)

③日 時 平成 26 年 10 月 23 日 (木) ～ 24 日 (金) : 東京開催 (北海道・東北・関東・甲信越ブロック)

(4) アドバイザー派遣事業

①日 時 平成 26 年 9 月 25 日 (木)、26 日 (金)、29 日 (月)

②日 時 平成 26 年 10 月 2 日 (木)、8 日 (水)、10 日 (金)

(5) 支援センター運営自治体の好事例・先駆的事例の調査と取りまとめ

10 自治体の選定、アンケート及びヒアリング調査

(6) 各種報告書の作成

2 内閣府男女共同参画局受託事業

性犯罪被害者支援体制整備促進事業

【事業概要】

(1) 目的 内閣府が平成23年度に実施した「男女間における暴力に関する調査報告書」によると、異性から無理やり性交された経験をもつ20歳以上の女性は7.7%であった。そのうち、加害者と面識があった被害者は76.9%、被害をどこ（だれ）にも相談しなかった被害者女性は67.9%で、前回調査（平成20年）よりも高くなっている。

このような背景を踏まえ、第3次男女共同参画基本計画（平成22年12月閣議決定）においては、性犯罪被害者が被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるような相談体制及び被害申告の有無に関わらず被害者の心身回復のための被害直後及び中長期の支援が受けられる体制を整備するとされている。

このため、昨年度に引き続き、性犯罪被害者が、躊躇せずに身近な相談窓口等に、安心して相談することができる体制を整備することを目的として、地方公共団体等で性犯罪被害者支援を担当する行政職員を対象に、性犯罪被害者を支援するために必要な体制整備等に係る知識を学ぶ研修を実施する。また、性犯罪被害者の支援を行う支援員等を対象に、性犯罪の被害直後及び中長期の支援に必要な技術を習得するための研修を実施する。

研修終了後は、各研修の概要、研修受講者へのアンケート調査結果及び事業に対する評価、分析等を含む研修実績報告書を作成する。

(2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 研修の実施

・地方公共団体で性犯罪被害者支援を担当する行政職員研修

地方公共団体等で性犯罪被害者支援を担当する行政職員等を対象に、性犯罪被害者支援のために必要な体制整備の構築等に資する研修を実施した。

①日 時 平成27年1月22日（木）～23日（金）

②場 所 ドーンセンター

・民間支援団体等において性犯罪被害者支援を行っている又は行う予定の支援員研修

性犯罪被害者の支援を行っている、又は行う予定のある支援員等を対象に、性犯罪被害者からの相談を受けるために必要な技術の向上に資する研修を実施した。

【東京開催】

①日 時 平成27年1月29日（木）～30日（金）

②場 所 東京ウィメンズプラザ

【大阪開催】

①日 時 平成27年2月25日（水）～26日（木）

②場 所 ドーンセンター

(2) 研修実績報告書の作成

研修内容や各研修後のアンケート調査結果、次年度以降の研修内容や構成の改善に資するための分析及び評価等を記載し、取りまとめた。

3 内閣府男女共同参画局受託事業

若年層を対象にした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業

【事業概要】

- (1) 目 的 内閣府では、若年層に対して女性に対する暴力の被害者又は加害者にならないための効果的な指導を行うため、予防啓発教育プログラム及び教材を開発し、平成 22 年度から、若年層に対して教育、啓発機会を多く持つ指導的立場にある者や若年層に対する暴力に関する予防啓発事業を担当している地方公共団体の職員等を対象とした研修を実施している。

平成 26 年度はこれまでの経緯を踏まえ、若年層に対して教育、啓発の機会を多く持つ指導的立場にある者、地方公共団体における若年層における交際相手からの暴力に関する予防啓発事業担当者及び若年層における交際相手からの暴力の予防啓発に取り組んでいる民間団体や若年層等を対象として、効果的な予防啓発の手法等を学ぶ機会を提供する。

- (2) 場 所 大阪会場：ドーンセンター
東京会場：東京ウィメンズプラザ
福岡会場：クローバープラザ

- (3) 対 象 ①地方公共団体の男女共同参画主管課職員
②若年層に対して教育、啓発の機会を多く持つ教育機関の教職員
③若年層における女性に対する暴力の予防啓発活動に関心のある学生等

【事業内容・実績】

(1) 大阪会場[中部（甲信越を除く）・近畿・四国ブロック]

①日 時 平成 26 年 11 月 14 日（金）13：00～17：00

②場 所 ドーンセンター

③内容・参加実績 定員：80 名、申込者数：85 名、参加者数：延べ 81 名

	日時	テーマ／講師
1	11月14日（金） 13:05～14:05	若年女性に対する暴力の現状と被害者支援について ・遠藤智子（一般社団法人社会的包摂サポートセンター事務局長）
2	14:15～15:25	若年層における女性に対する暴力に関する予防啓発事業の現状と課題 ・喜多加実代（福岡教育大学教授）
3	15:35～16:45	デートDVの効果的な啓発コミュニケーション講座：伝えるしかけとデザイン ・高田絵里（パープルアイズ代表理事） ・山阪佳彦（パープルアイズ理事）

(2) 東京会場〔北海道・東北・関東・甲信越ブロック〕

①日 時 平成 26 年 11 月 20 日 (木) 13 : 00～17 : 00

②場 所 東京ウィメンズプラザ

③内容・参加実績 定員 : 100 名、申込者数 : 89 名、参加者数 : 延べ 85 名

	日時	テーマ／講師
1	11月20日 (木) 13:05～14:05	若年女性に対する暴力の現状と被害者支援について ・遠藤智子 (一般社団法人社会的包摂サポートセンター事務局長)
2	14:15～15:25	若者の心に届ける予防啓発事業の取り組み : デートDVピースプロジェクトを中心に ・岩船弘美 (男女共同参画センター横浜館長)
3	15:35～16:45	デートDVの効果的な啓発コミュニケーション講座 : 伝えるしかけとデザイン ・高田絵里 (パープルアイズ代表理事) ・山阪佳彦 (パープルアイズ理事)

(2) 福岡会場〔中国・四国・九州・沖縄ブロック〕

①日 時 平成 26 年 12 月 4 日 (木) 13 : 00～17 : 00

②場 所 クローバープラザ

③内容・参加実績 定員 : 80 名、申込者数 : 80 名、参加者数 : 延べ 76 名

	日時	テーマ／講師
1	12月 4日 (木) 13:05～14:05	若年層における女性に対する暴力の現状と被害者支援について ・井ノ崎敦子 (臨床心理士、徳島大学健康管理・保健相談センター助教)
2	14:15～15:25	若年層における女性に対する暴力に関する予防啓発事業の現状と課題 ・喜多加実代 (福岡教育大学教授)
3	15:35～16:45	デートDVの効果的な啓発コミュニケーション講座 : 伝えるしかけとデザイン ・高田絵里 (パープルアイズ代表理事) ・山阪佳彦 (パープルアイズ理事)

1 内閣府男女共同参画局受託事業

東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業

【事業概要】

(1) 目的 東日本大震災の被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念される。平成 23 年 5 月 10 日から岩手県において、また同年 9 月 1 日から宮城県において、更には平成 24 年 2 月 11 日から福島県を加えた計 3 県で、地方公共団体及び民間団体等と協働し、全国の専門性の高い相談員の協力を得て、女性の悩み・暴力相談窓口を開設し、電話及び面接等により相談を受け付けている。それとともに、相談員が仮設住宅等を訪問し、女性から直接相談を受け付けることなどにより、被災地において女性が安心して相談できる相談事業を実施中である。

発災から約 2 年 10 カ月が経過した現在においても、依然として女性が悩みを抱える状況が見られ、その相談内容もより複雑化してきている。このことから、引き続き地方公共団体や民間団体等と協働し、女性の悩み・暴力相談事業を実施し、相談者の状況に応じた支援の窓口につなぐことにより、具体的な問題解決につなげることとする。

岩手県、宮城県については、復興が進み地方公共団体の業務も平時の状態に戻りつつあることから、電話相談業務については地元の相談窓口に移行しつつ、地元相談員による相談対応及び人材育成を支援するため、スーパービジョン、研修の講師として全国からアドバイザーを派遣し、地元相談員による面接及び訪問相談やグループ活動を協力支援することとする。

(2) 開設場所 岩手県内、宮城県内及び福島県内

(3) 相談受付期間 平成 26 年 4 月 1 日（火）から平成 27 年 3 月 31 日（火）

(4) 相談の対象

- ・震災に関連する女性の悩み全般に関する相談
- ・配偶者等からの暴力や性犯罪などに関する相談

(5) 相談対応の種類

- ・岩手県及び宮城県：窓口（面接）相談、訪問相談等を実施
- ・福島県：電話相談、窓口（面接）相談、訪問相談等を実施

(6) 電話の名称及び番号

- ・岩手県

名称：「女性の心のケア ホットライン・いわて」

番号：0120-240-261（岩手県内限定フリーコール）

- ・宮城県

名称：「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」（女性のための面接相談）

石巻市 番号：0225-95-1111

気仙沼市 番号：0226-24-5988

名取市 番号：022-211-2570

法テラス南三陸 番号：050-3383-0210

法テラス山元 番号：050-3383-0213

法テラス東松島 番号：050-3383-0009

・福島県

名称：「女性のための電話相談 ふくしま」

番号：0120-207-440（全国フリーコール）

（７）相談受付曜日・時間

県名	相談場所	曜日・時間
岩手県	盛岡①	火、木、土（祝含む） 10：00～17：00
	盛岡②	月～日（祝含む） 10：00～17：00
宮城県	石巻市	第1、3水 11：00～17：00
	気仙沼市	第2水 13：00～17：00
	名取市	第2、4水 13：00～16：00
	法テラス南三陸	第2木 10：00～16：00
	法テラス山元	第4木 10：00～16：00
	法テラス東松島	第2、4金 13：00～16：00
福島県	郡山市	月～金（祝除く） 10：00～17：00
	いわき市	第2土、第4水 10：00～16：00

（８）事業の運営体制

- ①主 催 内閣府
- ②共 催 岩手県、宮城県、福島県
- ③協 力 NPO法人参画プランニング・いわて、もりおか女性センター、盛岡市
NPO法人ハーティ仙台、石巻市、気仙沼市、名取市、
NPO法人ウィメンズスペースふくしま
郡山市、いわき市
- ④協力団体 NPO法人全国女性シェルターネット
NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会
NPO法人全国女性会館協議会
- ⑤事務局 （一財）大阪府男女共同参画推進財団

2 自主事業

東北女性の手仕事物産展・物産品の販売

【事業内容・実績】

（１）第３回東北女性の手仕事物産展「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

- ①目 的 当財団は平成 23 年度から内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託し、東北 3 県を訪問する機会が増え、地元女性団体や自治体等とネットワークを構築してきた。東北（被災地）では、女性たちがさまざまな農産物、加工品、手仕事品などを生産している。ネットワークを活かして、女性がつくった農産物や加工品、手仕事品等を収集し、生産品等を販売、女性の経済的自立を応援する。「大阪で応援できること＝買い物すること」を P R し、持続可能な販路の開拓に努める。物品は基本的に買い取り方式とする。

第 3 回はドーンセンター開館 20 周年事業「ドーンフェスティバル 2014」と同時開催とする。

- ②日 時 平成 26 年 11 月 15 日（土）11：00～18：30、16 日（日）10：00～17：30

- ③場 所 ドーンセンターロビー（1 F）

- ④参加費 無料

- ⑤出展者一覧

県名	団体名	商品名
岩手県	被災地 N G O 協働センター (つくり手応援団：岩手県被災者の女性たち)	まけないぞう
	愛編む宮古	マフラー、帽子等
	一般社団法人 S A V E I W A T E	復興雑巾
	再生の里ヤルキタウン	アームカバー、瓦 Re:KEYHOLDER
	ちーむ麻の葉	ドレスタオル
	阿部恵子	手ぬぐい
	宇部京子	ポストカード
	天然野草茶の店 クックハーブ	野草茶
	りんご工房きただ	りんごジュース、りんごチップス
	中村美智子りんご園	りんご
	まるき水産	漁師のふりかけ
	石井商店	即席みそ汁
宮城県	一般社団法人気仙沼復興協会「港町の縫いっ娘ぶらぐ」	ランチョンマット、バッグ等
	R Q被災地女性支援センター	気仙沼のバラたわし
	東北大学「災害科学国際研究所」	減災風呂敷「結」
	W A T A L I S	巾着、いちごストラップ
	宮城県漁業女性部連絡協議会	貝殻アクセサリー
	石巻へい輪プロジェクト	ミサンガ櫛

県名	団体名	商品名
	名振マザーミサンガ	マザーミサンガ
	法人ピースジャム	シュシュ、巾着等
福島県	酒井道子	ビーズアクセサリー
	しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島	くま
	peach heart	柄付きマスク
	富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンター サマンサ・マミー	エコたわし、バッグ
	かーちゃんの力プロジェクト	豆菓子、青南蛮味噌等
	一般社団法人チームむかご	にこまるクッキー

⑥受託販売 震災関連書籍（発行：公益財団法人せんだい男女共同参画財団）

創刊号『パンジー～あの日 うまれたもの』

第2号『仙台版防災ワークショップテキスト』

⑦販売総額 403,510 円

⑧共 催 ドーン運営共同体

⑨その他

当企画が広がり、以下のイベントへの委託販売等を行った。

- ・ コラボピース「東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーコンサート 2014 Heart to Heart」（平成 26 年 12 月 27 日）
- ・ 美容室 nest（平成 27 年 3 月 1 日～31 日）

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成 16 年 3 月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加、参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的、経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理、事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成 18 年 4 月、ハード部門（利用促進、施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団と N P O 法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5 年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成 21 年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また大阪府女性相談センターが転入した。平成 23 年度に第 2 期指定管理事業がスタートし、財団など 4 者による共同体が受託した。（5 年契約）

昭和 61 年度	4 月	「21 世紀をめざす大阪府女性プラン」策定 (昭和 61 年度～平成 2 年度)
	9 月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1 月	第 1 回婦人団体、グループアンケート実施
昭和 62 年度	6 月	基本構想公表
	1 月	第 2 回婦人団体、グループアンケート実施
昭和 63 年度	9 月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 (平成 3 年 7 月、ドーンセンター推進会議に改称)
	12 月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1 月	元大手前会館撤去完了
平成元年度		基本設計、文化財発掘調査（第 1 期）
平成 2 年度		実施設計、文化財発掘調査（第 2 期）
	12 月	クリエイティブフォーラム開催
	2 月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成 3 年度	9 月	「女と男のジャンププラン」策定（平成 3 年度～12 年度まで） 文化財発掘調査（第 3 期）
	12 月	クリエイティブフォーラム開催
	3 月	建設工事着工（工期 28 か月）

平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	1月	シンボルマーク決定
平成5年度	11月	プレイベント「女性映像フォーラム」開催
平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館
平成13年度		大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け
	3月	ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月	休館日を水曜日から月曜日に変更
	10月	NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月	開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月	ハード部門に指定管理者制度導入「ドーン利用促進事業共同体」 「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に 位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」）
	11月	ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月	情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月	情報ライブラリー（2階）開室日、開室時間変更
平成21年度	4月	大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更
	10月	大阪府女性相談センター転入（3階）
平成23年度	4月	第2期指定管理業務がスタート「ドーン運営共同体」
平成26年度	11月	開館20周年記念「ドーンフェスティバル2014」開催

（３）建物概要

①所在地	大阪府中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3,170 m ²
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1,971 m ²
⑦延床面積	12,761 m ²
⑧立体駐車場	92台

（４）運 営	事業：一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 利用促進、施設管理：ドーン運営共同体
--------	--

（５）歴代館長	津村 明子	平成6年4月～平成9年12月
	上田 忍	平成10年1月～平成13年3月
	竹中恵美子	平成13年4月～平成19年6月
	清野 博子	平成19年7月～平成22年3月
		※平成22年3月、館長職廃止

（６）利用について

①開館時間	9：00～21：30
②利用時間	9：30～21：30

③休館日 毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土、日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、年末年始

④ホール、会議室等の利用申込

ア 予約、受付 9：00～20：00

イ 抽選会日時 <ホール、パフォーマンス・スペース>

12ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：14：00～14：30

<会議室等>

6ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：9：30～10：00

※第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行う。

1月に限っては第2水曜日に行う。

ウ 電話、窓口受付 抽選会翌日の9：30から先着順で受付

⑤こどものへや

定期保育 毎週木曜日 午前の部 9：30～12：00

午後の部 13：00～17：00

対象：0歳6ヶ月以上小学校2年まで

保育料：午前の部 1,000円、午後の部 1,000円

定員：20名 ただし1歳6ヶ月未満の幼児は若干名

⑥サポート・カウンセリングルーム

ア 問い合わせ、予約受付 火～金曜日 13：30～18：00

18：45～21：00

土、日曜日 9：30～13：00

13：45～18：00

イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17：00～20：00

土、日曜日 10：00～16：00

ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17：00～21：00

土、日曜日 10：00～18：00

⑦情報ライブラリー

ア 開室時間 火、水、木、土曜日 9：30～17：30（貸出、情報相談は17：20まで）

金曜日 9：30～20：00（貸出、情報相談は19：50まで）

イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日（火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日）

及び特別資料整理期間

⑧駐車場（タワーパーキング）

8：45～21：45

最初の1時間 400円（以降30分ごとに200円）上限2,400円

普通車のみ（車高、車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm）

※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン運営共同体の概要

(1) 設立目的

男女財団、青少年財団、施設管理会社、文化関係NPOの4団体による事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、個々の団体の特色を活かし、利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を活かす。このことで、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設及び青少年センターとしての、ドーンセンターの利用促進を継続発展させる。

(2) 構成員

- 名 称 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

- 名 称 一般財団法人大阪府青少年活動財団
代表者 理事長 高橋 幸久
所在地 大阪市浪速区幸町2丁目7-3 りそな・アルテ桜川ビル4階

- 名 称 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社
代表者 常務取締役支社長 井上 信夫
住 所 大阪市北区天満橋1丁目8番30号

- 名 称 NPO法人大阪現代舞台芸術協会
代表者 理事長 笠井 友仁
住 所 大阪市中央区東心斎橋2丁目1番27号 周防町ウイングス5階

※共同体代表者は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成23年3月16日

(4) 指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

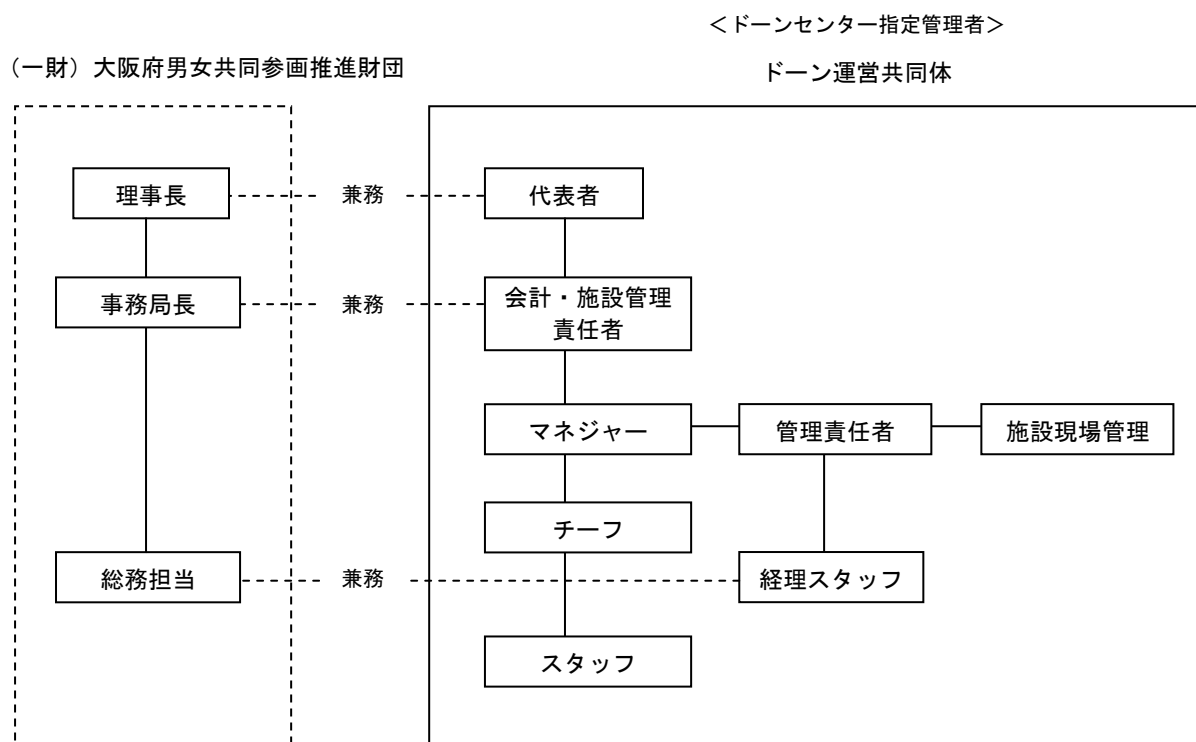
(6) 主要事業

- (1) ホール、会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）
- (3) 一時保育事業

（７）共同体のあゆみ

平成 22 年 12 月 9 日	「ドーン運営共同体」発足
平成 23 年 3 月 16 日	大阪府より指定管理者に指定
平成 23 年 4 月 1 日	指定管理業務開始
平成 26 年 11 月 15 日	ドーンフェスティバル 2014 開催（～16 日）

（８）組織体制



3 大阪府（府民文化部）受託事業

指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

（１）来館者数

（単位：人）

	会議室等	ホール等	ライブラリー	視 察	その他	合 計	1 日平均
4 月	13,489	7,140	1,525	0	688	22,842	(25 日) 914
5 月	13,874	8,987	1,627	0	797	25,285	(25 日) 1,011
6 月	15,036	10,595	1,993	0	797	28,421	(25 日) 1,137
7 月	13,593	9,373	2,272	26	736	26,000	(26 日) 1,000
8 月	11,502	9,850	1,930	0	954	24,236	(27 日) 898
9 月	12,539	8,065	1,510	4	822	22,940	(23 日) 997
10 月	14,174	11,600	1,781	0	971	28,526	(26 日) 1,097
11 月	15,720	11,958	1,676	0	835	30,189	(24 日) 1,258
12 月	11,984	10,857	1,506	22	916	25,285	(23 日) 1,099
1 月	12,006	6,110	1,673	0	982	20,771	(23 日) 903
2 月	14,466	8,425	1,713	0	1,123	25,727	(23 日) 1,119
3 月	15,026	9,880	1,665	0	825	27,396	(25 日) 1,096
平成 26 年度計	163,409	112,840	20,871	52	10,446	307,618	(295 日) 1,043
平成 25 年度計	168,603	122,336	23,746	42	11,315	326,042	(293 日) 1,113

(2) 会議室、ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加、参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室、ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会 議 室 等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・ スペース (%)	合計 (%)
	会議室	和 室	調理室 等	小 計			
4 月	69.6	46.0	46.1	64.4	69.6	24.0	60.0
5 月	59.7	42.7	40.8	53.3	49.3	41.3	52.6
6 月	65.1	37.3	45.1	57.3	71.0	45.3	57.4
7 月	59.1	48.1	42.6	53.8	62.5	51.3	54.1
8 月	50.3	33.3	32.6	44.2	66.7	40.7	45.0
9 月	61.3	44.9	38.6	54.0	65.1	39.1	53.8
10 月	59.2	51.3	38.5	53.2	81.9	66.7	55.0
11 月	67.7	50.0	53.1	62.3	89.4	70.8	63.8
12 月	56.3	41.3	41.2	51	79.4	68.1	53.0
1 月	57.1	37.0	43.2	51.6	41.7	25.8	50.1
2 月	63.2	46.4	52.5	58.8	73.0	53.6	59.2
3 月	63.1	46.0	56.0	59.6	79.2	66.7	60.8
平成 26 年度計	60.9	43.7	44.0	55.0	69.3	49.5	55.3
平成 25 年度計	62.4	43.5	45.7	56.3	66.0	57.7	56.8

<利用目的別比率>

種 別	目 的 内 利 用 (％)					一般利用 (％)
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合 計		
会議室等	6.5	14.7	13.8	35.0	10.8	54.3
ホール	4.3	3.9	3.9	12.1	18.0	69.9
パフォーマンス・スペース	11.4	7.8	14.9	34.1	10.8	55.1
平成 26 年度計	6.6	13.9	13.3	33.8	11.1	55.1
平成 25 年度計	6.0	15.1	15.1	36.2	11.1	52.7

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30～12:00)	午 後 (%) (13:00～17:00)	夜 間 (%) (18:00～21:30)	計 (%)
会議室等	平日	48.0	69.6	33.9	50.5
	土曜	76.6	93.2	31.3	67.1
	日曜	79.2	92.5	28.8	66.8
	小計	58.7	77.8	32.5	56.4
ホール	平日	62.9	79.0	47.3	63.1
	土曜	88.5	96.2	65.4	83.3
	日曜	86.3	90.2	49.0	75.2
	小計	72.2	84.4	51.1	69.3
パフォーマンス・スペース	平日	35.8	47.4	44.7	42.6
	土曜	75.0	84.6	53.8	71.2
	日曜	51.9	69.2	38.5	53.2
	小計	45.6	57.8	45.2	49.5
合 計	平日	48.1	68.9	34.9	50.6
	土曜	77.1	92.9	33.9	68.0
	日曜	78.3	91.3	30.1	66.6
	小計	58.6	77.2	33.9	56.6

②駐車場の利用状況

当センター利用者の利便性を高めるため、普通車 92 台を収容できる立体駐車場を完備しており、平成 26 年度は 12,707 台の利用があった。また、障害者の方は、利用料金を免除しており、643 台の利用があった。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内免除数		日数
4 月	1,062	66	42	25
5 月	951	44	38	25
6 月	1,123	49	45	25
7 月	1163	46	45	26
8 月	863	54	32	27
9 月	976	44	42	23
10 月	1,174	64	45	26
11 月	1,201	58	50	24
12 月	1,023	41	44	23
1 月	895	56	39	23
2 月	1,223	50	53	23
3 月	1,053	71	42	25
平成 26 年度計	12,707	643	43	295
平成 25 年度計	13,002	615	44	293

(3) グループ活動の支援

① グループロッカーの設置

ア 定期的にドーンセンターを利用するグループ、団体の使用物品の保管場所として、また、グループ相互の情報交換を通じて、グループ同士の交流を深めるために、グループロッカーを設置し、貸し出しを行った。

イ 自主的に結成、運営されているグループで、ドーンセンターを定期的に利用している団体等を対象とする。(申込み多数の場合は抽選)

ウ 貸出期間 1年間(平成26年4月1日～平成27年3月25日)

エ 使用料金 無料

オ ロッカー数

(ア) 大型(幅36cm×高さ77cm×奥行40cm) 36個

(イ) 小型(幅34cm×高さ28cm×奥行35cm) 80個

カ 貸出件数 61団体(登録団体:45、一般団体:14)

② NPO団体専用ちらしラックの設置

定期的にドーンセンターを利用するグループ、団体の活動に関する情報交換のためメールボックスを設置し、貸し出しを行ってきたが、貸し出し件数が少ないため、メールボックスを廃止した。

大阪府内の男女共同参画や青少年活動を目的とするNPO団体に呼びかけ48団体のチラシを専用ラックにて情報発信の場として活用した。

③ ワークステーションの運営

ア ドーンセンターを活動の拠点とするグループが、チラシやミニコミ誌等の作成、催し物の準備、グループ相互の交流を促進するためのスペースとして、ワークステーションを無料提供する。

イ 運営時間 9:00～21:30

ウ 設置機器 印刷機、紙折り機、裁断機、製本機、(コピー機は3階に設置)

エ 使用料

(1) 印刷機 : 製版代 1製版 60円

印刷代 1枚 0.5円(但し、10円単位での精算)

用紙は利用者持参

(2) コピー機 : 1枚 10円 (カラー1枚 50円)

(3) FAX : 送受信ともA4まで1枚 20円 A3まで1枚 40円

(4) E-mail サービス : パソコン使用料 20分 100円、プリントアウト 1枚 10円

オ 急に用紙が必要になった場合の対応として、コピー用紙の販売を引き続き実施。

A4サイズ500枚 420円

B4サイズ500枚 620円

A3サイズ500枚 720円

<利用状況> 3月5日から印刷機不具合のため3月末日まで使用中止

月 別	印刷機利用団体数	月 別	印刷機利用団体数
平成 25 年 4 月	98 件	平成 25 年 10 月	101 件
平成 25 年 5 月	90 件	平成 25 年 11 月	84 件
平成 25 年 6 月	81 件	平成 25 年 12 月	63 件
平成 25 年 7 月	73 件	平成 26 年 1 月	73 件
平成 25 年 8 月	60 件	平成 26 年 2 月	69 件
平成 25 年 9 月	92 件	平成 26 年 3 月	8 件
合 計			892 件

④ ポスタープリントサービス

利用団体、NPO、団体等の活動支援の一環で、効果的なPRのために、PDFデータを拡大プリントするサービスを行う。

<販売実績>

	紙 質	サイズ	価 格	販売数
1	フォト光沢紙	A1	3,000	2
2		B2	2,000	18
3		A2	1,500	0
4	厚口コート紙	A1	2,000	0
5		B2	1,500	1
6		A2	1,000	0
7	プレミアム普通紙	A1	600	17
8		B2	500	78
9		A2	400	20
	合 計			136 枚

⑤ 情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ、団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	大阪府関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
平成26年度	418	161	494	896	2010	3979
平成25年度	385	206	993	900	1680	4168

4 自主事業

一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進、支援することを目的として、ドーンセンター利用者を対象に、「こどものへや」を活用した一時保育事業をドーン運営共同体の自主事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

（１）実施内容

①定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、４月から毎週木曜日に自主事業として引き続き実施したが、平成26年6月19日利用分より条例化された。

<保育時間> 木曜日 9:30~12:00 13:00~17:00

②「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体やグループが、保育を実施する場合に「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 206名

（２）「こどものへや」の利用状況

	定期保育 午前の部			定期保育 午後の部			件数 ③	合計 ①+②+③
	開催 日数 ①	子ども	保育 協力者 数	開催 日数 ②	子ども	保育 協力者 数		
4月	4	5	7	1	1	2	6	11
5月	5	8	10	1	2	2	6	12
6月	4	10	10	4	6	8	25	33
7月	5	5	10	4	4	8	18	27
8月	4	10	12	1	5	3	11	16
9月	2	4	5	1	1	2	9	12
10月	4	8	9	1	2	2	7	12
11月	3	7	8	1	5	4	12	16
12月	4	19	16	4	17	15	18	26
1月	4	16	11	4	16	12	17	25
2月	4	15	9	4	12	8	29	37
3月	4	35	22	4	17	11	28	36
平成26年度	47	142	129	30	88	77	186	263
平成25年度	51	281	165	47	177	130	218	316

1 東大阪市立男女共同参画センターの概要

(1) 目的

東大阪市立男女共同参画センターは「男女共同参画社会基本法」の基本理念を踏まえ、女性と男性が互いにその人権を尊重し、性別にとらわれることなく、一人ひとりの能力と個性が十分にいかされる社会の実現をめざすための活動を行う拠点施設として設置した。

(2) 愛称

「イコーラム」

(3) 愛称の由来

愛称を公募した結果、イコール(equal=等しい、同じであること)とフォーラム(forum=集会所、公共の広場)をあわせた造語である「イコーラム」に決定した。

(4) 開館年月日

平成 15 年 4 月 14 日

(5) 所在地

東大阪市岩田町 4 丁目 3 番 22-600 号

近鉄奈良線若江岩田駅北側「希来里(きらり)」ビル 施設棟 6 階

(6) 建物概要

①構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 7 階 地下 1 階

②施設占有面積 1,898.36 m²

(7) 主要事業

①情報に関する事業

情報の提供、発信(啓発)、収集、調査研究、機関紙の発行

②学習に関する事業

男女共同参画社会の実現に向けた講座、女性のエンパワメントを促進するための講座、講演会、ビデオ上映会等の開催

③交流事業

交流の機会提供、利用者間の情報交流の促進、他都市との交流促進

④自主活動支援事業

諸活動の場の提供、センター利用者に対する一時保育

⑤相談事業

女性のための相談：女性相談員による電話相談、面接相談、多言語相談(英語、中国語、韓国、朝鮮語)、女性弁護士による法律相談、女性社会保険労務士による労働相談

男性のための相談：男性相談員による電話相談

(8) 利用案内

- ①開館時間 平日、土曜日 9:00～21:30
日曜日、祝日 9:00～18:00
- ②休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
12月29日から1月3日
- ③利用申込 研修室、学習室は使用日の3ヶ月前の属する月の1日から、直接窓口にて申込み可能。ホール、ギャラリーは使用日の6ヶ月前の属する月の1日から申込み可能。

(9) 運 営 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

(10) 事業推進委員会

男女共同参画社会の実現をめざし、市と連携してセンターの自主事業企画の提案を行い、男女共同参画の推進を図る目的で設置。

- ①委員 13名（公募市民）、任期2年

②事業推進委員会議事内容

	月日	議 題
1	6月12日（木）	平成26年度事業説明、男女共同参画週間記念のつどいについて、センターだよりについて 他
2	7月17日（木）	男女共同参画週間記念のつどいについて（報告）、センターだよりについて、希来里ファミリーまつりについて、フェスタ会議について 他
3	9月24日（水）	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて 他
4	11月20日（木）	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて 他
5	1月22日（木）	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて 他
6	2月12日（木）	イコーラムフェスタについて（最終打ち合わせ）、センターだよりについて 他
7	3月24日（火）	平成26年度イコーラムフェスタを振り返り、今年度を振り返って

2 東大阪市受託事業

施設管理業務

指定管理者として指定された管理運営を行うとともに、市民にホールや研修室の貸出を行った。

(1) 利用者数

〈月別利用者数〉

(単位：人)

	ホール	ギャラリー	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	学習室	子ども室	合計
4月	5,222	60	1,276	966	628	715	773	16	9,656
5月	5,582	1,648	1,288	986	609	720	781	16	11,630
6月	5,480	2,570	2,578	1,307	1,072	583	905	23	14,518
7月	4,228	2,480	1,257	1,183	689	663	747	47	11,294
8月	5,209	400	1,010	879	548	518	551	67	9,182
9月	5,220	952	1,382	1,332	582	614	1,047	247	11,376
10月	5,964	2,210	1,623	1,655	1,039	674	1,223	207	14,595
11月	6,580	2,380	1,308	1,314	778	688	1,066	137	14,251
12月	5,144	1,760	1,188	1,096	708	769	722	100	11,487
1月	4,332	410	1,488	1,317	549	541	858	41	9,536
2月	6,650	4,246	1,708	1,339	1,135	664	1,178	39	16,959
3月	5,780	2,220	1,910	1,670	782	811	884	82	14,139
合計	65,391	21,336	18,016	15,044	9,119	7,960	10,735	1,022	148,623

〈利用種別〉

(単位：人)

	一般利用	団体登録	公用利用	合計
ホール	50,351	5,885	9,155	65,391
ギャラリー	7,041	0	14,295	21,336
第1研修室	13,872	1,622	2,522	18,016
第2研修室	10,982	1,204	2,858	15,044
第3研修室	6,383	1,459	1,277	9,119
第4研修室	6,050	1,512	398	7,960
学習室	7,622	1,073	2,040	10,735
子ども室	197	54	771	1,022
合計	102,498	12,809	33,316	148,623

〈性別〉

(単位：人)

	男性	女性	合計
ホール	29,571	35,820	65,391
ギャラリー	10,758	10,578	21,336
第1研修室	7,347	10,669	18,016
第2研修室	5,216	9,828	15,044
第3研修室	3,049	6,070	9,119
第4研修室	2,640	5,320	7,960
学習室	3,552	7,183	10,735
子ども室	485	537	1,022
合計	62,618	86,005	148,623

3 東大阪市受託事業 東大阪市主催事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会を推進するための講座や講演会等を開催する。
(2) 期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

【事業内容・実績】

(1) いこう！らむカレッジ①

- ①目的 ネットの便利さを享受する一方で、負の部分を知り、
ネットリテラシーを身につけるきっかけとなる講座とする。
②日時 平成 26 年 6 月 8 日（日）10：00～12：00
③場所 イコーラム学習室
④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
⑤参加費 無料
⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：26 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6 月 8 日（日） 10:00～12:00	ネット社会の落とし穴を考える～女性、子どもの視点から～ ・岡本真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役）	21 名

(2) いこう！らむカレッジ②

- ①目的 子ども部屋や住まいが描かれた絵本を通して、子どもの個の
空間と自律について考え、家族観を見つめ直す機会とする。
②日時 平成 26 年 8 月 2 日（土）14：00～16：00
③場所 イコーラム第 1、2 研修室
④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
⑤参加費 無料
⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：21 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8 月 2 日（土） 14:00～16:00	子ども部屋を考える～住まいの絵本からみよう～ ・北浦かほる（NPO法人子どもと住文化研究センター理事長）	18 名

(3) いこう！らむカレッジ③

- ①目 的 従来の家族観による墓の考え方と、近年の「脱承継」、
「個人化」の流れからでてきた、墓への新たなニーズを知り、
自分らしい生き方と選択を考える。
- ②日 時 平成 26 年 9 月 20 日（土）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：30 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9 月 20 日（土） 14:00～16:00	これからの墓を考える～多様化する家族とわたしの選択～ ・榎村久子（京都女子大学 宗教・文化研究所、 一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 理事長）	27 名

(4) いこう！らむカレッジ④

- ①目 的 変化しつつある家族観や結婚観を通して、だれにとっても多
様な生き方が選択できる社会のあり方を考える。
- ②日 時 平成 26 年 12 月 20 日（土）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：20 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	12 月 20 日（土） 14:00～16:00	多様な生き方ができる社会へ～結婚から考える～ ・善積京子（追手門学院大学社会学部教授）	16 名

(5) いこう！らむカレッジ⑤

- ①目 的 社会や女性の生き方の変化が、女性のファッションを「女
らしさ」を表現するものから「自分らしさ」を表現するものに
変えていったことをココ・シャネルの業績から学び、多様な
生き方が共存できる社会のあり方を考える。
- ②日 時 平成 27 年 1 月 17 日（土）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：23 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1 月 17 日（土） 14:00～16:00	ココ・シャネルが変えた！～ファッションは自己表現である～ ・好田由佳（梅花女子大学文化表現学部情報メディア学科教授）	18 名

(6) 女性応援セミナー～子育て編～

- ①目 的 女性自身が縛られてきたジェンダー規範に気づくことで、性別にとらわれずに子どもの個性をはぐくみ、女性も子どもも自分らしい生き方を獲得するための講座とする。
- ②日 時 平成 26 年 6 月 19 日（木）、26 日（木）10：00～12：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：21 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6 月 19 日（木） 10:00～12:00	個性をはぐくむ子育て ・遠矢家永子（NPO法人SEAN副理事長、事務局長）	16 名
2	6 月 26 日（木） 10:00～12:00	‘子ども’の感情‘わたし’の感情と向き合う ・津村薫（女性ライフサイクル研究所F e l i e n・フェリアン）	17 名
			(延) 33 名

(7) 女性応援セミナー～人間関係編～

- ①目 的 自分が普段どのように人と関わっているかを知り、ワークを通して人間関係をスムーズにするコミュニケーション方法を学ぶ。
- ②日 時 平成 26 年 10 月 9 日（木）、16 日（木）、23 日（木）
10：00～12：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：31 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10 月 9 日（木）	① コミュニケーションの基本を知ろう	22 名
	16 日（木）	② 接し方を見直してみよう	23 名
	23 日（木）	③ コミュニケーション力を高めよう！	22 名
	10:00～12:00	・長原洋子（NPO法人k u n こころの宮理事長）	
			(延) 67 名

(8) 女性応援セミナー～仕事編～

- ①目 的 女性が、自分自身の考え方や現状、自分を取りまく社会状況について理解を深め、今後のキャリアプランを考える。
- ②日 時 平成 27 年 3 月 1 日（日）、8 日（日）、15 日（日）
10：00～12：00
- ③場 所 イコーラム学習室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：20 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3 月 1 日（日） 10:00～12:00	女性の働き方を考えるための視点 ・長尾裕子（有限会社関西レディースコーポレーション代表取締役）	15 名
2	3 月 8 日（日） 10:00～12:00	自分を知る、まわりを知る ・久田裕美（国家資格 2 級キャリアコンサルティング技能士）	13 名
3	3 月 15 日（日） 10:00～12:00	働くわたしのキャリアデザイン ・久田裕美（国家資格 2 級キャリアコンサルティング技能士）	13 名
			（延）41 名

(9) 男性のための講座

- ①目 的 仕事中心で生きている男性が、家庭や地域活動等の仕事以外の役割や居場所を持ち、自分らしい生き方を見出すことを促す。
- ②日 時 平成 26 年 11 月 9 日（日）10：00～11：30、12：00～13：30
11 月 16 日（日）10：00～12：00
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室、学習室、くすのきプラザ料理教室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の男性
- ⑤参加費 受講料は無料 第 2 回のみ材料費 500 円
- ⑥内容・参加実績 第 1 回 定員：20 名、申込者数：19 名
第 2 回 定員：10 名、申込者数：14 名
第 3 回 定員：20 名、申込者数：15 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11 月 9 日（日） 10:00～11:30	“会社の人”と“社会の人” ・石蔵文信（大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科教授）	16 名
2	11 月 9 日（日） 12:00～13:30	ええ加減とテキトーでつくる男の昼ごはん ・石蔵文信（大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科教授）	13 名
3	11 月 16 日（日） 10:00～12:00	聴き上手で新しい関係をつくる ・森田幸浩（心理カウンセラー）	11 名
			（延）40 名

(10) 翔塾（はばたきじゅく）

前期：「女性のための起業入門セミナー」

- ①目 的 起業を考えている女性が、起業のプロセスを理解し、起業のアイデアをまとめる講座を開催する。本講座受講後「特定創業支援事業」である「創業塾」の受講につなげる。
- ②期 間 平成 26 年 11 月 23 日（日）～12 月 14 日（日）
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：35 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11 月 23 日（日） 14:00～16:00	起業について考えよう ・宇田名保美（宇田マネジメント株式会社代表取締役、 中小企業診断士）	30 名
2	11 月 30 日（日） 14:00～16:00	いまどきの起業のヒント ・石川千明（Women's Future Center 副代表、 NPO法人奈良地域の学び推進機構）	26 名
3	12 月 7 日（日） 14:00～16:00	起業プランをつくってみよう① ・宇田名保美（宇田マネジメント株式会社代表取締役、 中小企業診断士）	22 名
4	12 月 14 日（日） 14:00～16:00	起業プランをつくってみよう② ・宇田名保美（宇田マネジメント株式会社代表取締役、 中小企業診断士）	25 名
			（延）103 名

後期：「さまざまな社会貢献のスタイル～わたしも‘何か’できる！～」

- ①目 的 「役に立ちたい」思いをかたちにするさまざまな方法を知り、それぞれ実践している人の経験から学ぶ。各回でワークを通して深めていき、全 4 回で自分らしい社会貢献スタイルを見つける機会とする。
- ②期 間 平成 27 年 1 月 18 日（日）～2 月 8 日（日）
- ③場 所 イコーラム第 1、2 研修室、学習室
- ④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料



⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：31名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月 18日（日） 10:00～12:00	やってみよう！社会のためにできること ・松木亮（NPO法人市民活動フォーラムみのお）	25名
2	1月 25日（日） 10:00～12:00	身近なことで途上国支援 ・遠藤絵理子（NGOシャプラニール地域連絡会大阪代表）	19名
3	2月 1日（日） 10:00～12:00	好きなことで社会とつながる ・村上史博（Patchwork）	22名
4	2月 8日（日） 10:00～12:00	NPOの活動で笑顔になる ・恵夕喜子（NPO法人ママの働き方応援隊理事長）	17名
			（延）83名

(11) 文化・表現活動講座

①目的 「絵本ファシリテーター」の基礎を身につけ、絵本を通じて、多様な考え方、感じ方があることに気づき、違いを尊重することを学ぶ。絵本は癒しをもたらすことから、子どものみならずおとなとも楽しみながら関わり、子育てや社会活動に生かせるようにするための講座とする。

②期 間 平成26年7月5日（土）、12日（土）、19日（土）
10:00～12:00

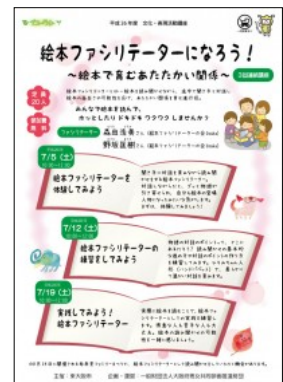
③場 所 イコーラム第1、2研修室

④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：62名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月 5日（土） 12日（土） 19日（土） 10:00～12:00	絵本ファシリテーターになろう！～絵本で育むあたたかい関係～ ①絵本ファシリテーターを体験してみよう ②絵本ファシリテーターの練習をしてみよう ③実践してみよう！絵本ファシリテーター ・森田浩美（絵本ファシリテーターの会O s a k a） ・野坂匡樹（絵本ファシリテーターの会O s a k a）	26名 24名 22名
			（延）72名



(12) こころとからだ講座①

①目的 職場や社会生活において、自分のものの見方、受け止め方から生ずるストレスについて理解し、その対処方法を学ぶ。

②日 時 平成26年7月26日（土）14:00～16:00

③場 所 イコーラム第1、2研修室

④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

⑤参加費 無料



⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：49名（抽選確定者28名）

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月26日（土） 14:00～16:00	働く人のためのストレス・マネジメント ～わたしを縛るわたしのころ～ ・井上泰世（オフィスナチュラリティオーグ）	22名

(13) こころとからだ講座②③

①目的 女性が、人生各期の女性の心身の特性を知り、予測される健康リスクについて、その対処方法を学ぶ。

②期間 平成27年3月15日（日）、20日（金）

③場所 イコーラム学習室

④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：25名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月15日（日） 14:00～16:00	女性ホルモンと上手につきあおう ・橋本奈美子（公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 産婦人科副部長）	17名
2	3月20日（金） 18:30～20:30	現代女性のライフサイクルとストレス ・小山敦子（近畿大学医学部教授）	13名
			（延）30名

(14) 支援職が元気になる講座「人とかかわるために大切なこと～ココロもカラダも元気に～」

①目的 子育てや介護などの支援職（活動も含め）、教員など対人援助の立場にある人を対象として、支援する人と支援を受ける人、双方のエンパワメントを目的に、援助者の自尊心を高め、対等な関係を築くスキルを学ぶ。

②期間 平成26年9月19日（金）～10月3日（金）

③場所 イコーラム第1、2研修室

④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：44名（抽選確定者：36名）



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月19日（金） 18:30～20:30	人とかかわるために大切な要素～自尊感情を高める～ ・井山里美（NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 事務局次長）	30名
2	9月26日（金） 18:30～20:30	人とかかわるために大切な要素～力関係を意識する～ ・井山里美（NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 事務局次長）	28名
3	10月3日（金） 18:30～20:00	カラダの中心を動かして疲れを癒す ・村上京子（ジャイロキネシス認定トレーナー）	21名
			（延）79名

(15) 法律講座

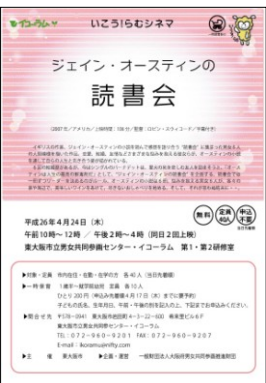
- ①目的 家族にかかわる法制度を知り、性別にかかわらず誰もが幸せであるための法制度のあり方を考える。
- ②日時 平成26年10月4日（土）10：00～12：00
- ③場所 イコーラム第1、2研修室
- ④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：23名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月4日（土） 10:00～12:00	幸せな家族のかたちって？～法律から考えよう～ ・段林和江（弁護士、（一財）大阪府男女共同参画推進財団理事）	20名

(16) いこう！らむシネマ

- ①目的 女性監督の作品などの映像を通して、男女共同参画の気づきを得る。
- ②期間 平成26年4月～平成27年2月
- ③場所 イコーラム第1、2研修室、ホール
- ④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：各40名

	日時	上映作品	参加者数
1	4月24日（木） 10:00～12:00 14:00～16:00	『ジェイン・オースティンの読書会』 〈2007年/アメリカ/106分/監督：ロビン・スウィコード〉 イギリスの作家、ジェイン・オースティンの小説を読んで感想を語り合う “読書会”に集まった男女6人の人間模様を描いた作品。 	19名 22名
2	8月24日（日） 14:00～16:00 ※希来里ファミリーまつりにあわせて開催	『人生、いろいろ』 〈2012年/日本/112分/監督：御法川修〉 人口の半数以上が高齢者の町で、料理に使う葉っぱ〈つまもの〉の仕事を通じ、人や町が生き生きと輝き始める、実話に基づいた物語。	119名
3	10月2日（木） 10:00～12:30 14:00～16:30	『母の眠り』 〈1998年/アメリカ/128分/監督：カール・フランクリン〉 ガンで倒れた母と娘の関係を中心に、家族の在り方、夫婦の絆、女性の生き方を描いた作品。	44名 42名

4	1月31日(土) 10:00～12:00 14:00～16:00	『ココ・アヴァン・シャネル』 〈2009年/フランス/110分/監督：アンヌ・フォンテーヌ〉 世界的ファッションデザイナー、ココ・シャネルの若き日の恋愛とデザイナーとしての目覚めを描いた物語。	25名 44名
5	2月22日(日) 10:00～11:30 14:00～16:00 ※イコーラムフェスタにあわせて開催	『長くつ下のピッピ』 〈1969年/スウェーデン、西ドイツ/82分/監督：オッレ・ヘルボム〉 『長くつ下ピッピの冒険物語』 〈1988年/アメリカ/101分/監督：ケン・アナキン〉 世界一力持ちの元気いっぱいな女の子、ピッピの物語。	31名 35名
			(延) 381名

(17) 男女共同参画週間 記念のつどい

①目的 国の定める「男女共同参画週間」にちなみ、性別にかかわらず一人ひとりがありのままに輝き、個性と能力を発揮できる社会の実現をめざすきっかけとなるよう、市民に呼びかけるための催しを行うものとする。

②日時 平成26年6月28日(土) 13:30～16:00

③場所 イコーラムホール

④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：244名、参加者数：180名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月28日(土) 13:30～16:00	ひとりひとりが幸せな社会～明るく希望ある未来へ～ 東大阪市長あいさつ 「ひとことメッセージ」入選作品の紹介 大阪商業大学吹奏楽部演奏 【講演】 「笑いで理解(わかり)あう女(ひと)と男(ひと)」 ・桂文喬(落語家)	180名 (女性135名 男性45名)
2	6月21日(土) ～7月5日(土)	【ギャラリー展示】 「ひとことメッセージ」各部門の優秀作及び佳作 パネル『湖夢(こゆめ)ニュータウン』	

(18) 男女共同参画社会にむけて ひとことメッセージ

①目 的 6月23日～29日の「男女共同参画週間」にちなみ、男女共同参画に向けたメッセージを広く募集することにより、家庭や地域社会における男女共同参画への関心、気づき、取り組みなどを促し、東大阪市男女共同参画センター及び男女共同参画推進条例の周知を図る。

②募集期間 「小、中、高校生部門」平成26年1月31日（金）まで
「一般部門」平成26年5月10日（土）まで

③対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

④内容・応募実績

	内 容	作品数
1	応募作品より「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「一般の部」の各部門に、優秀1点、佳作2点を選考し、そのうち最も優良なものを最優秀として表彰し、対象者には記念品（図書カード）を贈呈する。	応募：1,886点 入選：12点



(19) 希来里ファミリーまつり

①目 的 希来里ビル全館で繰り上げられる希来里ファミリーまつりに
おいて、参加型の催しを実施し、より多くの市民にイコーラム
について知ってもらう機会とする。

②日 時 平成26年8月24日（日）10：00～13：30

③場 所 希来里ビル6階イコーラム

④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績

	内 容	参加者数
1	手作りワークショップ～ハンドパペット～と文化・表現講座受講生による絵本読み聞かせ、ワークショップ「牛乳パックを使って立体パズルを作ろう」、イコーラムカフェ、スタンプラリー	1,032名



(20) 女性に対する暴力をなくす運動のつどい

「暴力のない社会へ～彼女の苦しみを見逃さない～」

①目 的 女性に対する暴力のなかで、心理的な暴力をテーマに開催
する。女性に対する暴力の背景にある社会構造や価値観を知り、
心理的な暴力及びそれを容認する社会の風潮について考える。

②日 時 平成26年11月14日（金）14：00～16：00

③場 所 イコーラム第1、2研修室、ギャラリー他

④対 象 東大阪市内在住、在勤、在学の方

⑤参加費 無料



⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：29名

	日時	テーマ	参加者数
1	11月14日（金） 14:00～16:00	【DVD上映】『自分をとりもどす～DVサバイバーからのメッセージ』（上映時間 34分） 【講演】“こころの暴力”を知っていますか ・井ノ崎敦子（臨床心理士、徳島大学健康管理・保健相談センター助教）	27名
2	10:00～12:00	面接相談	
3	13:00～16:00	法律相談	
4	11月7日（金） ～21日（金） 於：ギャラリー	・パープルリボンパッチワークキルト（平成23年度表現講座の作品）展示 ・女性に対する暴力に関するパネルの展示 ・「パープルリボン／“わたしにできること”メッセージ」の展示 来館者が記入したメッセージカードを張り付けてパープルリボンを作るプロジェクト ・NPO法人シスターフッド活動内容の展示	

(21) イコーラムフェスタ「いつもあなたのそばにイコーラム」

- ①目的 イコーラムの周知を図るとともに、登録団体と協働しつつ男女共同参画社会の実現のため、市民の意識を高める機会とする。
- ②日程 平成27年2月21日（土）、22日（日）
- ③場所 イコーラムホール、ギャラリー、研修室他
- ④対象 東大阪市内在住、在勤、在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月21日（土） 13:00～16:00	【オープニングセレモニー】東大阪市長挨拶 オープニング演奏 ・東大阪市立石切中学校吹奏楽部 【登録団体紹介】 【講演＆落語】「ママ落語家のボランティア日記！～パパに感謝の毎日でございます～」 ・桂ぼんば娘（ママ落語家） その他：折り紙教室、スタンプラリー、お茶席など	223名
2	2月22日（日） 10:00～16:00	【ホール催し】 ショウフウジャーによるショー、コーラス、「みんなで歌おう！」 その他：子ども遊び、パソコン教室、絵手紙、絵本の読み聞かせ、「いこう！らむシネマ」特別上映会、イコーラムカフェなど	184名
3	2月21日（土） ～3月8日（日）	【ギャラリー展示】イコーラム登録団体による活動報告展示	
			（延）407名

(22) 出張講座

- ①目 的 学校や地域の団体からの要望、依頼を受け、依頼元に出向いて男女共同参画に関する講座を開催し、地域に根ざした啓発を行う。

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月 6日（木） 13:20～15:30	大阪府立みどり清朋高等学校（3年生） 総合学習「デートＤＶ」	282名
2	12月 26日（金） 9:35～10:35	東大阪市教育委員会（小中高等学校教員初任者） 「男女共生教育について」	150名
3	1月 16日（金） 9:40～11:30	西堤小学校（6年生3クラス） 「男女共生ワークショップ」	87名
4	1月 22日（木） 10:00～11:15	東大阪市男女共同参画施策推進本部会議（幹事、実務担当者会議） 「男女共同参画社会をめざして」	54名
			（延）573名

4 自主事業

イコーラム自主事業

(1) 男女共同参画基礎講座

【事業内容・実績】

- ①目的 男女共同参画に関心を持つ、あるいは推進する活動をしている市民が、現代における日本の現状と課題を知り、これからの市民活動等に男女共同参画の視点を生かす講座とする。
- ②日時 平成26年5月18日(日) 14:00～16:00
- ③場所 イコーラム第1、2研修室
- ④対象 テーマに関心のある方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員: 30名、申込者数: 26名



	日程	テーマ／講師	参加者数
1	5月18日(日)	「女性の力を活かす社会～視点を变えて一歩前へ～」 ・白井文((一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事、元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役)	21名

(2) シニア男性のための料理講座

【事業内容・実績】

- ①目的 シニア男性が生活スキルの1つである料理を学び、新たな仲間を作り、地域活動に参加するきっかけとする。講座を継続していくことで、ボランティアグループを組織化し、シニア男性の自立を支援していく。大阪樟蔭女子大学、吹田市男女共同参画センター・デュオのボランティアグループと連携して開催する。
- ②日時 平成27年3月6日(金)、13日(金)、20日(金)
11:30～13:00
- ③場所 くすのきプラザ料理教室
- ④対象 おおむね50歳以上の男性
- ⑤参加費 2,700円(3回分)、1回のみ1,000円
- ⑥内容・参加実績 定員: 15名、申込者数: 20名

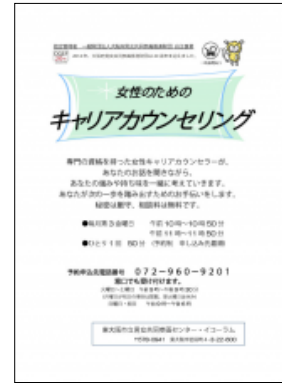


	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月6日(金)	「男のええ加減 昼ごはん」	15名
	13日(金)	・石蔵文信(大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科教授)	16名
	20日(金)	・「男の楽々クッキング」メンバー	15名
	11:30～13:00		
			(延) 46名

(3) 女性のためのキャリア・カウンセリング

【事業内容・実績】

- ①目 的 カウンセラーが相談者の話を傾聴し、「キャリア・カウンセリング 6 つのステップ（自己理解、仕事理解、啓発的経験、キャリア選択に関わる意思決定、方策の実行、新たな仕事への適応）」にそって、どこに問題があるかを見立て、相談者が意思決定に至るまでを支援する。
- ②日 時 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 各月 1 回（第 3 金曜日）
10：00～10：50／11：00～11：50
- ③場 所 イコーラム館長室
- ④対 象 大阪府在住、在勤の女性（予約制）
- ⑤参加費 無料
- ⑥実 績 定員：24 名、相談者数：18 名



5 東大阪市受託事業

情 報

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画関連の資料をそろえ、提供する。
- (2) 日 時 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

【事業内容・実績】

(1) 情報資料室の運営

- ①貸出時間 平日、土曜日 9：00～21：00
日曜日 9：00～17：00
- ②利用方法 利用者カードを発行し、1 人につき図書、視聴覚資料あわせて 3 点を上限として、2 週間貸し出しを行う。また、ドーンセンター情報ライブラリーの資料も、1 人につき図書、雑誌、行政資料は 15 冊（3 週間）、視聴覚資料は 3 点（2 週間）の貸し出しを行う。
- ③収集資料 蔵書数 3,396 点、視聴覚資料数 240 点 総数 3,636 点
- ④利用件数 (冊)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	30	25	58	59	72	76	60	54	45	43	46	26	594
平成 25 年度	41	37	67	56	59	47	48	42	74	49	49	24	593

※別途ドーンセンター情報ライブラリー資料貸出冊数：74 冊

(2) 情報紙「東大阪市立男女共同参画センターだより イコーラム」発行

- ①発行回数 年 3 回：8 月、11 月、3 月
- ②発行部数 各 2,500 部
- ③取材、編集、協力 男女共同参画センター事業推進委員会
- ④内容等

No.	発行月	内容
No. 33	平成 26 年 8 月	男女共同参画週間 記念のつどい、ひとことメッセージ入選作品、入選者にインタビュー、イコーラム利用者の声、登録団体イベント、講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 34	平成 26 年 11 月	日本女性会議 2014 札幌、希来里ファミリーまつり、イコーラム利用者の声、登録団体のイベント、講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 35	平成 27 年 3 月	イコーラムフェスタ 2014、イコーラムのこれからの予定

(3) 情報紙「イコーラム情報資料室 図書つうしん」発行

- ①発行回数 年 6 回
- ②発行部数 200 部
- ③内容等

No.	発行月	内容	No.	発行月	内容
NO. 13	平成 26 年 4 月	新着図書	NO. 16	平成 26 年 10 月	新着図書
NO. 14	平成 26 年 6 月	平成 25 年度ベスト貸出	NO. 17	平成 26 年 12 月	新着図書
NO. 15	平成 26 年 8 月	新着図書	NO. 18	平成 27 年 2 月	新着図書

6 東大阪市受託事業

登録団体支援

【事業概要】

- (1) 目 的 東大阪市内で活動する団体で、男女共同参画社会の形成の促進を図ることを目的の一つとして掲げている団体に対し、その活動の推進を図るための支援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 支援の内容

ホール、ギャラリーは使用日の7ヶ月前の属する月の1日から、研修室、学習室は使用日の4ヶ月前の属する月の1日から申込みを受付けた。

(2) 登録団体の名称及び活動内容

	登 録 名	活 動 内 容
1	ココロほぐしの種まきサークル	墨遊びや筆遊びを通じ自分を見つめるなど、女性がエンパワメントするための生涯学習を行い、男女共同参画社会の推進をめざしている。
2	手話教室 おててくらぶ	聴覚障がい者とのコミュニケーションや会話ができるように、テキストを中心に日常会話などの手話の勉強をし、習得した手話を用いて男女共同参画社会の実現に向けた地域社会での社会貢献をめざしている。
3	H o b b y R o o m 縁 (ホビールーム エニシ)	絵画などを学びながら、男女共同参画社会への関心を深め、多様な生き方の気づきを得ることをめざしている。
4	N P O 法人 東大阪日本語教室	男女共同参画の視点を持ちながら、東大阪市周辺に住んでいる外国人と市民が日本語学習の場を通じて支援を行い、また交流を深めている。
5	ふれあいおもちゃリサイクルの会	おもちゃの再利用や無料修理などを通じて、物を大切にする心を育み地域における子育て支援を行うことにより、男女共同参画社会の実現をめざしている。
6	社会資源開発研究会	高齢者、障がい者（児）への自立支援と介護の社会的支援に関わることで介護の社会化の促進と家庭、地域における男女共同参画の促進の実現を基本に活動している。
7	マカロン	男女共同参画の視点に立って、ジェンダーにとらわれない子育てをテーマに、子育てを通じて自身のジェンダー意識を問い直す活動を行っている。
8	《 I 愛 YOU 》 (アイ アイ ユー)	My新聞づくりを通して、生き活きとした男女共同参画社会をつくるための活動を行っている。
9	N P O 法人 東大阪エイフボランティアネットワーク	健康で明るく住みよい地域社会の実現をめざして、女性の組織力を結集して地域の連帯を高めると共に、種々の広報活動、講演会を行い、女性の人権に対する理解を深め、地域社会の福祉の増進を図るなど広く公益に貢献している。
10	E I C (イーアイシー)	パソコンの技術習得と講師としての資質を高めるよう研鑽し、男女共同参画社会の推進に向けて活かしていく。

11	チャイルドラインひがしおおさか	「チャイルドライン」等の活動を通して、「子どもの権利」擁護活動と啓発活動を行うことにより、男女共同参画社会を推進している。
12	東大阪地区更生保護女性会	犯罪や非行のない明るい社会をめざし、立ち直り支援等の活動、また、子育て支援にかかわる地域活動を行い、次世代の健全育成に努め、男女共同参画社会の推進をめざしている。
13	くれよん	未就学児の子ども、親子を対象に子育て支援活動を行い、男女共同参画社会の実現をめざしている。
14	NPO法人 シスターフッド 大阪	DVなど暴力被害女性の支援活動を中心に男女平等、女性の自立など幅広い活動を行っている。
15	希来里PCクラブ	パソコンの技術習得を図る活動を通して得た情報や人とのつながりを、よりよい男女共同参画社会の推進に向けて活かしている。
16	大阪コリアン音楽交流会	音楽を通じ男女共に活動することで、地域の文化交流の活動を行い、人権の尊重を学ぶネットワークづくりを推進している。
17	カラフル	男女共同参画社会をめざし、子育てや家族のことなど、女性ならではの悩みや日々感じることを分かち合い、エンパワメントする場として活動を行っている。
18	ボランティアサークル老大東部フレンド	高齢者のための福祉を目的とした活動を中心に、男女共同参画推進のため男性の意識改革を中心に進めている。
19	親子のホッとスペース ひまわり	男女共同参画社会を実現するため、子どもも親もありのままの自分を受け入れ、自己成長できる社会の実現をめざし、活動を行っている。
20	ちづさん絵手紙 in イコーラム	毎月2回、絵手紙を学びながら、この教室が男女共に対等な社会参加の実現に向けて集えるような場となることをめざしている。
21	絵本ファシリテーターグループ ココミル	みんなで一緒に楽しく対話しながら物語を読み深めていく参加型の読み聞かせを行う「絵本ファシリテーター」の活動を通して、子育て支援及び家庭や地域での男女共同参画を推進している。

7 東大阪市受託事業

イコーラム相談事業

【事業概要】

(1) 目 的 イコーラムでは男女共同参画社会をめざして、ドメスティック・バイオレンス（夫、恋人からの暴力）をはじめ女性が抱えるさまざまな問題について女性による女性のための相談窓口を設置。

また、男性が抱えるさまざまな悩みについて男性が応じる男性のための相談窓口も設置。

(2) 相談窓口（相談はすべて無料、秘密厳守）

〈女性のための相談〉

①電話相談 匿名で相談ができる。女性相談員と一緒に考えサポートする。

火曜日～日曜日 10：00～17：00

T E L 072-960-9206

②面接相談 要予約 火曜日～日曜日 10：00～17：00

T E L 072-960-9205

心理面接相談 専門の女性相談員が自立へのサポートを行う。

火、木、土曜日 10：00～12：00 13：00～16：00

第4火曜日 10：00～12：00 13：00～16：00

18：00～20：00（第5週の相談はなし）

1人1回 50分

法律相談 法律上の問題に関して女性弁護士が相談を受ける。

毎月 原則第1水曜日 13：00～16：00

1人1回 30分（予約は相談日の2週間前から受付）

労働相談 労働の問題に関して女性の社会保険労務士が相談を受ける。

毎月 原則第2土曜日 13：30～16：20

1人1回 50分

多言語相談 日常生活の慣習、労働、人間関係などについて女性相談員が外国語（英語／中国語／韓国、朝鮮語）の女性通訳をつけて相談に応じる。

（※日本語が話せない方の予約受付は火曜日～金曜日 10：00～17：00

T E L 06-4309-3311 国際情報プラザ（市役所内）

火曜日～日曜日 10：00～17：00

1日1人 最長3時間まで

※面接相談については一時保育（1歳6ヶ月～就学前幼児）が利用できる。（有料）

〈男性のための相談〉

①電話相談 匿名で相談ができる。男性相談員と一緒に考えサポートする。

毎月第1土曜日 13：00～17：00

第3水曜日 19：00～21：00

T E L 072-966-5002

【事業内容・実績】

〈女性のための相談〉

（１）相談業務の実績

平成 26 年度（４月～翌３月）の相談総件数は 2,227 件（電話相談 1,586 件、面接相談 641 件）

〈月別電話相談件数〉

（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	124	123	103	106	135	137	130	132	158	136	129	173	1,586
平成 25 年度	95	77	109	123	125	130	118	135	92	91	121	95	1,311

〈月別面接相談件数〉（面接相談：心理面接相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	56	61	53	48	53	51	54	55	52	42	59	57	641
平成 25 年度	52	55	62	58	62	48	49	57	46	43	55	52	639

①相談窓口別集計

相談窓口別	平成 26 年度(件)	%
電話相談	1,586	71.2
心理面接相談	564	25.3
法律相談	69	3.1
労働相談	7	0.3
多言語相談	1	0.1
合計	2,227	100

②主訴別集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	平成 26 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
生き方	106	6.7	63	9.8	169	7.6
こころ	637	40.2	56	8.7	693	31.1
からだ	15	0.9	9	1.4	24	1.1
仕事上の問題	55	3.5	29	4.5	84	3.8
夫婦関係	198	12.5	189	29.5	387	17.4
親子関係	177	11.2	137	21.4	314	14.1
人間関係	148	9.3	68	10.6	216	9.7
性、性的被害	5	0.3	5	0.8	10	0.4
暮らし	56	3.5	11	1.7	67	3.0
法律	12	0.8	74	11.6	86	3.9
その他	177	11.1	0	0.0	177	7.9
計	1,586	100.0	641	100.0	2,227	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	平成 26 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
性格、生活上の不和、不満	27	13.6	85	45.0	112	28.9
別居、離婚	59	29.8	21	11.1	80	20.7
性的問題	1	0.5	0	0.0	1	0.3
暴力	88	44.5	68	36.0	156	40.3
家出、蒸発	0	0.0	3	1.6	3	0.8
婚外関係	2	1.0	3	1.6	5	1.3
経済的不安、金銭問題	15	7.6	7	3.7	22	5.7
その他	6	3.0	2	1.0	8	2.0
計	198	100.0	189	100.0	387	100.0

④相談者年代別集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	平成 26 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
10 代以下	3	0.2	12	1.9
20 代	24	1.5	31	4.8
30 代	245	15.5	98	15.3
40 代	281	17.7	203	31.7
50 代	117	7.4	177	27.6
60 代	165	10.4	103	16.1
70 代以上	71	4.5	17	2.7
不明	680	42.9	0	0.0
計	1,586	100.0	641	100.0

⑤相談における対応別集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	平成 26 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
継続	0	0.0	523	81.59
傾聴	1,282	80.83	11	1.72
助言	141	8.89	83	12.95
機関紹介	163	10.28	24	3.74
合計	1,586	100.0	641	100.0

(2) DV相談の実績

〈年間相談件数〉

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,586	564	69	7	1	2,227
うちDV相談（件）	170	230	27	0	1	428
DVの占める割合（%）	10.7	40.8	39.1	0.0	100.0	19.2

〈月別相談件数〉

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	16	23	3	0	0	42
5月	10	18	3	0	0	31
6月	13	19	2	0	1	35
7月	17	19	0	0	0	36
8月	18	20	1	0	0	39
9月	17	19	1	0	0	37
10月	16	18	1	0	0	35
11月	21	18	9	0	0	48
12月	8	18	3	0	0	29
1月	14	13	1	0	0	28
2月	7	21	1	0	0	29
3月	13	24	2	0	0	39
計	170	230	27	0	1	428

①DV加害者の内訳

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	157	188	26	0	1	372
内夫	5	1	0	0	0	6
元夫	8	41	1	0	0	50
恋人	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	170	230	27	0	1	428

②DV被害者の年齢

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	0	0	0	0	0	0
20代	9	0	0	0	0	9
30代	17	31	5	0	0	53
40代	53	90	12	0	0	155
50代	29	55	7	0	1	92
60代	21	45	2	0	0	68
70代以上	9	8	1	0	0	18
不明	32	1	0	0	0	33
計	170	230	27	0	1	428

③DVの種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	27	5	3	0	0	35
精神的	120	209	17	0	1	347
性的	5	7	1	0	0	13
経済的	18	9	6	0	0	33
社会的	0	0	0	0	0	0
計	170	230	27	0	1	428

④DV相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	8	12	4	0	0	24
市政だより	39	2	14	0	0	55
福祉事務所	2	1	0	0	0	3
保健センター	1	2	1	0	0	4
知人友人	2	3	4	0	0	9
電話相談	0	3	3	0	0	6
大阪府女性相談センター	1	1	0	0	0	2
警察	1	0	0	0	0	1
他機関	9	4	0	0	1	14
その他	6	1	1	0	0	8
不明	27	8	0	0	0	35
再相談	74	193	0	0	0	267
計	170	230	27	0	1	428

⑤DV相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	204	0	0	0	204
傾聴、助言	121	11	26	0	0	158
機関紹介	49	15	1	0	1	66
法律	5	0	0	0	0	5
福祉事務所	3	4	0	0	1	8
保健センター	1	1	0	0	0	2
家庭裁判所	3	2	1	0	0	6
警察	2	0	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
東大阪子ども家庭センター	2	0	0	0	0	2
イコラーム心理面接	15	0	0	0	0	15
イコラーム法律	9	8	0	0	0	17
イコラーム労働	0	0	0	0	0	0
イコラーム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	9	0	0	0	0	9
計	170	230	27	0	1	428

(3) 暴力相談の実績

〈年間相談件数〉

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,586	564	69	7	1	2,227
うち暴力相談（件）	59	57	3	0	0	119
暴力の占める割合（％）	3.7	10.61	4.3	0.0	0.0	5.3

〈月別相談件数〉

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	6	1	0	0	0	7
5月	1	5	0	0	0	6
6月	4	6	0	0	0	10
7月	10	4	0	0	0	14
8月	10	6	2	0	0	18
9月	3	5	0	0	0	8
10月	3	4	0	0	0	7
11月	4	2	0	0	0	6
12月	2	8	0	0	0	10
1月	4	5	0	0	0	9
2月	8	6	0	0	0	14
3月	4	5	1	0	0	10
計	59	57	3	0	0	119

①暴力加害者の内訳

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	0	0	0	0	0	0
内夫	0	0	0	0	0	0
元夫	0	0	0	0	0	0
恋人	22	6	0	0	0	28
その他	37	51	3	0	0	91
計	59	57	3	0	0	119

②暴力被害者の年齢

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	4	6	1	0	0	11
20代	6	4	0	0	0	10
30代	8	4	1	0	0	13
40代	15	15	1	0	0	31
50代	10	19	0	0	0	29
60代	2	9	0	0	0	11
70代以上	0	0	0	0	0	0
不明	14	0	0	0	0	14
計	59	57	3	0	0	119

③暴力の種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	11	3	0	0	0	14
精神的	41	46	2	0	0	89
性的	5	8	1	0	0	14
経済的	1	0	0	0	0	1
社会的	1	0	0	0	0	1
計	59	57	3	0	0	119

④暴力相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	1	0	0	0	0	1
市政だより	12	1	0	0	0	13
福祉事務所	0	1	0	0	0	1
保健センター	0	0	0	0	0	0
知人友人	1	2	0	0	0	3
電話相談	0	1	3	0	0	4
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
警察	0	0	0	0	0	0
他機関	5	1	0	0	0	6
その他	1	1	0	0	0	2
不明	12	0	0	0	0	12
再相談	27	50	0	0	0	77
計	59	57	3	0	0	119

⑤暴力相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	53	0	0	0	53
傾聴、助言	46	4	3	0	0	53
機関紹介	13	0	0	0	0	13
法律	0	0	0	0	0	0
福祉事務所	1	0	0	0	0	1
保健センター	0	0	0	0	0	0
家庭裁判所	0	0	0	0	0	0
警察	2	0	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
東大阪子ども家庭センター	0	0	0	0	0	0
イコラーム心理面接	2	0	0	0	0	2
イコラーム法律	3	0	0	0	0	3
イコラーム労働	1	0	0	0	0	1
イコラーム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	0	0	4
計	59	57	3	0	0	119

〈男性のための相談〉

（１）相談業務の実績

平成 26 年度（４月～翌３月）の相談総件数は 18 件（電話相談）

〈月別相談件数〉

（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	1	1	3	1	2	3	0	2	1	1	1	2	18

①相談窓口別集計（単位：件）

相談窓口別	平成 26 年度
男性電話相談	18

②主訴別集計

	平成 26 年度	
	電話相談	
	件数	%
生き方	1	5.6
こころ	0	0.0
からだ	1	5.6
仕事上の問題	2	11.1
夫婦関係	7	38.9
親子関係	3	16.6
人間関係	0	0.0
性、性的被害	3	16.6
暮らし	0	0.0
法律	1	5.6
その他	0	0.0
合計	18	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計

	平成 26 年度	
	電話相談	
	件数	%
性格、生活上の不和、不満	3	42.9
別居、離婚	4	57.1
性的問題	0	0.0
暴力	0	0.0
家出、蒸発	0	0.0
婚外関係	0	0.0
経済的不安、金銭問題	0	0.0
その他	0	0.0
合計	7	100.0

④相談者年代別集計

	平成 26 年度	
	電話相談	
	件数	%
10 代以下	1	5.6
20 代	1	5.6
30 代	6	33.3
40 代	2	11.1
50 代	0	0.0
60 代	5	27.8
70 代以上	3	16.7
不明	0	0.0
合計	18	100.0

⑤相談における対応別集計

	平成 26 年度	
	電話相談	
	件数	%
傾聴	9	50.0
助言	7	38.9
機関紹介	2	11.1
合計	18	100.0

(2) DV相談の実績

〈年間相談件数〉

	電話
総相談件数	18
うちDV相談（件）	4
DVの占める割合（%）	22.2

〈月別相談件数〉（単位：件）

	電話
4月	1
5月	0
6月	0
7月	1
8月	1
9月	1
10月	0
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	0
合計	4

①DV加害者の内訳（単位：件）

	電話
妻	0
内妻	0
元妻	0
恋人	0
その他（本人）	4
合計	4

②DV被害者の年齢（単位：件）

	電話
10代以下	0
20代	0
30代	0
40代	2
50代	0
60代	2
70代以上	0
不明	0
合計	4

③DVの種類（単位：件）

	電話
身体的	2
精神的	2
性的	0
経済的	0
社会的	0
合計	4

④DV相談経路（単位：件）

	電話
センター広報	0
市政だより	3
福祉事務所	1
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	0
その他	0
不明	0
再相談	0
合計	4

⑤DV相談対応状況（単位：件）

	電話
傾聴	1
助言	3
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
合計	4

(3) 暴力相談の実績

〈年間相談件数〉

	電話
総相談件数	18
うち暴力相談（件）	0
暴力の占める割合（％）	0

〈月別相談件数〉（単位：件）

	電話
4 月	0
5 月	0
6 月	0
7 月	0
8 月	0
9 月	0
10 月	0
11 月	0
12 月	0
1 月	0
2 月	0
3 月	0
合計	0

①暴力加害者の内訳（単位：件）

	電話
妻	0
内妻	0
元妻	0
恋人	0
その他（本人）	0
合計	0

②暴力被害者の年齢（単位：件）

	電話
10 代以下	0
20 代	0
30 代	0
40 代	0
50 代	0
60 代	0
70 代以上	0
不明	0
合計	0

③暴力の種類（単位：件）

	電話
身体的	0
精神的	0
性的	0
経済的	0
社会的	0
合計	0

④暴力相談経路（単位：件）

	電話
センター広報	0
市政だより	0
福祉事務所	0
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	0
その他	0
不明	0
再相談	0
合計	0

⑤暴力相談対応状況（単位：件）

	電話
傾聴	0
助言	0
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
合計	0

§ 6 平成26年度 事業実施一覧

公益目的事業

	事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	相談員育成事業		1 相談担当者のためのグループ・スーパービジョン	シリーズ2回	ドーンセンター								5, 18, 26		15, 29	5	
2	相談事業		2 DV被害・性暴力被害に悩む女性のための法律相談	12回	ドーンセンター	17	15	19	17	21	18	16	20	18	15	19	19
			3 DV被害者のためのサポート・グループ	12回	ドーンセンター	19	10	14	19	9	13	11	22	20	17	14	14

一般事業

	事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	大阪府男女共同参画推進事業	大阪府（府民文化部）受託事業	1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業（ドーンセンター情報ライブラリーの運営）	火～土	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			2 女性の抱える問題に関する相談事業（カウンセリングルーム運営/相談員会議/大阪府内ブロック会議/相談員のための研修会/カウンセラー研修）	火～日	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業（市町村行政職員研修/学校教職員研修/企業向け啓発講座/男性講座/府民向け啓発講座/地域防犯に係る研修プログラム/相談事業に係わる担当者向け研修）	8講座	ドーンセンター		29	12		19	5, 24	1	26	11		20	7
			4 女性就労支援事業	1回	ドーンセンター											7	
2	女性の能力開発・ネットワーク事業	在日米国商工会議所（A C C J）関西支部助成事業、はなみずき基金事業	1 はなみずき会	4回	ドーンセンター		24				27		22			28	
			2 はなみずき塾：メンタルヘルス編、自己表現ワークショップ編	5コマ×2回	ドーンセンター			7	5	2	6	4	1	6	10	7	7
			3 シングлмаザーのためのはなみずきセミナー	4コマ	ドーンセンター			14		9		11		13		14	
		自主事業	4 はなみずきツアー「歌舞伎鑑賞」	1回	外部								9				
		大阪府（商工労働部）受託事業	5 母子家庭の母等の特性に応じた職業訓練	2ヶ月×3コース	ドーンセンター	6/3～8/1、12/2～1/30、2/3～3/31											
		自主事業	6 ドーン財団発ダイバーシティ経営塾	2回	ドーンセンター											3, 10	
		内閣府交付金事業	7 地域女性活躍加速化交付金に係る事業	3回 他	ドーンセンター					○	○	○	○	○	15, 27	7	○
3	文化表現事業	はなみずき基金事業	1 女性芸術劇場20周年記念事業「姉妹たちよ」（共催）	1回	ドーンセンター								15, 16				
4	国際交流事業	自主事業	1 はなみずきスタディツアー（海外）「カナダのNGOに学ぶ」	7日間	外部						1～7						
5	女性の健康支援事業	大阪府（健康医療部）受託事業	1 大阪府不妊専門相談センター事業（電話相談／サポート・グループ／セミナー／専用HP運営 他）	電話週1回 3グループ 他	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	次世代育成事業	自主事業	1 夏期インターンシップ・プログラムの実施	2週間程度	ドーンセンター					8/20～9/12 8/19～9/18							
		自主事業	2 研修・実習・職場体験等の受入れ（大阪府立学校初任者研修/宝塚大学看護学部実習/同志社大学司書課程実習の受入れ）	随時	ドーンセンター				29～30	2				12/2～13			
		近畿大学受託事業	3 近畿大学キャリアサポートセミナー	6コマ	イコラム		12	9	7			20	10	1			
7	販売事業	自主事業	1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	3 オリジナルDVD&ビデオ、ハンドブック等の販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	4 20周年記念財団グッズの販売	3回	ドーンセンター							25	15, 16				
8	講師派遣・アウトリーチ	自主事業	1 講師派遣・委員等応援・大学の講義受託	随時	外部	16		26	3, 8, 24	20	17, 20, 26	20, 27, 30, 31	6, 19, 27, 28			12, 13	24, 30
		三重県伊賀市受託事業	2 三重県伊賀市クローバーカレッジⅣ「女性リーダー養成連続講座」	8コマ	外部					1	5	3	7, 28	12	10	6	
		泉大津市市民向け講座	3 泉大津市男女共同参画セミナー「にんじんカレッジ」	5コマ	外部			20	1, 15, 23, 30								

9	NPO・市民活動支援事業 (共催事業)	「わたしの政経塾」企画委員会	1	わたしの政経塾Ⅴ	12回	ドーンセンター	19	17	21	19	23	20	25	15	13	17	21	21
		～つながりを紡ぐ～イスキアモリのこぼこ	2	避難ママのピアサポートグループ	10回	ドーンセンター			14	5	9	6	4	8	13	10	14	14
		認定NPO法人大阪NPOセンター	3	発達凸凹理解促進セミナー	1回	ドーンセンター					30							
		ウイメンズセンター大阪	4	もっと知りたい！女（わたし）のカラダin大阪	1回	ドーンセンター									13			
		いくの学園	5	親密な関係の暴力を考える	2回	ドーンセンター										10, 11		
		特定非営利活動法人こころネットKANSAI	6	セクシュアル・マイノリティ支援を考えるための基礎講座	1回	ドーンセンター											7	
		ドーン運営共同体	7	リラクゼーション・ボディワーク	12回	ドーンセンター										24, 30	6, 17, 20, 21	3, 6, 10, 17, 20, 28
		一般財団法人大阪労働協会	8	わたしらしく働くためのパソコン講座	14回	外部										26～30	2～4, 5, 6, 9, 10, 12, 13	
		南船北馬	9	南船北馬公演「わがまま」	3回	ドーンセンター												6～8
		高齢社会をよくする女性の会・大阪	10	「何を怖れる」映画上映会	1回	ドーンセンター												14
10	女性に対する暴力対策事業	内閣府受託事業	1	女性に対する暴力被害者支援のための 官官・官民連携促進ワークショップ事業運営業務	5地域 他	ドーンセンター他					7～8, 28～29		9～10, 16～17, 23～24					
		内閣府受託事業	2	性犯罪被害者支援体制整備促進事業	3地域 他	ドーンセンター他										22, 23, 29, 30	25, 26	
		内閣府受託事業	3	若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業	3地域 他	ドーンセンター他								14, 20	4			
11	東日本大震災被災者支援事業	内閣府受託事業	1	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業	通年	東北3県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	2	東北女性の手仕事物産展・物産品の販売	2日間 他	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	15, 16	○	○	○	○
12	ドーンセンター指定管理事業	大阪府（府民文化部）受託事業	1	指定管理事業	通年		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	2	一時保育事業	木曜		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	3	ドーンセンター20周年事業	2日間									15, 16				
13	東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	東大阪市受託事業	1	施設管理業務	通年	イコラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		東大阪市受託事業	2	東大阪市主催事業 （各種講座／イコラムフェスタ／出張講座／情報／相談事業他）	通年	イコラム 外部	24		8, 19, 26, 28	5, 12, 19, 26	2, 24	19, 20, 26	2, 3, 4, 9, 16, 23	6, 9, 14, 16, 23, 30	7, 14, 20, 26	16, 17, 18, 22, 25, 31	1, 8, 21, 22	1, 8, 15, 20
		自主事業	3	自主事業 （各種講座）	通年	イコラム		18										6, 13, 20

法人運営

	事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	財団の運営		1 理事会	第10～14回	ドーンセンター		30	18			25					18	13
			2 評議員会	第7～8回	ドーンセンター			18									25
			3 プロジェクト2014	随時	ドーンセンター他												
			4 職員研修の実施	理論：2回 実務：3回	ドーンセンター他		23	12, 19, 28			1～7, 29	1, 11, 15～18, 21～22	9	11			
2	広報・PR		1 ホームページの運営 （財団ブログ／SNS「Twitter」含む）	通年	財団HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			2 ニュースレター『DAWN通信』の発行	年2回	ドーンセンター			○					○				
			3 事業報告書の発行		ドーンセンター					○							
			4 財団20周年記念事業		ドーンセンター							25					
			5 財団20周年記念誌刊行		ドーンセンター						○						
			6 ファンドレイジング事務局運営・賛助会員事務局運営	通年	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			7 視察の受入れ	随時	ドーンセンター				2, 25, 29	2				12			

§ 7 平成26年度 決算

貸借対照表

会計区分 全体

平成27年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	512,346	527,205	△14,859
普通預金	7,104,218	4,011,097	3,093,121
郵便振替	877,823	381,417	496,406
未収金	62,915,756	67,835,481	△4,919,725
前払金	651,812	927,467	△275,655
仮払金	0	149,575	△149,575
立替金	4,727,142	7,953,443	△3,226,301
流動資産合計	76,789,097	81,785,685	△4,996,588
2. 固定資産			
(1) 基本財産	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産	12,331,430	10,320,180	2,011,250
(3) その他の固定資産	0	953,505	△953,505
固定資産合計	112,331,430	111,273,685	1,057,745
資産合計	189,120,527	193,059,370	△3,938,843
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,080,625	11,684,207	3,396,418
前受金	782,216	581,000	201,216
預り金	6,408,082	2,332,743	4,075,339
リース債務	0	953,505	△953,505
流動負債合計	22,270,923	15,551,455	6,719,468
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,335,886	3,644,688	1,691,198
固定負債合計	5,335,886	3,644,688	1,691,198
負債合計	27,606,809	19,196,143	8,410,666
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	100,000,000	100,000,000	0
大阪府寄附金	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	61,513,718	73,863,227	△12,349,509
(うち特定資産への充当額)	(12,331,430)	(10,320,180)	(2,011,250)
正味財産合計	161,513,718	173,863,227	△12,349,509
負債及び正味財産合計	189,120,527	193,059,370	△3,938,843

正味財産増減計算書

会計区分 全体

事業区分 全体

平成26年04月01日 から 平成27年03月31日 まで (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	800,000	800,000	0
基本財産運用益	800,000	800,000	0
受取会費	716,000	690,000	26,000
受取会費	716,000	690,000	26,000
事業収益	5,889,479	7,215,583	△1,326,104
事業収益	5,889,479	7,215,583	△1,326,104
受託金収益	167,255,707	166,802,217	453,490
受託金収益	167,255,707	166,802,217	453,490
受取助成金	300,000	950,000	△650,000
受取助成金	300,000	950,000	△650,000
受取交付金	4,196,553	0	4,196,553
受取交付金	4,196,553	0	4,196,553
負担金収益	32,400,000	30,000,000	2,400,000
負担金収益	32,400,000	30,000,000	2,400,000
受取寄附金	276,000	16,745	259,255
受取寄附金	276,000	16,745	259,255
雑収益	8,293	271,997	△263,704
雑収益	5,991	244,642	△238,651
受取利息	2,302	27,355	△25,053
受取分配金	0	1,629,604	△1,629,604
受取分配金	0	1,629,604	△1,629,604
経常収益計	211,842,032	208,376,146	3,465,886
(2) 経常費用			
事業費	198,642,029	191,890,375	6,751,654
役員報酬	5,964,081	0	5,964,081
給料	57,617,412	60,907,159	△3,289,747
職員手当	12,712,551	16,620,394	△3,907,843
通勤手当	5,611,139	0	5,611,139
福利厚生費	13,301,000	12,725,125	575,875
賃金	19,361,833	17,103,867	2,257,966
報償費	7,103,206	6,513,811	589,395
旅費	4,689,305	4,356,378	332,927
通信運搬費	3,521,664	2,670,842	850,822
消耗什器備品費	1,521,379	1,459,416	61,963
消耗品費	5,650,788	8,242,617	△2,591,829
修繕費	717,683	535,900	181,783
光熱水料費	7,097,091	5,999,221	1,097,870
使用料・賃借料	3,267,144	4,744,320	△1,477,176
交際費	151,567	48,153	103,414

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	487,082	440,790	46,292
委託料	41,006,687	43,711,032	△2,704,345
支払負担金・補助金	765,046	171,800	593,246
広告宣伝費	81,000	78,750	2,250
租税公課	8,002,909	5,560,800	2,442,109
雑費	11,462	0	11,462
管理費	25,479,512	23,616,298	1,863,214
役員報酬	275,919	4,729,100	△4,453,181
給料	2,665,582	1,625,859	1,039,723
職員手当	588,127	443,665	144,462
通勤手当	259,591	0	259,591
福利厚生費	615,351	339,685	275,666
賃金	530,556	272,196	258,360
退職給付費用	1,968,073	2,229,438	△261,365
報償費	231,363	164,548	66,815
旅費	266,310	348,450	△82,140
通信運搬費	865,799	752,830	112,969
減価償却費	953,505	1,271,340	△317,835
消耗品費	1,457,649	1,322,234	135,415
使用料・賃借料	6,632,254	3,468,007	3,164,247
交際費	38,079	28,263	9,816
保険料	164,550	122,250	42,300
委託料	6,185,525	5,677,004	508,521
支払負担金・補助金	663,416	90,040	573,376
租税公課	582,220	251,765	330,455
雑費	535,643	479,624	56,019
経常費用計	224,121,541	215,506,673	8,614,868
当期経常増減額	△12,279,509	△7,130,527	△5,148,982
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△12,279,509	△7,130,527	△5,148,982
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△12,349,509	△7,200,527	△5,148,982
一般正味財産期首残高	73,863,227	81,063,754	△7,200,527
一般正味財産期末残高	61,513,718	73,863,227	△12,349,509
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	161,513,718	173,863,227	△12,349,509

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券については、移動平均法による原価法を採用している。

② 固定資産の減価償却について

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存期間を零とする定額法によっている。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。

④ 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,644,688	1,968,073	276,875	5,335,886
施設運営積立預金	3,354,293	1,630,320	0	4,984,613
はなみずき基金預金	3,321,199	529	1,310,797	2,010,931
小計	10,320,180	3,598,922	1,587,672	12,331,430
合計	110,320,180	3,598,922	1,587,672	112,331,430

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	100,000,000	100,000,000	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
施設運営積立預金	4,984,613	0	4,984,613	0
はなみずき基金預金	2,010,931	0	2,010,931	0
退職給付引当資産	5,335,886	0	0	5,335,886
小計	12,331,430	0	6,995,544	5,335,886
合計	112,331,430	100,000,000	6,995,544	5,335,886

4 担保に供している資産

該当なし

5 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,356,700	6,356,700	0
合 計	6,356,700	6,356,700	0

6 保証債務等の偶発債務

該当なし

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
利付国債	100,000,000	104,300,000	4,300,000
合 計	100,000,000	104,300,000	4,300,000

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
ACCJ関西「働く女性の環境改善」助成金	在日米国商工会議所	0	300,000	300,000	0	-
地域女性活躍加速化交付金	内閣府男女共同参画局	0	4,196,553	4,196,553	0	-
合 計		0	4,496,553	4,496,553	0	

9 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

10 関連当事者との取引の内容

該当なし

11 リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

ネットワークシステム一式

12 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	5,335,886
退職給付引当金	5,335,886

③ 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	1,968,073
退職給付費用	1,968,073

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

規程に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,644,688	1,968,073	276,875	0	5,335,886

収支計算書

会計区分 全体

事業区分 全体

平成26年04月01日 から 平成27年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入				
基本財産運用収入	800,000	800,000	0	
2 会費収入				
会費収入	700,000	716,000	△16,000	
3 事業収入				
事業収入	8,845,000	5,889,479	2,955,521	
4 受託金収入				
受託金収入	172,585,000	167,255,707	5,329,293	
5 助成金収入				
助成金収入	300,000	300,000	0	
6 交付金収入				
交付金収入	4,972,000	4,196,553	775,447	
7 負担金収入				
負担金収入	32,400,000	32,400,000	0	
8 寄附金収入				
寄付金収入	100,000	276,000	△176,000	
9 雑収入				
受取利息	20,000	2,302	17,698	
雑収入	20,000	5,991	14,009	
事業活動収入計	220,742,000	211,842,032	8,899,968	
2 事業活動支出				
1 事業費支出				
役員報酬支出	0	5,964,081	△5,964,081	
給料支出	0	57,617,412	△57,617,412	
職員手当支出	0	12,712,551	△12,712,551	
通勤手当支出	0	5,611,139	△5,611,139	
福利厚生費支出	0	13,301,000	△13,301,000	
賃金支出	8,160,000	19,361,833	△11,201,833	
報償費支出	9,248,000	7,103,206	2,144,794	
旅費支出	5,605,000	4,689,305	915,695	
通信運搬費支出	4,302,000	3,521,664	780,336	
消耗什器備品費支出	1,530,000	1,521,379	8,621	
消耗品費支出	8,124,000	5,650,788	2,473,212	
修繕費支出	720,000	717,683	2,317	
光熱水料費支出	7,250,000	7,097,091	152,909	
使用料・賃借料支出	4,517,000	3,267,144	1,249,856	
交際費支出	340,000	151,567	188,433	

保険料支出	520,000	487,082	32,918	
委託料支出	44,220,000	41,006,687	3,213,313	
負担金・補助金支出	1,250,000	765,046	484,954	
広告宣伝費支出	330,000	81,000	249,000	
租税公課費支出	50,000	8,002,909	△7,952,909	
雑支出	13,000	11,462	1,538	
2 管理費支出				
役員報酬支出	6,530,000	275,919	6,254,081	
給料支出	60,350,000	2,665,582	57,684,418	
職員手当支出	13,600,000	588,127	13,011,873	
通勤手当支出	5,900,000	259,591	5,640,409	
福利厚生費支出	14,150,000	615,351	13,534,649	
賃金支出	12,300,000	530,556	11,769,444	
退職給付支出	280,000	276,875	3,125	
報償費支出	240,000	231,363	8,637	
旅費支出	650,000	266,310	383,690	
通信運搬費支出	1,010,000	865,799	144,201	
消耗品費支出	1,700,000	1,457,649	242,351	
修繕費支出	20,000	0	20,000	
光熱水料費支出	5,000	0	5,000	
使用料・賃借料支出	6,650,000	6,632,254	17,746	
交際費支出	60,000	38,079	21,921	
保険料支出	165,000	164,550	450	
委託料支出	7,700,000	6,185,525	1,514,475	
負担金・補助金支出	725,000	663,416	61,584	
リース債務支出	955,000	953,505	1,495	
租税公課支出	8,700,000	652,220	8,047,780	
雑支出	570,000	535,643	34,357	
事業活動支出計	238,439,000	222,500,343	15,938,657	
事業活動収支差額	△17,697,000	△10,658,311	△7,038,689	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
1 特定預金取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入	0	276,875	△276,875	
はなみずき基金預金取崩収入				
はなみずき基金預金取崩収入	3,320,000	1,310,797	2,009,203	
投資活動収入計	3,320,000	1,587,672	1,732,328	
2 投資活動支出				
1 特定預金支出				
退職給付引当資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	1,968,073	△1,968,073	
施設運営積立預金支出				
施設運営積立預金支出	0	1,630,320	△1,630,320	

はなみずき基金預金支出				
はなみずき基金預金支出	0	529	△529	
投資活動支出計	0	3,598,922	△3,598,922	
投資活動収支差額	3,320,000	△2,011,250	5,331,250	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△14,377,000	△12,669,561	△1,707,439	
前期繰越収支差額	73,863,000	67,187,735	6,675,265	
次期繰越収支差額	59,486,000	54,518,174	4,967,826	

参 考 資 料

設立趣意書

1975年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の10年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第1期、第2期行動計画に続き、平成3年9月には第3期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとらわれることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係る新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を発揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンター（大阪府立女性総合センター）の管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

平成6年4月1日

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団

（平成15年4月1日 財団法人大阪府男女共同参画推進財団に名称変更）

（平成22年4月1日 財団自立化）

（平成24年4月1日 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団に移行、設立）

定 款

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪市に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 男女共同参画社会の実現に資する情報収集・提供及び調査研究事業
- (2) 男女共同参画社会の実現に資する啓発学習事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の能力開発・ネットワーク事業
- (5) 女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- (6) 女性による文化表現活動支援事業
- (7) 女性の健康支援事業
- (8) 国際交流事業
- (9) 次世代育成事業
- (10) 女性関連施設における事業及び施設の管理運営に関する事業
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 上記事業の内、公益目的支出計画事業は大阪府において行うものとする。

第 3 章 資産及び会計

(基本財産)

第 5 条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 7 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに理事

長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間、備え置くものとする。

（事業報告及び決算）

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号の書類については、定時評議員に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類及び、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

（評議員の定数）

第9条 この法人に、評議員4名以上9名以内を置く。

（評議員の選任及び解任）

第10条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第173条から第199条の規定に従い、評議員会において行う。

- 2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件のいずれにも該当しない者とする。

- (1) 法人
- (2) 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同等に取り扱われている者
- (3) 一般法人若しくは会社法の規定に違反し、または民事再生法、外国倒産処理手続の援助に関する法律、会社更生法若しくは破産法に定める罪を犯し、刑を処せられ、その執行を終わり、またはその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- (4) 前項に規定する法律の規定以外の法令の規定に違反し、禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (5) 当該法人又はその子法人の理事、監事又は使用人

（評議員の任期）

第11条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

- 3 評議員は、第9条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後

も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第12条 評議員は無報酬とする。ただし、評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

2 前項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第13条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第14条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する費用の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第17条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員等に対する費用の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認

(5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第18条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第19条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項の評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 4名以上9名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、必要に応じて1名の常務理事を置くことができる。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、理事会の決議を持って、他の理事から同法第91条第1項第2号の業務執行理事に選定することができる。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 役員の資格は第10条第1項第2号を適用する。

4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

5 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に綿密な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務と権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款に定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、

常務理事は、この法人の業務を分担執行する。

- 3 理事長及び常務理事は、4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員の任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第27条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、理事長及び常務理事及び常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 その他の役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

(役員の責任の免除又は限定)

第28条 この法人は、理事及び監事の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

- 2 この法人は、外部役員との間で、前項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には賠償責任を限定する契約を、理事会の決議によって、締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第113条第1項で定める最低責任限度額とする。

第7章 理事会

（構成）

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- （1）この法人の業務執行の決定
- （2）理事の職務の執行の監督
- （3）理事長及び常務理事の選定及び解職

（開催）

第31条 理事会は、定時理事会として毎事業年度6月と3月に2回開催するほか、必要がある場合に臨時理事会を開催する。

（招集）

第32条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

（議長）

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長が欠けたとき、理事長に事故があるときは、理事の中から互選にて議長の職務を代行する者を選出する。

（決議）

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

（決議の省略）

第35条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、決議に加わることでできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

（報告の省略）

第36条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

（議事録）

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 事務局

（事務局の設置）

- 第38条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。
- 2 事務局には事務局長及び必要な職員を置く。
 - 3 職員は理事長が任免する。

第9章 定款の変更及び解散

（定款の変更）

- 第39条 この定款は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決を経て変更することができる。
- 2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第10条についても適用する。

（合併等）

- 第40条 この法人は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決により、他の一般法人法上の法人との合併又は事業の全部間は他一部を譲渡することができる。

（解散）

- 第41条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第202条に定める事由その他法令に定められた事由により解散する。

（残余財産の処分）

- 第42条 この法人が解散等により清算するときに有する残余財産は、評議員会の議決により、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条17号に掲げる法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。
- 2 この法人は、剰余金の分配を行わない。

第10章 公告の方法

（公告の方法）

- 第43条 この法人の公告は、電子公告により行う。

附 則 （施行日など）

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長は、時岡禎一郎とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

尼 川 洋 子

上 田 理恵子

高 田 昌 代

早 瀬 昇

松 尾 園 子

5 この定款は平成24年4月1日から施行する。

6 この定款は平成24年10月1日から施行する。

別表 資産

財産種別	場所物量等
有価証券 (基本財産)	利付国債（時価） 50,760,000
	大阪府債（時価） 50,685,000
	定期預金 55,000

一般財団大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ

平成6年度	4. 1	財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立 (理事長：谷川秀善 事務所：大阪府立婦人会館内)
	5. 11	第1回理事会開催
	6. 18	財団設立記念イベント（ウィメンズフォーラム）の開催
	6. 20	第2回理事会開催（理事長に吉沢健就任）
	7. 29	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）竣工
	8. 8	大阪府から財団へ施設引き継ぎ
	8. 29	財団事務所移転（ドーンセンター内）
	10. 27	第1回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 7	開館記念式典
	11. 11	オープニングイベント開催（～11. 13）
	11. 26	大阪国際女性フォーラム開催（～11. 27）
	2. 27	第2回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 17	第3回理事会開催
平成7年度	6. 29	第4回理事会開催
	7. 17	第3回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 10	ドーンフェスティバル（1周年事業）の開催（～11. 12）
	11. 30	第4回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 29	第5回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成8年度	3. 28	第5回理事会開催
	6. 21	第6回理事会開催
	7. 15	第6回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 8	ドーンフェスティバルの開催（～11. 10）
	12. 16	第7回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	ドーンセンター来館者100万人突破
	2. 24	第8回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第7回理事会開催
平成9年度	6. 24	第8回理事会開催
	7. 16	第9回ドーンセンター運営推進委員会開催
	7. 31	第9回理事会開催
	10. 21	第10回理事会開催（理事長に松廣屋慎二就任）
	10. 27	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 28	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 7	ドーンフェスティバルの開催（～11. 8）
	12. 26	第11回理事会開催
	2. 23	第10回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第12回理事会開催
平成10年度	4. 16	第13回理事会開催

	6.26	第14回理事会開催
	7.24	第11回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.6	ドーンフェスティバルの開催（～11.7）
	12.8	第12回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2.26	第13回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.18	第15回理事会開催
平成11年度	5.1	第16回理事会開催
	6.21	第17回理事会開催
	7.16	第14回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8.31	第18回理事会開催（理事長に木村良樹就任）
	10.4	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10.7	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11.11	ドーンフェスティバル（女性センターフォーラム）の開催（～11.11）
	2.24	第15回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.31	第19回理事会開催
平成12年度	4.23	平成12年「女性週間全国会議」開催（～4.24）
	5.2	第20回理事会開催
	6.26	第21回理事会開催
	7.3	第16回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8.31	第22回理事会開催（理事長に梶本徳彦就任）
	9.26	第23回理事会開催
	11.9	ドーンフェスティバル（男女共同参画フォーラム）の開催（～11.10）
	11.21	第17回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.1	第24回理事会開催
	2.17	ドーンフェスティバル（21世紀へ夢描くグループフェスタ2001）の開催
	2.26	第18回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.29	第25回理事会開催
平成13年度	5.7	第26回理事会開催
	5.24	第19回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6.29	第27回理事会開催
	8.17	第20回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.30	第21回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.8	第22回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.9	ドーンフェスティバル2002の開催
	3.28	第28回理事会開催
平成14年度	4.24	第29回理事会開催（理事長に山登敏男就任）
	6.25	第30回理事会開催（財団名称の変更の承認）
	7.30	第23回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.27	第24回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2.21	第25回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.26	第31回理事会開催

平成15年度	3.29	ドーンフェスティバル2003の開催
	4.1	財団名称を財団法人大阪府男女共同参画推進財団に変更
	4.23	第32回理事会開催
	6.6	ドーンセンター来館者400万人突破
	6.26	第33回理事会開催
平成16年度	7.25	第26回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第27回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.5	第28回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.26	第34回理事会開催（財団「新・10年プラン」策定）
	4.1	理事長に時岡禎一郎就任
	4.1	NPOとの協働専門委員会設置
	4.20	第35回理事会開催
	6.23	第29回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6.29	第36回理事会開催
	11.12	女性エンパワメントフォーラム2004（ドーンセンター10周年記念事業）の開催（～11.13）
平成17年度	12.3	第30回ドーンセンター運営推進委員会開催
	1.1	ドーンセンター運営推進委員会利用者団体登録審査部会設置
	3.4	第31回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第37回理事会開催
	4.22	第38回理事会開催
	6.28	第39回理事会開催
	7.1	第32回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11.11	第40回理事会開催
	12.9	第33回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.10	第34回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成18年度	3.24	第41回理事会開催
	3.28	「ドーン利用促進事業共同体」が大阪府から指定管理者に指定
	4.1	「ドーン利用促進事業共同体」が指定管理業務開始
	6.23	第42回理事会開催
	6.30	第35回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.15	第36回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第43回理事会開催（「事業・NPO協働評価委員会」の設置）
	3.13	第37回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.20	第44回理事会開催（財団「中期経営計画」策定）
	4.1	ドーンセンター事業・NPO協働評価委員会の設置
平成19年度	6.27	第45回理事会開催
	7.6	第38回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.21	第39回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.18	第40回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.28	第46回理事会開催

平成 20 年度	4. 18	第 47 回理事会開催
	6. 24	第 48 回理事会開催
	7. 25	第 49 回理事会開催
	8. 1	大阪府在住女性からの寄附金をもとに「はなみずき基金」設置
	8. 1	第 41 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第 42 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第 50 回理事会開催（「第一次自立化プラン」策定）
	3. 25	第 43 回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成 21 年度	4. 24	第 51 回理事会開催
	6. 19	第 52 回理事会開催
	7. 3	第 44 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 3	第 53 回理事会開催
	2. 19	第 54 回理事会開催
	3. 11	第 55 回理事会開催
	3. 19	第 45 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 30	第 56 回理事会開催（「第二次自立化プラン」策定）
平成 22 年度	4. 1	財団「自立化」スタート
	6. 18	第 57 回理事会開催
	9. 17	第 58 回理事会開催
	1. 9	配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤルー性暴力・DV 電話相談―）事業落札（2/8～3/27）
	1. 11	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者に指定
	1. 14	第 59 回理事会開催
	2. 16	第 60 回理事会開催（一般財団法人への移行方針承認）
	3. 16	「ドーン運営共同体」が大阪府からドーンセンター指定管理者に指定
	3. 23	第 61 回理事会開催（「第二次自立化プラン（改定版）」策定）
平成 23 年度	4. 1	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理業務開始 「ドーン運営共同体」が指定管理業務開始
	6. 1	第 62 回理事会開催
	7. 1	評議員選定委員会の開催
	7. 15	第 63 回理事会開催
	10. 20	第 64 回理事会開催
	12. 20	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業落札
	1. 13	第 65 回理事会開催
	3. 21	平成 24 年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3. 22	第 66 回理事会開催
平成 24 年度	4. 1	一般財団法人に移行
	5. 10	配偶者からの暴力被害者のための官官・官民連携推進ワークショップ事業 落札
	5. 29	第 1 回理事会開催

平成 25 年度	6. 1	理事の業務担当制導入 「中期経営プラン（平成 24 年度～平成 27 年度）」策定
	6. 15	第 1 回評議員会開催
	7. 21	第 2 回理事会開催
	9. 19	第 2 回評議員会開催
	9. 28	第 3 回理事会開催
	10. 1	登記上の主たる事務所地の変更（大阪市北区）
	12. 17	男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札
	2. 13	第 4 回理事会開催
	3. 5	ポジティブ・アクション展開事業受託決定
	3. 13	第 5 回理事会開催
	3. 21	平成 25 年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3. 26	大阪府男女共同参画推進事業（平成 25 年度～平成 27 年度）落札
	3. 27	第 3 回評議員会開催
	5. 21	第 6 回理事会開催
	6. 12	第 4 回評議員会開催
	6. 12	女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ 事業落札
	9. 5	性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域 連携のあり方に関する調査研究落札
	9. 25	第 7 回理事会開催
	10. 23	第 5 回評議員会開催
	12. 4	性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札
平成 26 年度	1. 21	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者（平成 26 年度 ～平成 30 年度）に指定
	2. 18	第 8 回理事会開催
	3. 11	平成 26 年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3. 12	第 9 回理事会開催
	3. 25	第 6 回評議員会開催
	5. 30	第 10 回理事会開催
	6. 18	第 5 回評議員会開催
	6. 18	第 11 回理事会開催
	5. 8	女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事 業随意契約（不落随契）
	8. 8	地域女性活躍加速化交付金交付決定
	9. 25	第 12 回理事会開催
	10. 8	若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修事業落札
	10. 25	財団設立 20 周年記念イベント「ドーンと未来へ」開催 愛称「ドーン財団」を発表
	11. 15	ドーンフェスティバル 2014（～11.16）
	12. 25	性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札

- 2.18 第13回理事会開催
- 3.13 第14回理事会開催
- 3.18 平成27年度東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業落札
- 3.25 第8回評議員会開催

2014 Year's Report : 平成26年度 事業報告書

発行：ドーン財団（一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団）

〒540-0008 大阪府中央区大手前1-3-49

ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）内
事務局

総務担当 TEL 06-6910-8625 FAX 06-6910-8624

事業担当 TEL 06-6910-8615

情報担当 TEL 06-6910-8616

相談担当 TEL 06-6910-8588

発行日：平成27年6月

頒布価格 500円